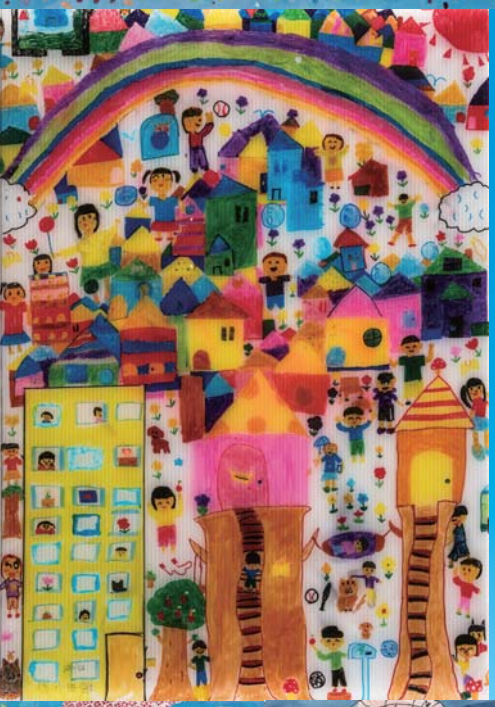


# 八王子基礎データ集

## ～はちおうじを知り、未来を描く～

八王子市

あなたのみちを、
あるけるまち。
八王子

# 目次

八王子市の概要・沿革等 ……1

## 1章 基礎データ

（1）人口 ……5
（2）人口（地域別） ……14
（3）財政 ……24
八王子の1日 ……28

## 2章 分野別データ

（1） 地域・暮らし ……29
（2） 福祉 ……39
（3） 健康・医療 ……44
（4） 子ども ……47
（5） 教育 ……54
（6） 都市計画・都市インフラ ……60
（7） 防災 ……67
（8） 産業 ……71
（9） 環境・ごみ ……78
（10）文化・芸術 ……86
（11）生涯学習・スポーツ ……92

## 3章 市民の意識データ

（1）定住意向 ……97
（2）生活環境の評価 ……98
（3）市政への要望 ……99

索引（データ項目名と掲載ページ） ……100

※【出典】には、引用または参考にした著作物を掲載しており、掲載しているグラフ等はその出典をもとに作成しています。
※数値の端数処理は原則四捨五入としているので、合計が100%にならない場合があります。

# 八王子市の概要・沿革等

## ■八王子市の概要

八王子市は、東京都心から西へ約40キロメートル、新宿から電車で約40分の距離に位置しています。地形はおおむね盆地状で、北・西・南は海抜200メートルから800メートルほどの丘陵地帯に囲まれ、東は関東平野に続いています。
本市は、大正6年(1917年)の市制施行から、平成29年(2017年)で100年を迎えました。
また、平成27年(2015年)4月に、東京都初の中核市となり、人口約58万人の多摩地区のリーディングシティとして、21の大学を抱えた学園都市として、発展を続けています。

【位　置】都心から西へ40キロメートル　　【面　積】186.38平方キロメートル
【市の木】イチョウ(昭和51年(1976年))
【市の花】ヤマユリ(昭和51年(1976年))
【市の鳥】オオルリ(平成3年(1991年))

【八王子市名誉市民】
西川正治(にしかわ しょうじ) 氏 (1884～1952):物理学者
瀧井孝作(たきい こうさく) 氏 (1894～1984) :俳人・小説家

【八王子市民栄誉章】
中村美里(なかむら みさと)氏(1989～):リオデジャネイロオリンピック
柔道女子52キログラム級銅メダリスト

【出典】市ホームページ

## ■市域の変遷

本市は、大正6年(1917年)9月1日、人口42,043人で市制を施行しました。当時の市域面積は7.3㎢と小規模なものでしたが、その後、4度にわたる隣接町村との合併などにより、現在では186.38㎢となり、市制施行当時の25.5倍になっています。これは東京都総面積の約8.5%を占め、奥多摩町に次いで広大な面積を有しています。

| 番号 | 年　月　日 | 編　入　地　域　等 | 編入面積 (㎢) | 総面積 (㎢) |
|---|---|---|---|---|
| ① | 大正６年（1917年）９月１日 | 市制施行 | ― | 7.3 |
| ② | 昭和１６年（1941年）１０月１日 | 小宮町 | 12.58 | 19.88 |
| ③ | 昭和３０年（1955年）４月１日 | 横山、元八王子、恩方、川口、加住、由井の６ヶ村 | 119.72 | 139.6 |
| ④ | 昭和３４年（1959年）４月１日 | 浅川町 | 26.46 | 166.06 |
| ⑤ | 昭和３９年（1964年）８月１日 | 由木村 | 22.13 | 188.19 |
| ⑥ | 昭和４６年（1971年）４月１日 | 秋多町（現在のあきる野市）と市町境界を変更 | △ 0.40 | 187.79 |
| | 平成２年（1990年）１月４日 | 国土地理院による面積調査の結果 | △ 1.48 | 186.31 |
| | 平成２７年（2015年）３月６日 | 国土地理院による面積調査の結果 | 0.07 | 186.38 |

【出典】八王子の都市計画

## ■八王子市の沿革

八王子市は、豊かなみどりと浅川の清流に育まれ、古くからの歴史と伝統を受け継ぎ、多摩地区のリーディングシティとして発展をつづけています。
これまでの100年の歴史を主な出来事で紹介します。

| 年 | 主な出来事 |
|---|---|
| 大正　6年(1917年) | 市制施行 |
| 昭和　3年(1928年) | 上水道の給水を開始 |
| 昭和　5年(1930年) | 市庁舎が天神町の第四尋常小旧校舎へ移転 |
| 昭和11年(1936年) | 市歌(北原白秋作詞、山田耕筰作曲)を制定 |
| 昭和16年(1941年) | 市立高等女学校(現在の富士森高等学校)が開校 |
| 昭和25年(1950年) | 初の市立保育園(子安)を開設 |
| 昭和26年(1951年) | 三多摩で初めて小学校の完全給食を実施 |
| | 市庁舎が本町に完成・移転 |
| 昭和27年(1952年) | 初の市営住宅である高倉町住宅が完成・入居開始 |
| 昭和29年(1954年) | 市立図書館を上野町に開設 |
| 昭和34年(1959年) | し尿処理場が北野町に完成 |
| 昭和36年(1961年) | 市立高尾自然科学博物館を開設 |
| | 第1回市民祭(3万人の夕涼み)を富士森陸上競技場で開催 |
| 昭和38年(1963年) | 工学院大学が中野町に移転・開校 |
| 昭和39年(1964年) | 八王子が東京オリンピックの自転車競技会場となる |
| | 世界で初めて「親切都市宣言」を行う |
| 昭和40年(1965年) | 人口が20万人を超える |
| 昭和42年(1967年) | 「郷土資料館」を上野町に開館 |
| 昭和44年(1969年) | 北野下水処理場が運転を開始 |
| 昭和46年(1971年) | 全国に先駆けて、ノーカーデーを実施 |
| 昭和47年(1972年) | 甲州街道で歩行者天国を実施 |
| 昭和48年(1973年) | 苫小牧市と姉妹都市の盟約を結ぶ |
| 昭和49年(1974年) | 日光市と姉妹都市の盟約を結ぶ |
| | 人口が30万人を超える |
| 昭和50年(1975年) | 多摩ニュータウンの建設が開始 |
| 昭和51年(1976年) | 市の木「イチョウ」と市の花「ヤマユリ」を制定 |
| 昭和54年(1979年) | 「保健センター」を平岡町に開設 |
| 昭和58年(1983年) | 人口が40万人を超える |
| | 元本郷町三丁目に市庁舎が完成・移転 |
| 昭和60年(1985年) | 「中央図書館」を千人町三丁目に開館 |
| 平成元年(1989年) | 「こども科学館」を大横町に開館 |
| 平成　2年(1990年) | 「絹の道資料館」を鑓水に開館 |

| 年 | 主な出来事 |
|---|---|
| 平成　3年(1991年) | 市の鳥「オオルリ」を制定 |
| 平成　4年(1992年) | 流域下水道の浅川処理場と八王子処理場を開設 |
| 平成　5年(1993年) | 「甲の原体育館」を中野町に開館 |
| 平成　6年(1994年) | 芸術文化会館「いちょうホール」を本町に開館 |
| 平成　7年(1995年) | 多摩地域で初めて市消防団に女性団員が入団 |
| 平成　8年(1996年) | 「夕やけ小やけ文化農園」(現在の夕やけ小やけふれあいの里)を上恩方町に開園 |
| 平成　9年(1997年) | 人口が50万人を超える |
| | 学園都市センターを八王子スクエアビル内(旭町)に開設 |
| 平成11年(1999年) | 生涯学習センター「クリエイトホール」を東町に開設 |
| 平成13年(2001年) | 戸吹湯ったり館を開館 |
| 平成15年(2003年) | 地域循環バス「はちバス」北西部コースの運行を開始 |
| | 夢美術館を八日町に開館 |
| 平成16年(2004年) | 不登校児童・生徒のための小・中一貫校「高尾山学園」を館町に開校 |
| | ごみの指定収集袋制度・個別収集・資源物回収の拡充をスタート |
| 平成17年(2005年) | 「先端技術開発・交流センター」を旭町に開設 |
| 平成18年(2006年) | 八王子駅南口地区市街地再開発組合が設立 |
| | 中国・泰安市、台湾・高雄市、韓国・始興市と海外友好交流都市を結ぶ |
| 平成19年(2007年) | 保健所政令市に移行 |
| | 都内初の道の駅「八王子滝山」を開設 |
| 平成20年(2008年) | 京王線沿線7市(八王子・府中・調布・町田・日野・多摩・稲城)の図書館相互利用を開始 |
| 平成21年(2009年) | 大学コンソーシアム八王子を設立 |
| 平成22年(2010年) | 八王子駅南口地区市街地再開発「まちびらき」 |
| | 八王子駅南口総合事務所を開設 |
| 平成23年(2011年) | 戸吹スポーツ公園を開園 |
| | 新市民会館「オリンパスホール八王子」を子安町に開館 |
| 平成24年(2012年) | 市内初の日本庭園「高尾駒木野庭園」を開園 |
| 平成25年(2013年) | スポーツ祭東京2013・東京多摩国体が開催され、都内最多の6競技を市内で実施 |
| 平成26年(2014年) | 総合体育館「エスフォルタアリーナ八王子」が狭間町に開館 |
| 平成27年(2015年) | 都内初の中核市に移行 |
| | 「高尾599ミュージアム」を開設 |
| 平成28年(2016年) | 神奈川県小田原市・埼玉県寄居町と姉妹都市盟約を結ぶ |
| 平成29年(2017年) | 市制施行100周年を迎える |

【出典】市ホームページ

## ■八王子市の都市宣言

平和で明るい暮らしを実現するために、私たちのまちは5つの都市宣言をしています。

### 八王子市親切都市宣言

私たちの愛する郷土八王子市には、いま槌音高く道路に、学校に住宅に、そしてオリンピック競技場に空前の大建設が始まっております。

これらの新しい街づくりに太陽のような温かい光を吹きこむものとして、私たちは三年前から全市をあげて「親切運動」を進めてまいりました。

ことしは特にこの八王子で世紀の祭典といわれる東京オリンピック自転車競技が行われ「世界は一つ」の合言葉と共に銀輪の覇権が競われます。

この機会に私たちは、多年の念願である親切運動を一層強く大きく展開し、その賛同を世界に得たいと思います。

日本の一角にあがるこの小さな運動は、平和と友情をねがう全世界の人々の心をうち必ずや地上にみち満ちて、世界平和の基となることを信じ、ここに八王子市を「親切都市」とすることを宣言します。

昭和39年5月9日（八王子市）

### 世界連邦平和都市宣言

八王子市は戦争放棄を憲法に明記した日本国民の立場から、世界の恒久平和を実現し人類の福祉の増進を目的とした世界連邦建設の趣旨に賛同する。

今日人類の生存を脅かしつつある爆発的人口増加、食糧・資源の枯渇、環境破壊等は、武力による支配を法の秩序におきかえた戦争のない世界平和機構によってのみ解決し得るとの認識に立って、他の宣言諸都市とともに相携えて人類永遠の平和の確立に努力する。

右、宣言する。

昭和53年12月21日（八王子市議会）

### 八王子市非核平和都市宣言

世界の恒久平和は、人類共通の願望である。

しかるに、核軍備拡大競争は依然として続けられ、人類が平和のうちに生存する条件を根本から脅かしている。また、通常兵器の軍備拡大競争も一段と激化し、世界の各地で武力紛争や戦争が絶えまなく続き、限定核戦争の脅威が迫っている。

わが国は、世界唯一の核被爆国として、また、平和憲法の精神からも核兵器の廃絶と軍備縮小の推進に積極的な役割を果たさなければならない。

したがって、わが八王子市は、非核三原則の完全実施を願い、厳粛に非核平和都市を宣言する。

昭和57年6月29日（八王子市議会）

### 八王子市交通安全都市宣言

八王子市民は明るく平穏な生活を願っています。交通事故はこの願いをむなしいものにするとともに、多くの悲惨な犠牲者を生み出しています。

交通事故の恐ろしさは誰もが知っています。この悲しみと不幸をもたらす交通事故を八王子市から追放するため、今こそすべての市民が立ち上がるときです。

交通安全対策の基本は、交通環境を整えるとともに、市民一人一人が交通安全思想を高めることにあります。

人命最優先を基本理念として、安全な街づくりに真剣に取り組む決意を新たにし、交通事故ゼロへの願いをこめて、八王子市を「交通安全都市」とすることを宣言します。

昭和58年8月6日（八王子市）
昭和58年7月18日（八王子市議会）

### 八王子市男女共同参画都市宣言

わたくしたちは、人がひととして尊重され、いきいきと暮らせる男女共同参画社会の実現をめざし、ここに八王子市を「男女共同参画都市」とすることを宣言します。

1.わたくしたちは、男女がお互いに尊重し合えるまちをつくります。
1.わたくしたちは、あらゆる分野に男女が平等に参画できるまちをつくります。
1.わたくしたちは、家庭・地域・職場で男女がともに責任をにない、いきいきと働けるまちをつくります。
1.わたくしたちは、男女がともに健康で安心して生活できるまちをつくります。

平成11年12月6日（八王子市）

【出典】八王子ビジョン2022（2018基本計画改定版）

## ■八王子市の姉妹都市・海外友好交流都市

### 姉妹都市

**◆苫小牧市【北海道】**
江戸時代後期に八王子千人同心が北辺警備と開拓のため勇払原野に移住したのを縁に、昭和48年に姉妹都市の盟約を結びました。

**◆小田原市【神奈川県】**
日本最大の城郭を誇っていた小田原城の城主で北条家第四代当主・北条氏政と八王子城の城主・北条氏照が兄弟であったことを縁に、平成28年に姉妹都市の盟約を結びました。

**◆日光市【栃木県】**
江戸時代に八王子千人同心が日光東照宮などの火の番を勤めた縁で、昭和49年に姉妹都市の盟約を結びました。

**◆寄居町【埼玉県】**
戦国時代を代表する屈指の名城である鉢形城の城主・北条氏邦と八王子城の城主・氏照が兄弟であったことを縁に、平成28年に姉妹都市の盟約を結びました。

### 海外友好交流都市

平成18年に市制施行90周年を迎えたことを機に、海外都市と交流をスタートしました。
幅広い市民交流を期待することから、アジア地域の３都市と友好交流協定を締結しました。
平成29年に市制施行100周年を記念して、本市出身の医師・肥沼信次博士ゆかりのドイツ・ヴリーツェン市と交流の輪をさらに広げるために、友好交流協定を締結しました。

- ◆ 泰安（たいあん）市【中国】　平成18年9月23日締結
- ◆ 高雄(たかお）市【台湾】　平成18年11月1日締結
- ◆ 始興(しふん）市【韓国】　平成18年11月7日締結
- ◆ ヴリーツェン市【ドイツ】　平成29年7月10日締結

【出典】八王子ビジョン2022（2018基本計画改定版）

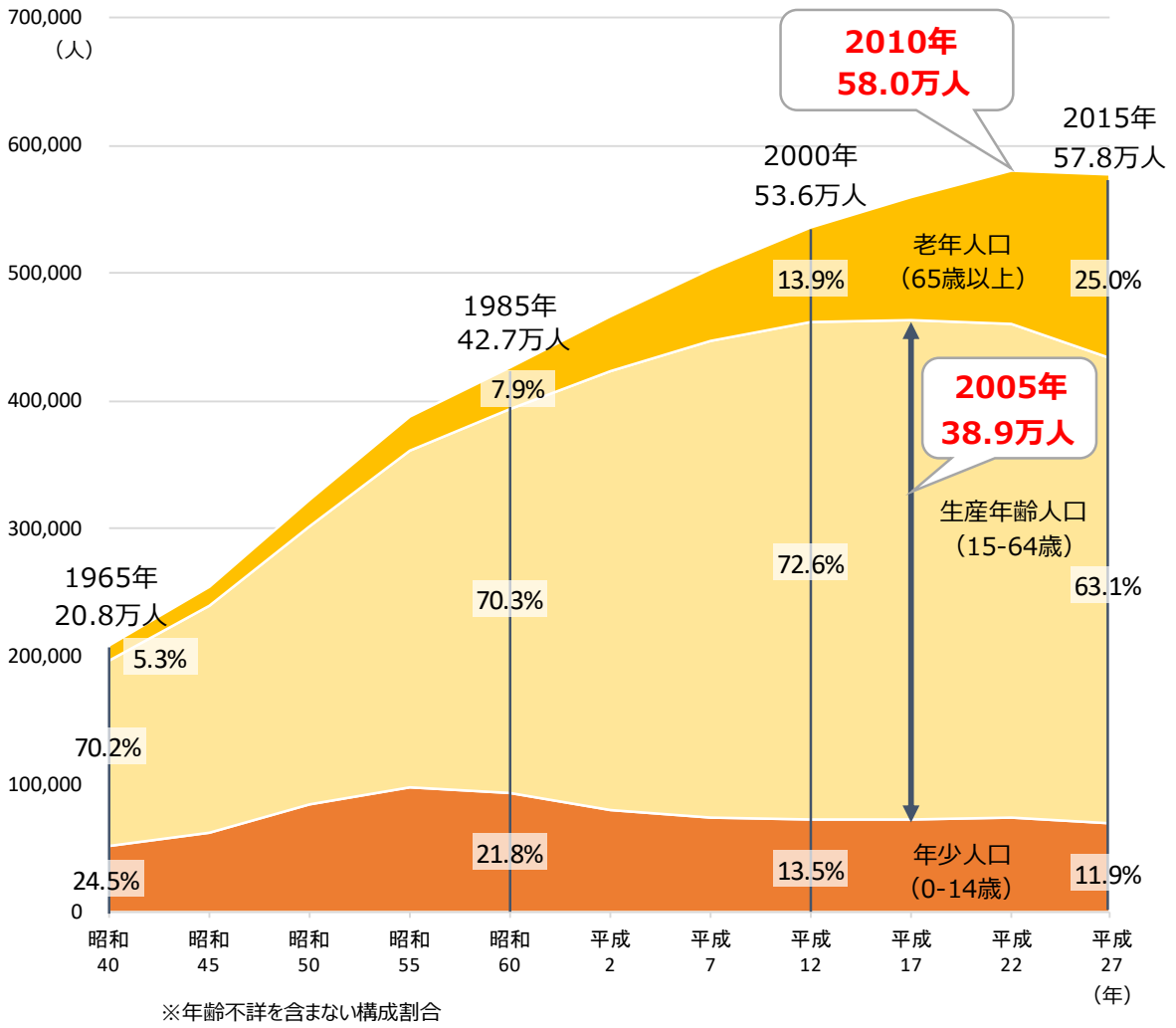
# 1章

# 基礎データ

## （1） 人口

- 総人口は、昭和40年(1965年)に20.8万人でしたが、市郊外の宅地開発に加え、昭和50年(1975年)以降、多摩ニュータウンの入居が始まったことなどから急増し、平成22年(2010年)に58万人となりました。
- 生産年齢人口(15～64歳)は、平成17年(2005年)をピークに減少しています。
- 老年人口(65歳以上)は、人口及び割合がともに年々増加しており、平成27年(2015年)には割合が25%まで上昇しています(4人に1人が高齢者)。

**■人口の推移**



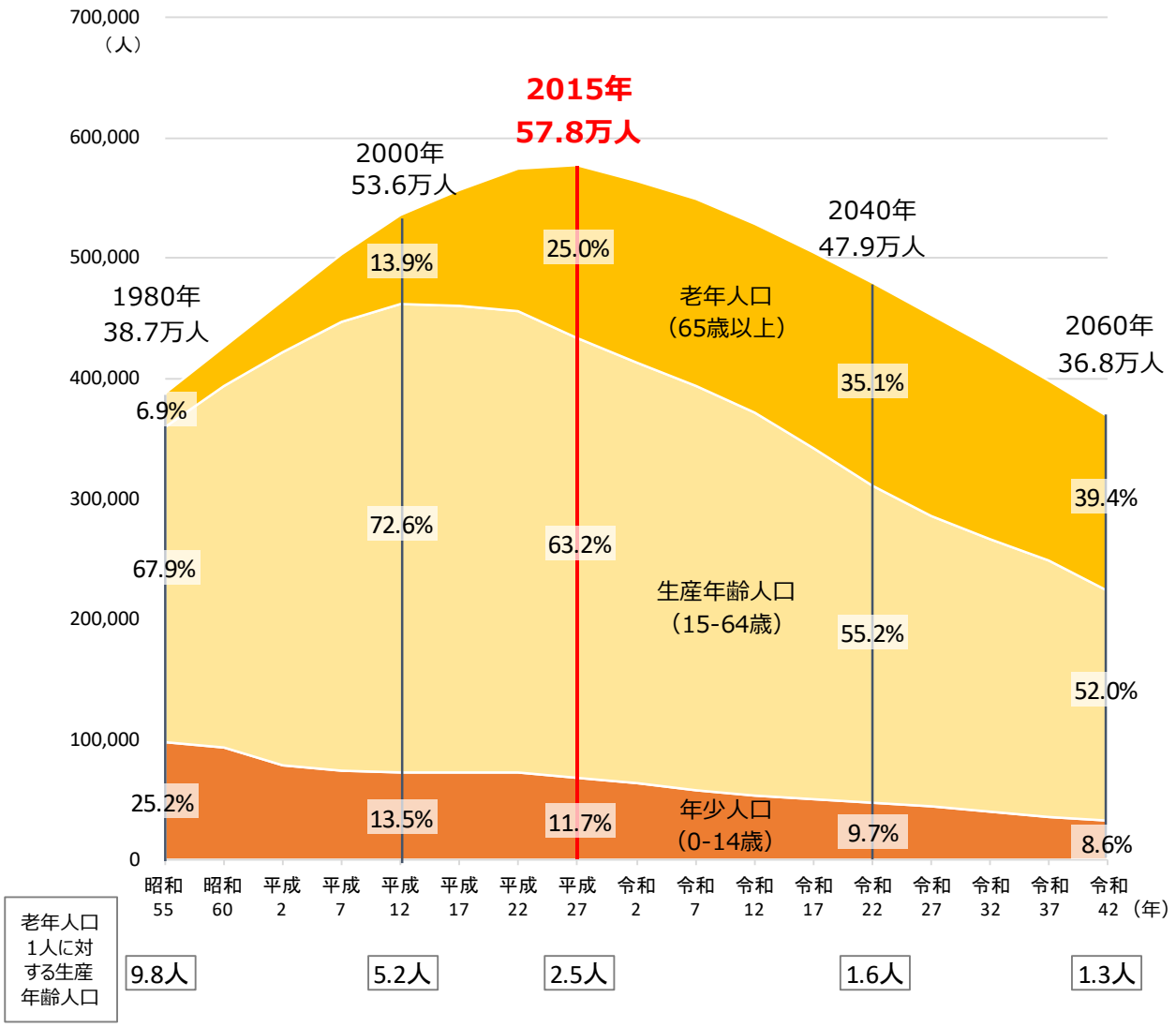

※年齢不詳を含まない構成割合

【出典】八王子市まち･ひと･しごと創生総合戦略(2020改定版)

## （1） 人口

- 現在の状況が続くと、将来人口は、20年後の令和22年（2040年）に47.9万人、40年後の令和42年（2060年）に36.8万人になると推計しています。
- 生産年齢人口（15～64歳）の構成比は、平成27年（2015年）に63.2%でしたが、推計では令和42年（2060年）には52.0%となり、1人の老年人口（65歳以上）を1.3人の生産年齢人口（15～64歳）で支えることになります。

**■将来人口推計** ※合計特殊出生率（以下「出生率」という。）が1.26（平成27年）で、平成24年1月～平成29年1月の住民基本台帳人口の動向が継続した場合「八王子市まち・ひと・しごと創生総合戦略（2020改定版）」シミュレーション1



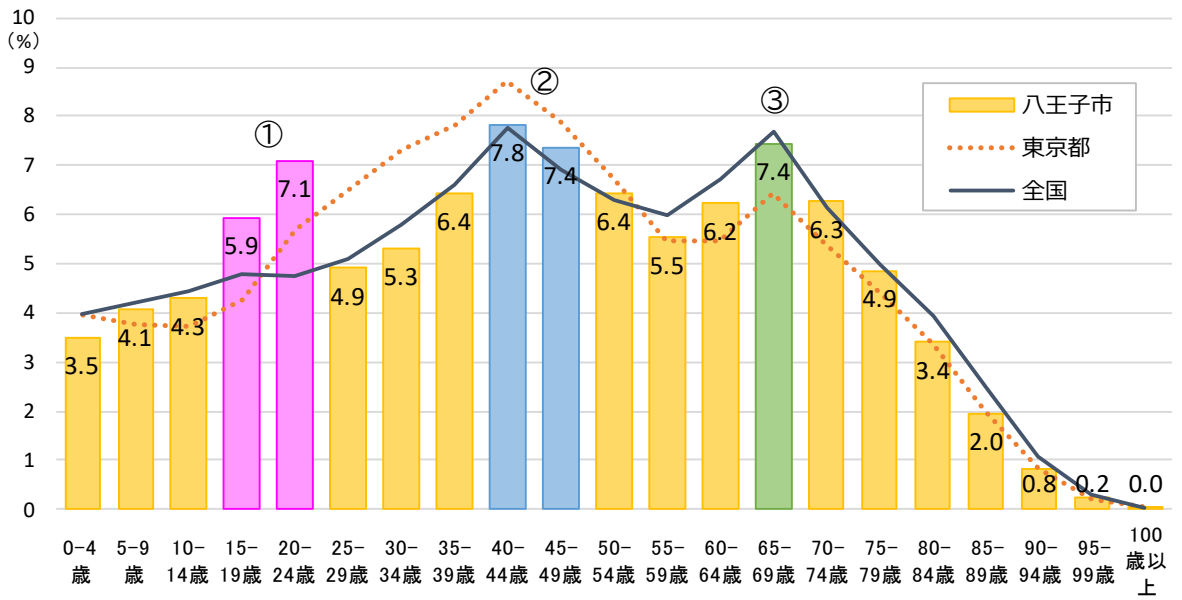

※合計特殊出生率とは、「15~49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもの」で、一人の女性が一生の間に生む子どもの数の推計値。

※平成22年以前は、年齢不詳を含まない構成割合。平成27年以降は、年齢不詳をあん分して含めた構成割合

【出典】国勢調査、八王子市まち・ひと・しごと創生総合戦略（2020改定版）

- 本市の人口構成は、①10代後半～20代前半世代、②40-49歳の第2次ベビーブーム世代、③65～69歳の第1次ベビーブーム世代の3つの大きなふくらみがあります。
- ①10代後半～20代前半世代のふくらみは、大学等への入学による人口流入と見られ、21の大学等が立地する本市の学園都市という特徴があらわれています。

■5歳階級別人口構成割合（平成27年（2015年））




| | 0-4歳 | 5-9歳 | 10-14歳 | 15-19歳 | 20-24歳 | 25-29歳 | 30-34歳 | 35-39歳 | 40-44歳 | 45-49歳 | 50-54歳 | 55-59歳 | 60-64歳 | 65-69歳 | 70-74歳 | 75-79歳 | 80-84歳 | 85-89歳 | 90-94歳 | 95-99歳 | 100歳以上 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 八王子市 | 3.5 | 4.1 | 4.3 | 5.9 | 7.1 | 4.9 | 5.3 | 6.4 | 7.8 | 7.4 | 6.4 | 5.5 | 6.2 | 7.4 | 6.3 | 4.9 | 3.4 | 2.0 | 0.8 | 0.2 | 0.0 |
| 東京都 | 4.0 | 3.8 | 3.7 | 4.3 | 5.7 | 6.5 | 7.3 | 7.8 | 8.7 | 7.9 | 6.7 | 5.5 | 5.5 | 6.4 | 5.4 | 4.4 | 3.4 | 2.0 | 0.8 | 0.2 | 0.0 |
| 全国 | 4.0 | 4.2 | 4.5 | 4.8 | 4.8 | 5.1 | 5.8 | 6.6 | 7.7 | 6.9 | 6.3 | 6.0 | 6.7 | 7.7 | 6.1 | 5.0 | 3.9 | 2.5 | 1.1 | 0.3 | 0.0 |

単位（%）

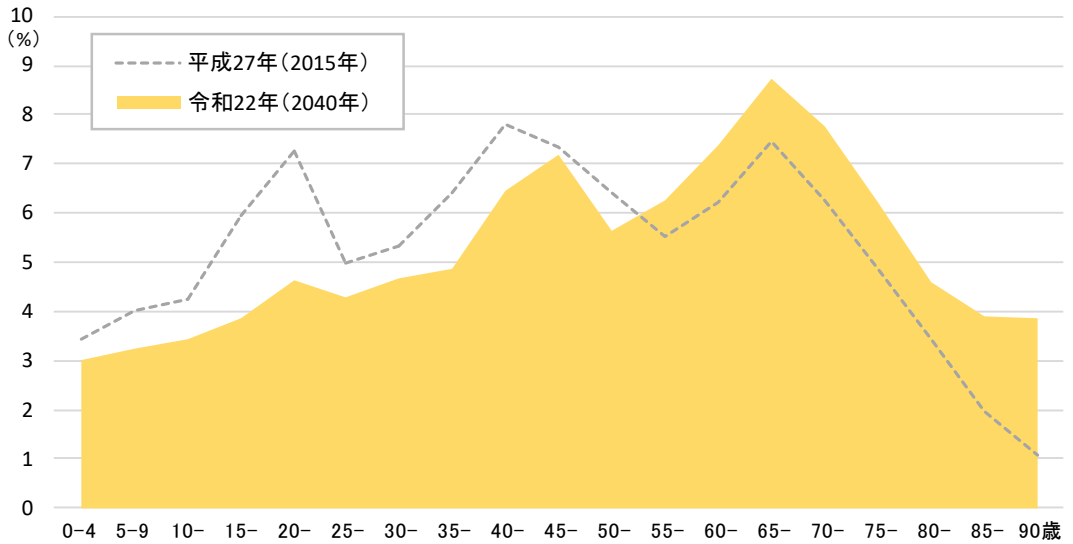
※年齢不詳を含まない構成割合

【出典】国勢調査（平成27年（2015年））

## （1） 人口

- 現在の状況が続くと、令和22年（2040年）には65～69歳の構成比が最も高くなり、令和42年（2060年）には40代の構成比が大きく落ち込むと推計しています。

### ■5歳階級別人口構成割合（令和22年（2040年）の推計）

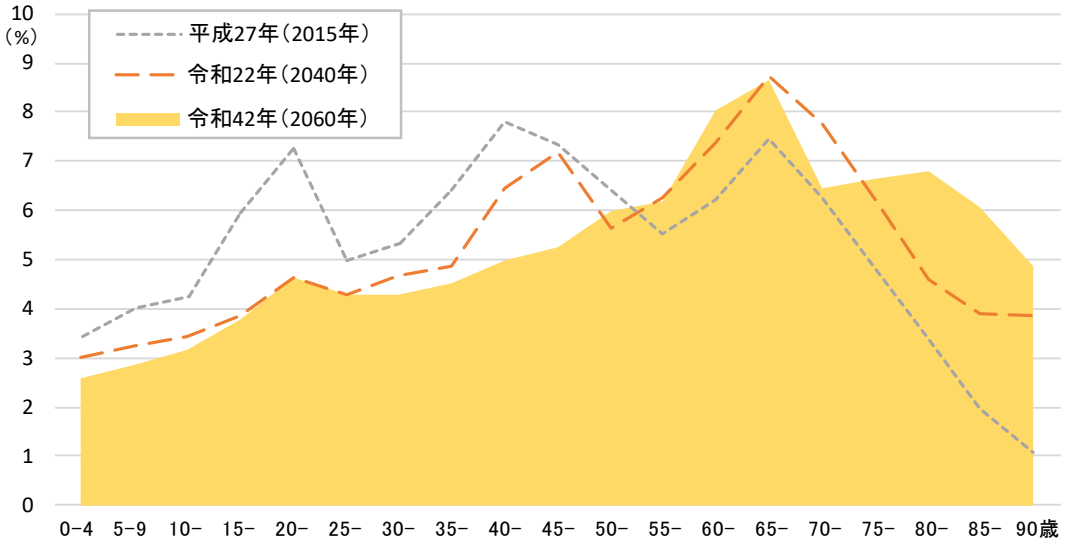



| | 0-4歳 | 5-9歳 | 10-14歳 | 15-19歳 | 20-24歳 | 25-29歳 | 30-34歳 | 35-39歳 | 40-44歳 | 45-49歳 | 50-54歳 | 55-59歳 | 60-64歳 | 65-69歳 | 70-74歳 | 75-79歳 | 80-84歳 | 85-89歳 | 90歳以上 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 平成27年 | 3.5 | 4.0 | 4.2 | 5.9 | 7.2 | 5.0 | 5.3 | 6.4 | 7.8 | 7.3 | 6.4 | 5.5 | 6.2 | 7.4 | 6.3 | 4.9 | 3.4 | 2.0 | 1.1 |
| 令和22年 | 3.0 | 3.2 | 3.4 | 3.8 | 4.6 | 4.3 | 4.7 | 4.9 | 6.5 | 7.2 | 5.6 | 6.2 | 7.4 | 8.7 | 7.8 | 6.2 | 4.6 | 3.9 | 3.9 |

単位（%）

※年齢不詳を含む構成割合

### ■5歳階級別人口構成割合（令和42年（2060年）の推計）




| | 0-4歳 | 5-9歳 | 10-14歳 | 15-19歳 | 20-24歳 | 25-29歳 | 30-34歳 | 35-39歳 | 40-44歳 | 45-49歳 | 50-54歳 | 55-59歳 | 60-64歳 | 65-69歳 | 70-74歳 | 75-79歳 | 80-84歳 | 85-89歳 | 90歳以上 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 平成27年 | 3.5 | 4.0 | 4.2 | 5.9 | 7.2 | 5.0 | 5.3 | 6.4 | 7.8 | 7.3 | 6.4 | 5.5 | 6.2 | 7.4 | 6.3 | 4.9 | 3.4 | 2.0 | 1.1 |
| 令和22年 | 3.0 | 3.2 | 3.4 | 3.8 | 4.6 | 4.3 | 4.7 | 4.9 | 6.5 | 7.2 | 5.6 | 6.2 | 7.4 | 8.7 | 7.8 | 6.2 | 4.6 | 3.9 | 3.9 |
| 令和42年 | 2.6 | 2.9 | 3.2 | 3.8 | 4.6 | 4.3 | 4.3 | 4.5 | 5.0 | 5.3 | 6.0 | 6.2 | 8.0 | 8.6 | 6.5 | 6.6 | 6.8 | 6.1 | 4.8 |

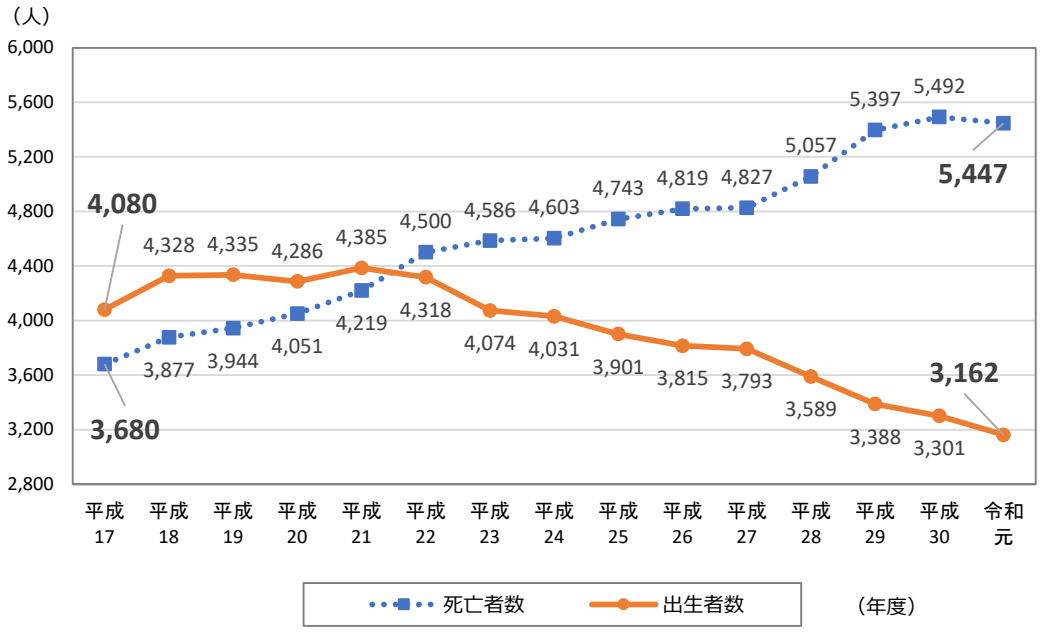
単位（%）

※年齢不詳を含む構成割合

【出典】八王子市まち・ひと・しごと創生総合戦略（2020改定版）

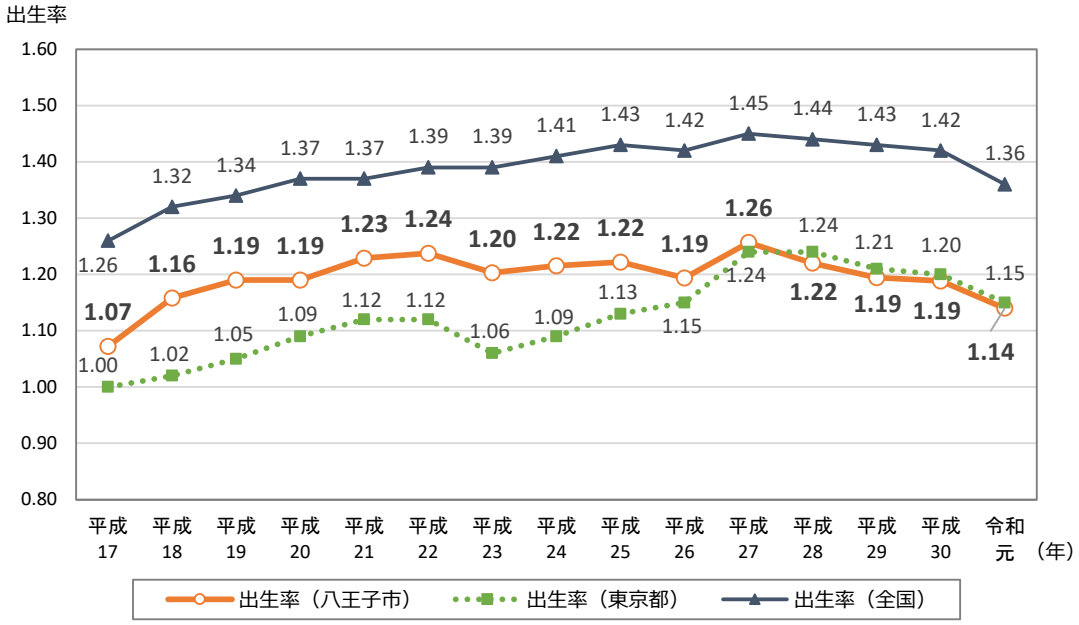
- 平成22年度（2010年度）から死亡者数が出生者数を上回る「自然減」の状況に転じて以来、その差は年々大きくなっています。
- 出生率は平成22年（2010年）まで増加傾向にありましたが、以降はおおむね横ばいで推移し、近年では減少傾向が見られます。

## ■出生者数・死亡者数の推移




【出典】八王子市 住民基本台帳人口の増減

## ■出生率の推移

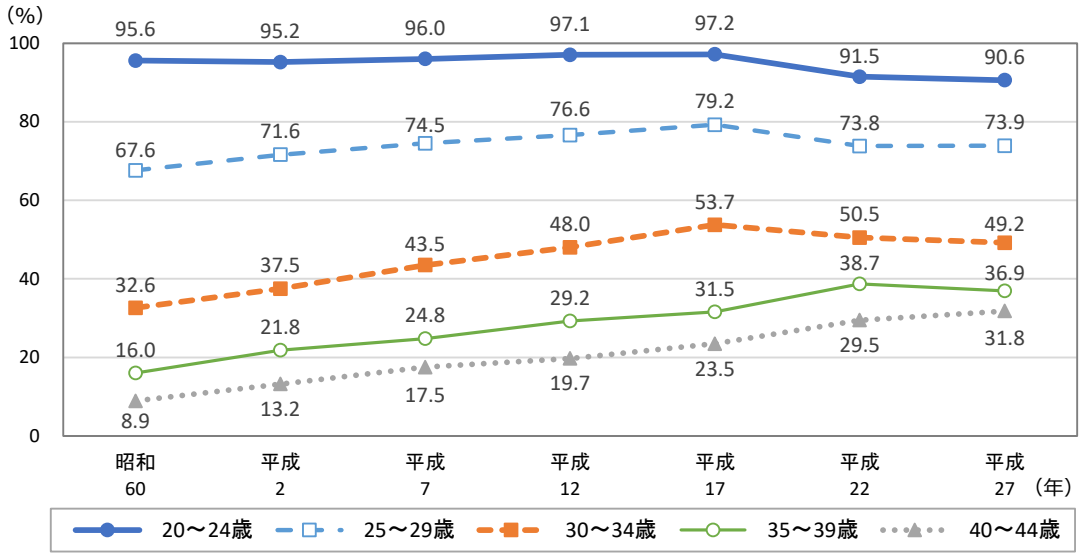



【出典】東京都福祉保健局 人口動態統計

## （1） 人口

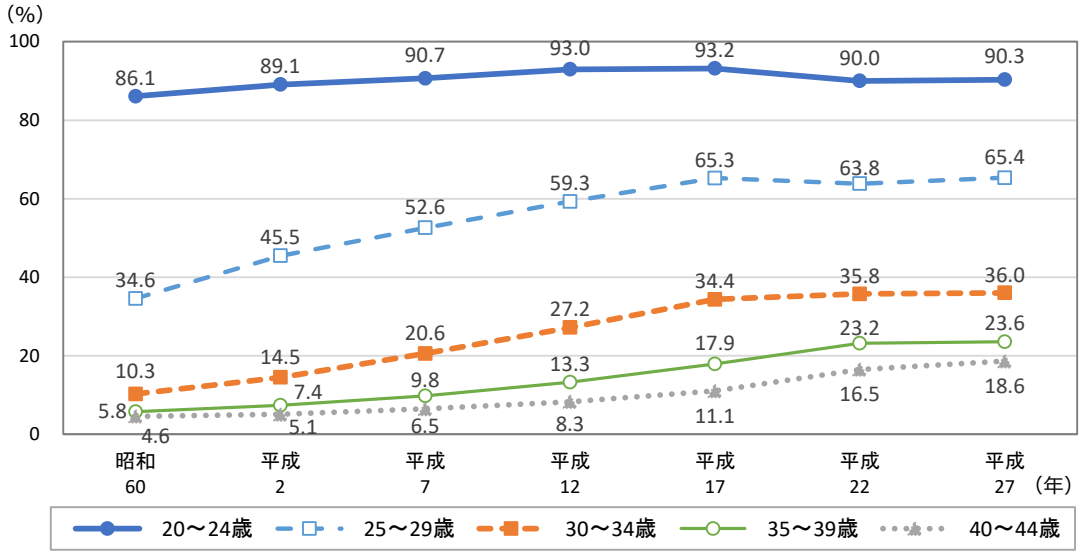
- 未婚率の推移を見ると、男性については30歳以降、女性については25歳以降の未婚率が急激に高まっており、非婚化・晩婚化が進んでいます。

### ■男性の未婚率の推移




【出典】国勢調査

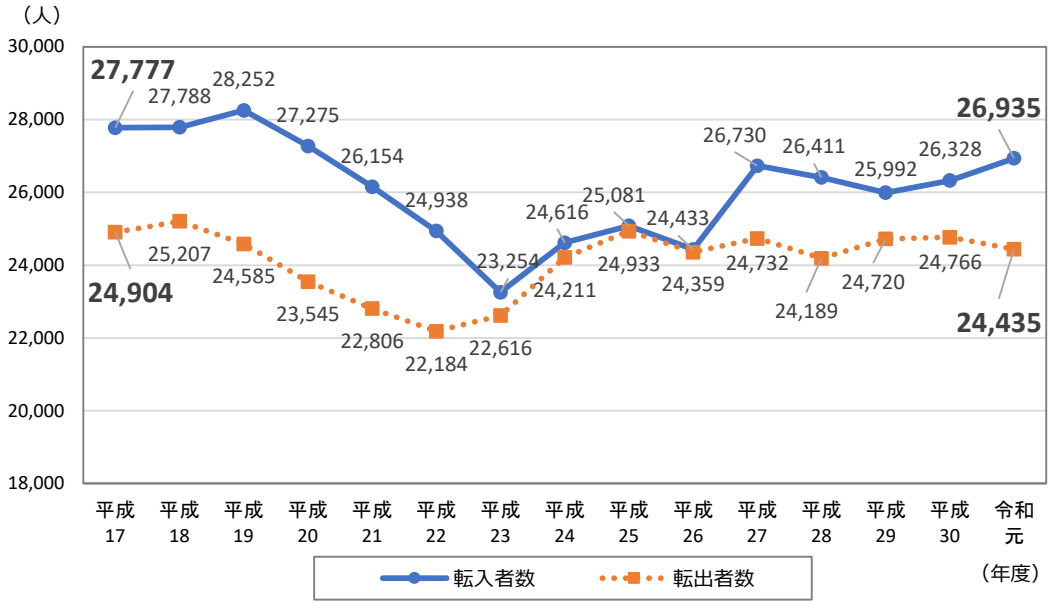
### ■女性の未婚率の推移




【出典】国勢調査

- 平成22年度（2010年度）までの転入者が転出者を上回る「社会増」の傾向は、平成23年度（2011年度）に弱まり、平成26年度（2014年度）にはほぼ均衡しました。近年は再び「社会増」の傾向が強まってきています。
- 年齢別に見ると、20～29歳において転出超過となっており、大学卒業時の就職などを機に市外へ転出する人が多い状況です。

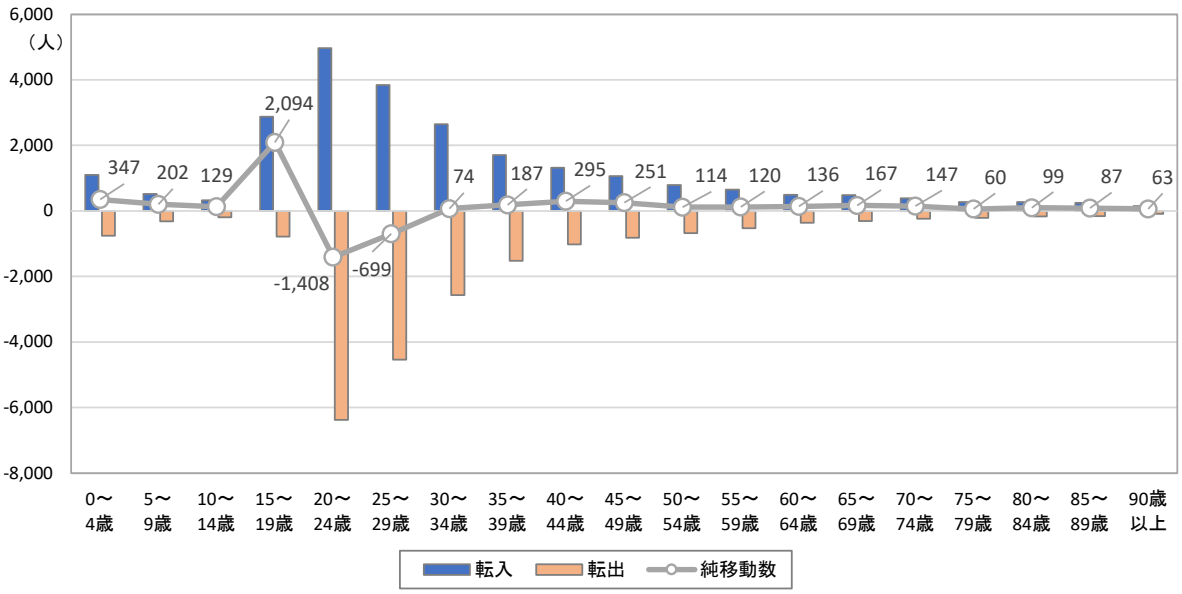
## ■転入者数・転出者数の推移




※平成24年7月9日に住民基本台帳法の一部改正が行われ、住民基本台帳人口に外国人住民も含まれることになりましたが、人口増減の経年比較をするために、平成24年度については、転入者数から、増加となった外国人住民の人口（8,932人）を除いています。

【出典】八王子市 住民基本台帳人口の増減

## ■年齢別 転入者数・転出者数（令和元年（2019年））

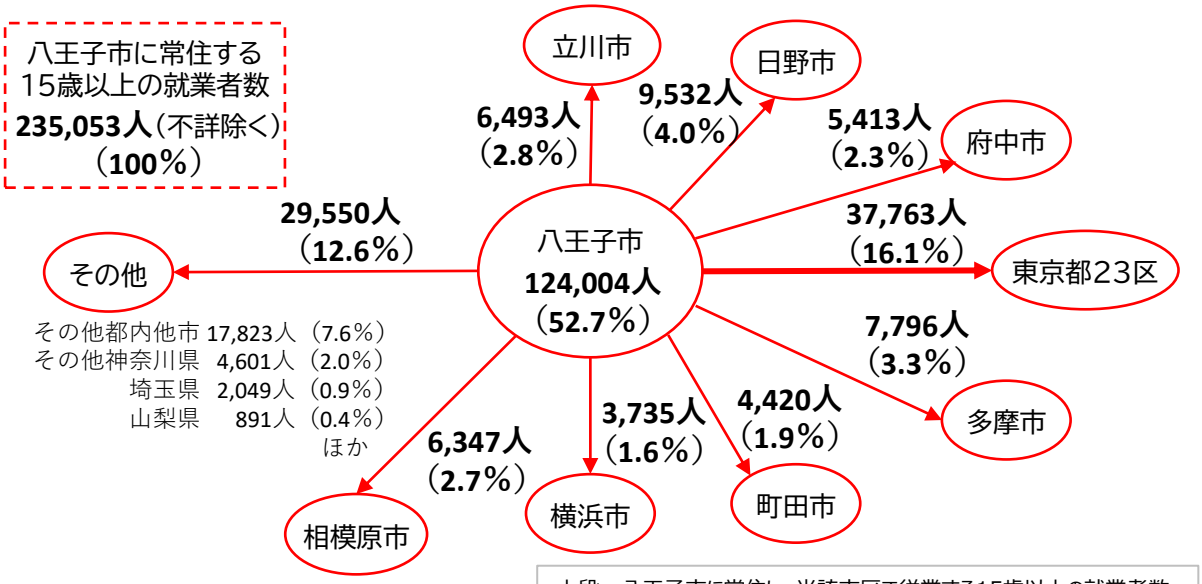



【出典】総務省統計局 住民基本台帳人口移動報告（2019年（令和元年））結果

## （1） 人口

- 八王子市民（八王子市に常住する15歳以上の就業者）のおよそ半数が市内で従業しており、6.2人に1人は東京都23区で従業しています。
- 八王子市で従業している人の約4割が市外在住者であり、居住地の内訳を見ると日野市、相模原市の割合が高くなっています。

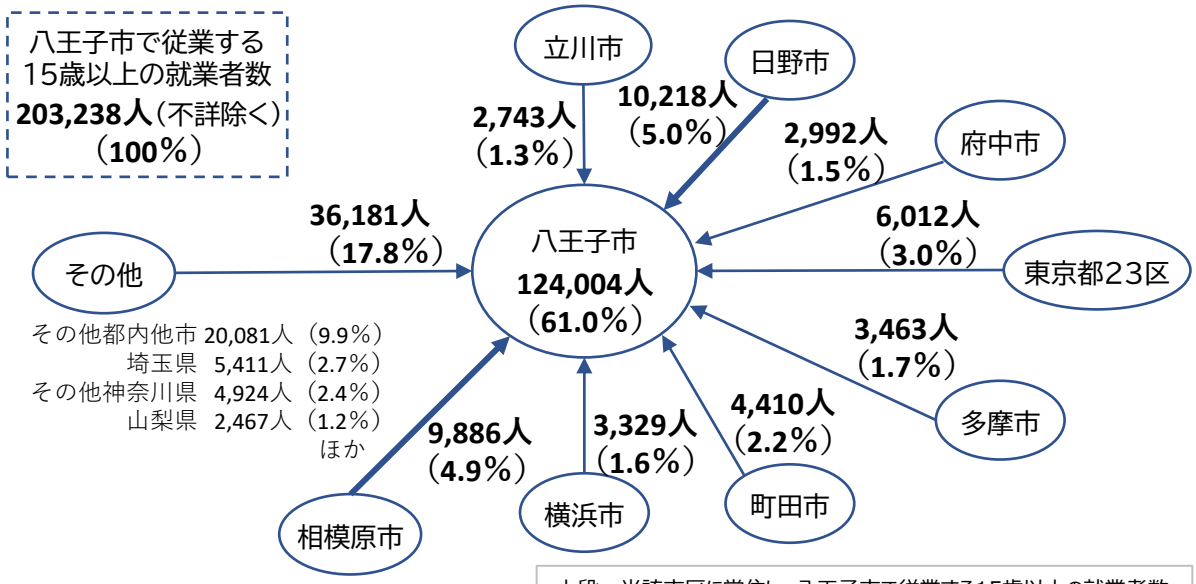
**■通勤流動（八王子市民（八王子市に常住する15歳以上の就業者）の主な従業地）**




上段：八王子市に常住し、当該市区で従業する15歳以上の就業者数
下段：八王子市に常住する15歳以上の就業者に対する割合

【出典】国勢調査（平成27年（2015年））

**■通勤流動（八王子市で従業する15歳以上の就業者の主な居住地）**

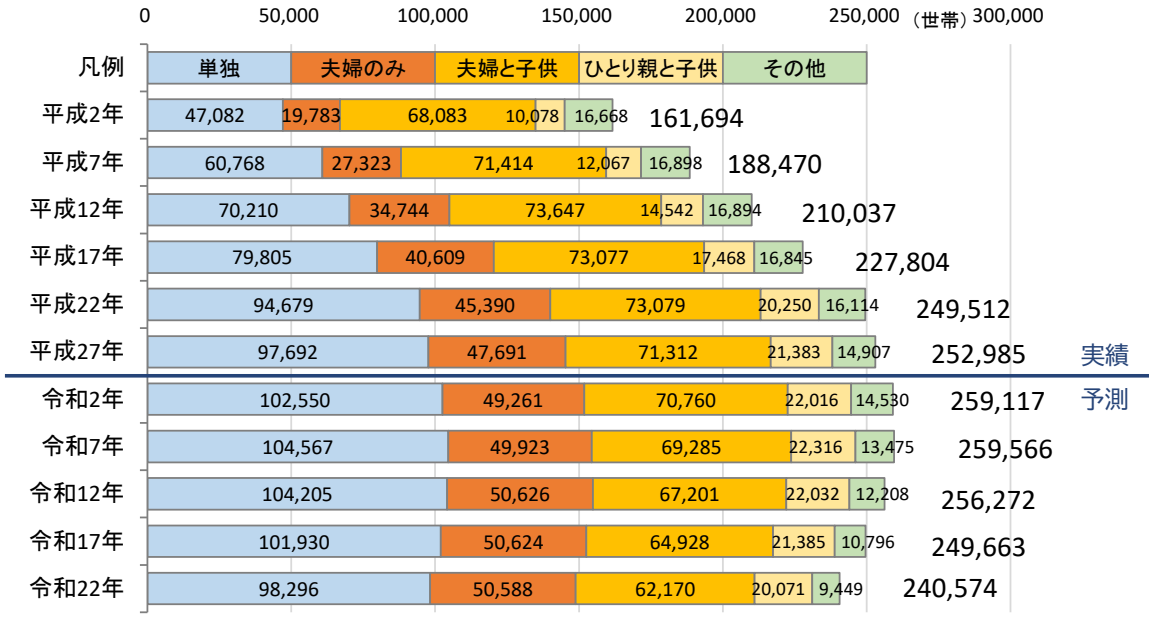



上段：当該市区に常住し、八王子市で従業する15歳以上の就業者数
下段：八王子市で従業する15歳以上の就業者に対する割合

【出典】国勢調査（平成27年（2015年））

- 世帯数は増加し続けており、平成27年（2015年）には25万世帯を超えていますが、令和7年（2025年）をピークに、減少に転じると予測されています。
- 「単独」世帯の構成比は増加傾向にありますが、「夫婦と子供」の世帯は減少し、令和22年（2040年）には「単独」世帯が40.9%、「夫婦と子供」の世帯が25.8%になると予測されています。

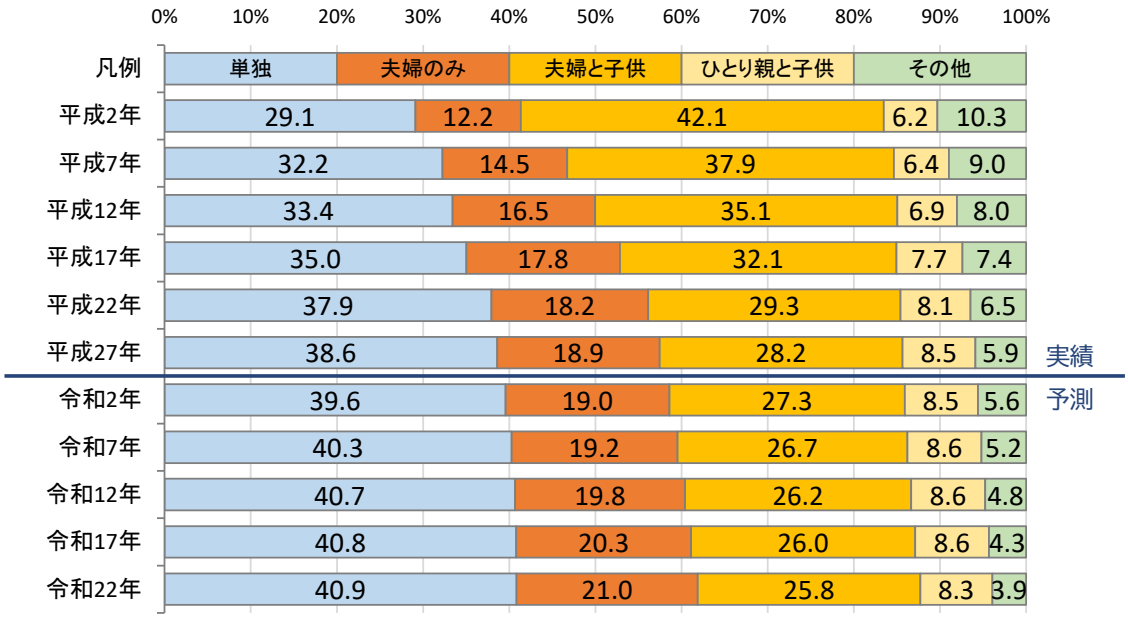
## ■世帯数の推移




※不詳世帯をあん分補正している

【出典】国勢調査、東京都世帯数の予測（平成31年3月）

## ■家族類型別の構成割合の推移



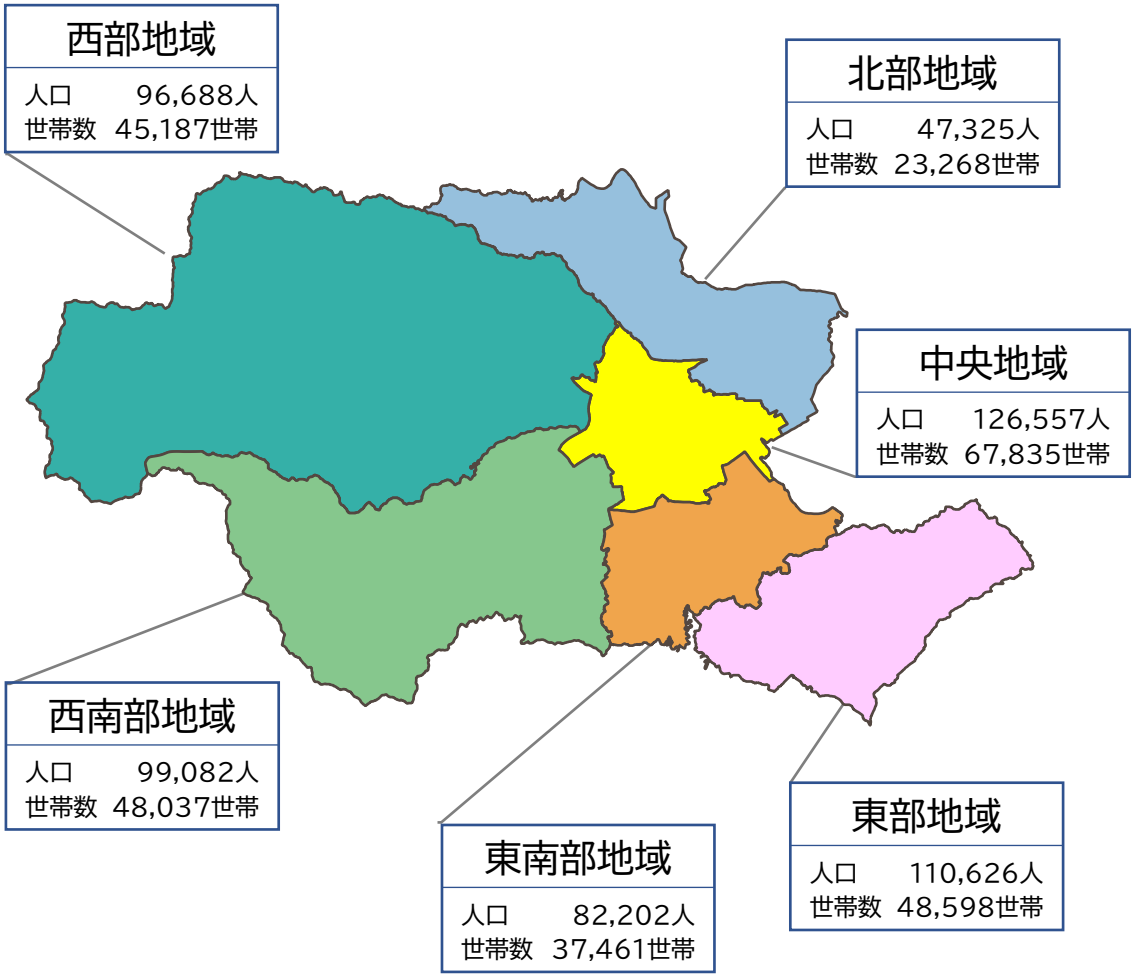

※不詳世帯をあん分補正している

【出典】国勢調査、東京都世帯数の予測（平成31年3月）

## （2） 人口（地域別）

- 東京都内で屈指の面積と人口を誇る本市は、市域の中に産業の発展とともに多くの人でにぎわってきた中心市街地、計画的に開発されたニュータウン、豊かな自然に囲まれた周辺部など様々な地域の顔を有しています。
- 特長を活かしたまちづくりを進める観点から、市域を6つに区分し、それぞれの地域の個性をつなぎ、重ねあわせ、市民と行政との協働により八王子のまちづくりを行うことを基本方針としています。
- 「人口」、「世帯数」ともに中央地域が最も多く、次いで東部地域、西南部地域となっています。

**■地域区分**

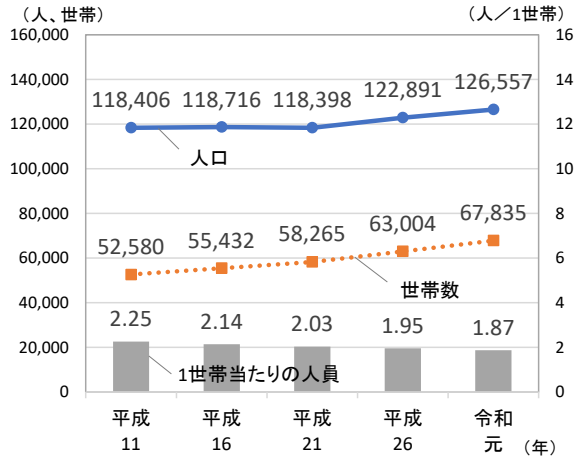



【出典】八王子市 住民基本台帳町丁別世帯数及び人口（令和元年12月末日現在）

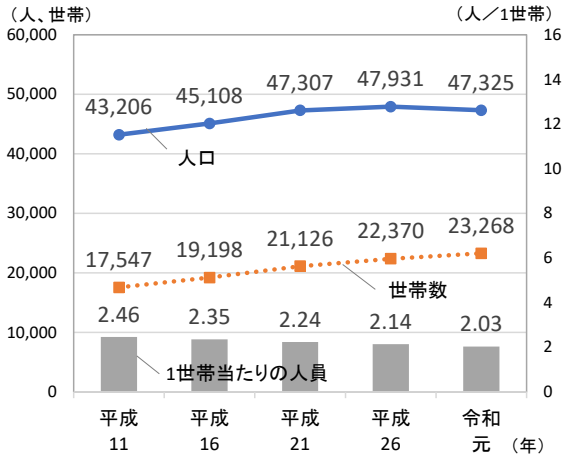
- 中央地域は人口、世帯数とも最も多く、増加傾向にあります。近年の1世帯当たりの人員を見ると、1人台となっており、単独世帯が多い地域であることがわかります。
- 西部、西南部地域において人口が減少傾向にあります。

## ■地域別　人口・世帯数・1世帯当たりの人員の推移

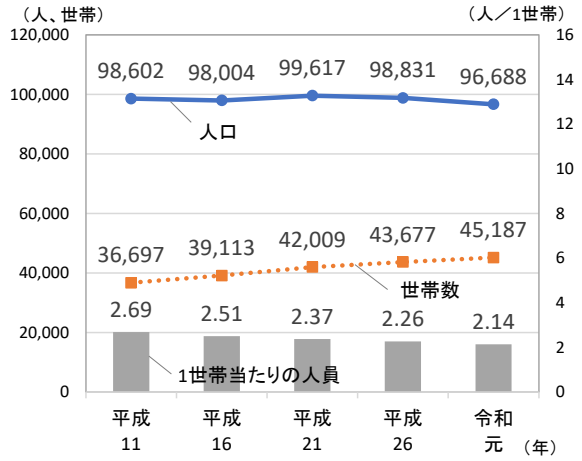
### ●中央地域



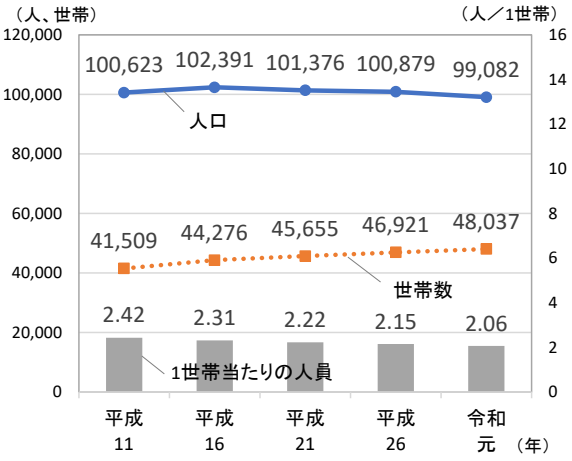

### ●北部地域



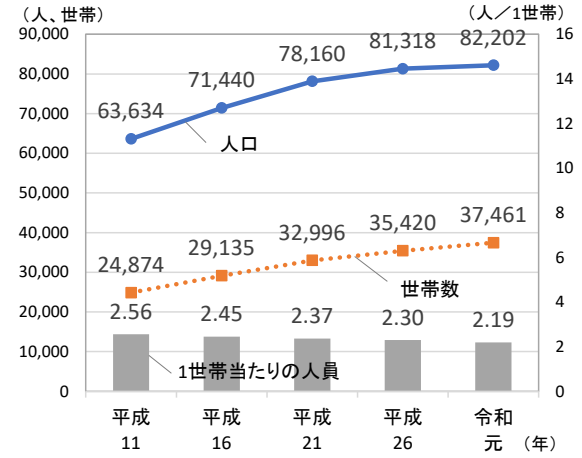

### ●西部地域



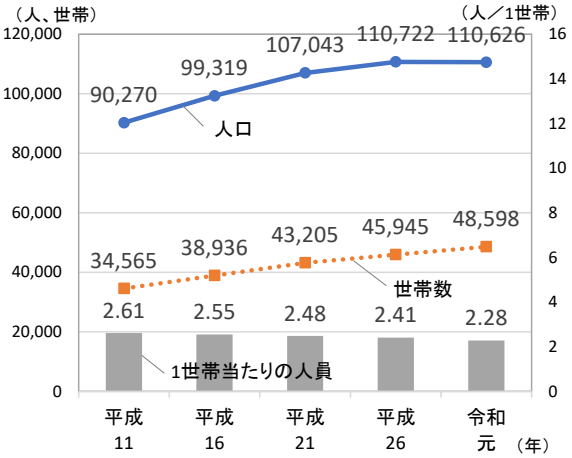

### ●西南部地域




### ●東南部地域




### ●東部地域



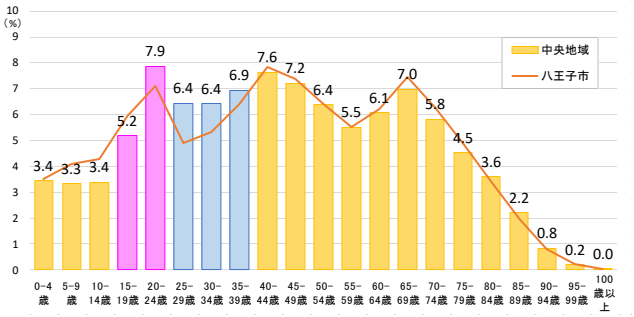

【出典】八王子市 住民基本台帳町丁別世帯数及び人口（各年12月末日現在）

## （2） 人口（地域別）

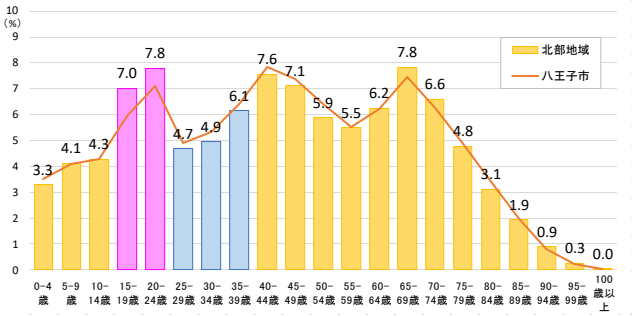
- 八王子市全域の人口構成と比較し、中央地域では20代、30代の割合が、北部地域では15～24歳の割合が高くなっています。
- 西部地域や西南部地域において、65歳以上の割合が高くなっています。
- 東部地域において若年層の割合が高く、65歳以上の割合が低くなっています。

### ■地域別　人口構成

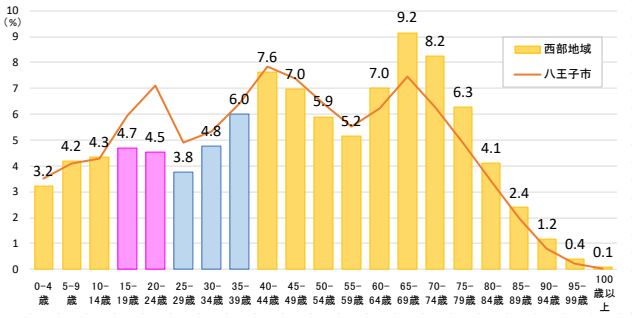
#### ●中央地域



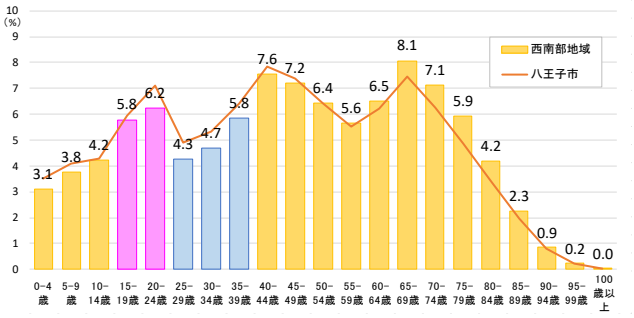

#### ●北部地域



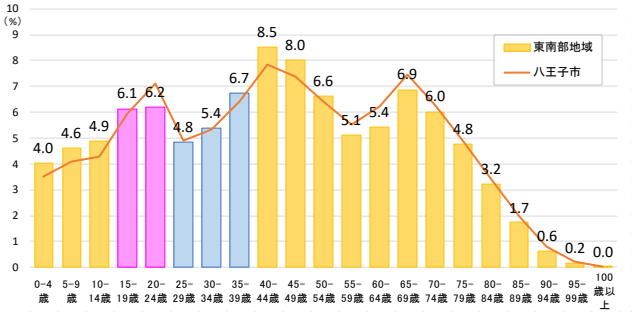

#### ●西部地域



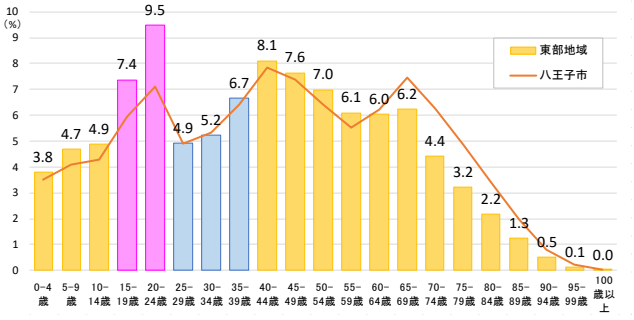

#### ●西南部地域




#### ●東南部地域



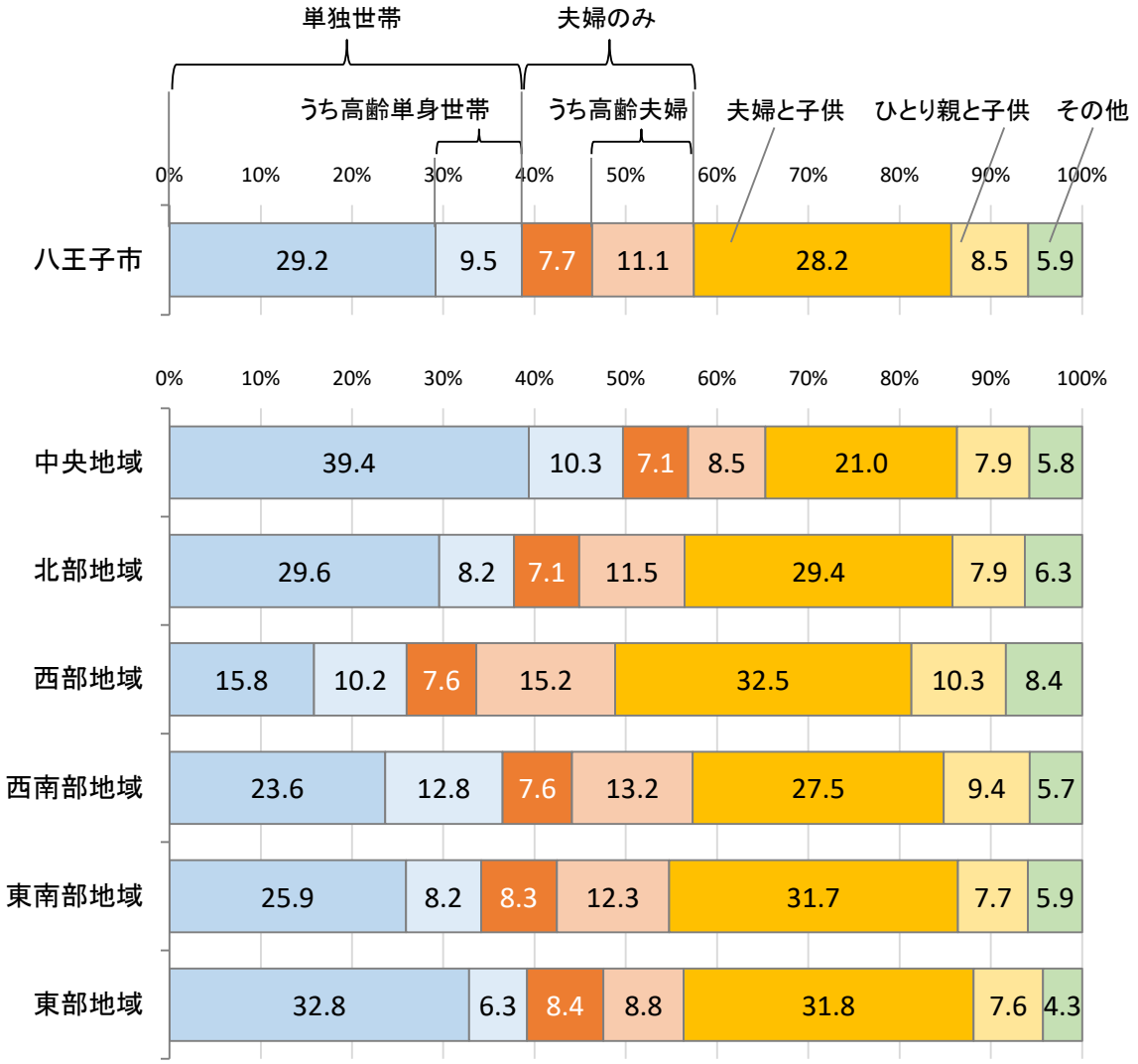

#### ●東部地域




【出典】国勢調査（平成27年（2015年））

- 八王子市全域の割合と比較し、中央地域において、「単独世帯」の割合が約5割と高い一方、「高齢夫婦」や「夫婦と子供」の世帯の割合が低くなっています。
- 西部地域、西南部地域において、「高齢単身世帯」や「高齢夫婦」の世帯の割合が高くなっています。
- 東部地域において、「高齢単身世帯」を除く「単独世帯」や「夫婦と子供」の世帯の割合が高い一方、「高齢単身世帯」の割合が低くなっています。

■地域別　世帯の家族類型の割合




※不詳世帯をあん分補正している

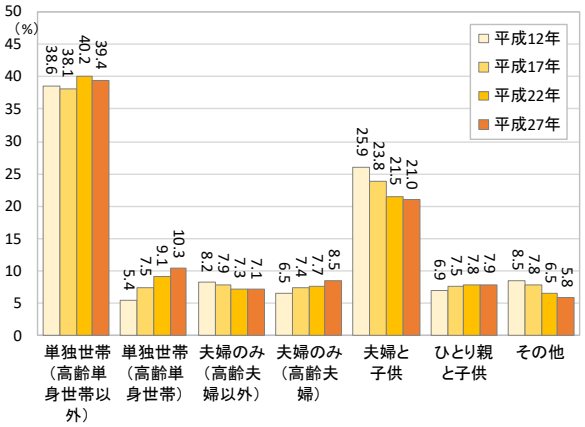
【出典】国勢調査（平成27年（2015年））

## （2） 人口（地域別）

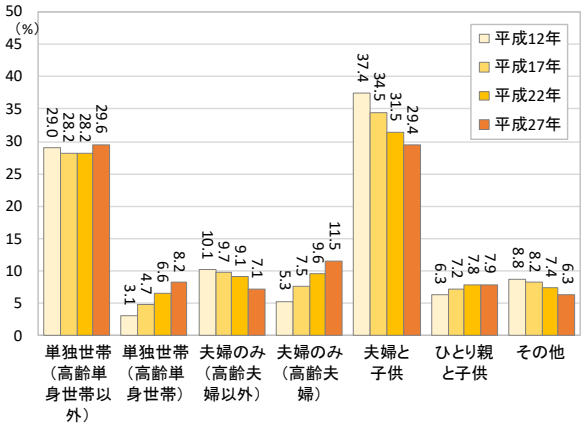
- 平成12年（2000年）から平成27年（2015年）にかけて、全ての地域で、「夫婦と子供」の世帯の割合が大きく減少する一方、「夫婦のみ（高齢夫婦）」の世帯や「高齢単身世帯」の割合が増加しています。

### ■地域別　世帯の家族類型の割合（推移）

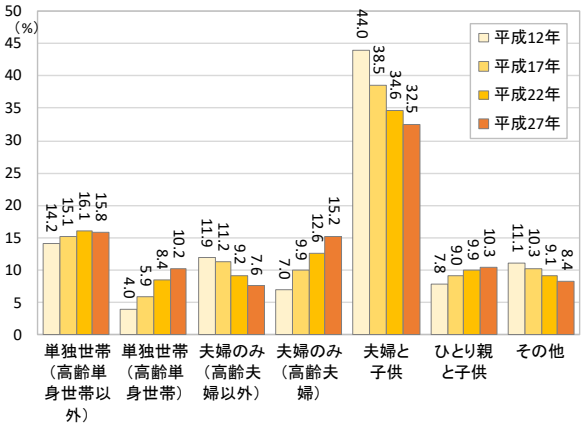
#### ●中央地域



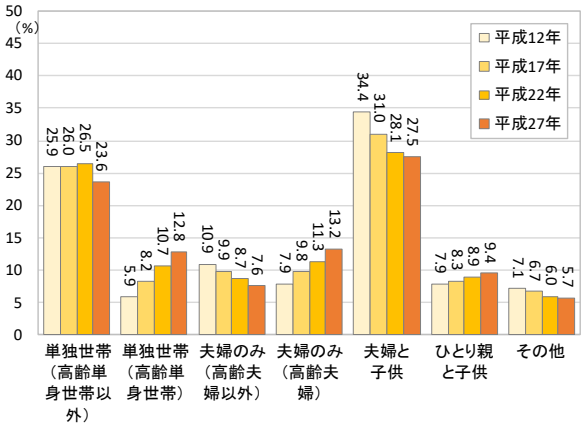

#### ●北部地域



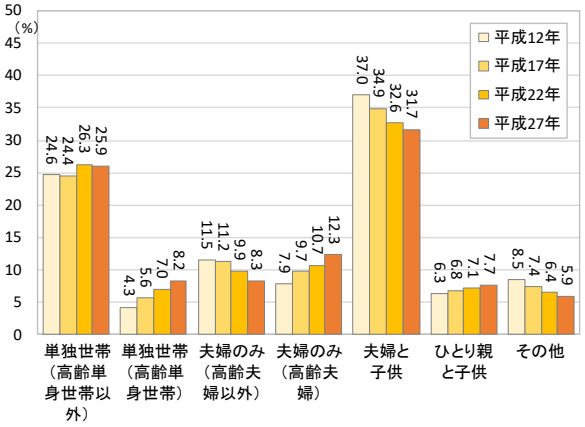

#### ●西部地域



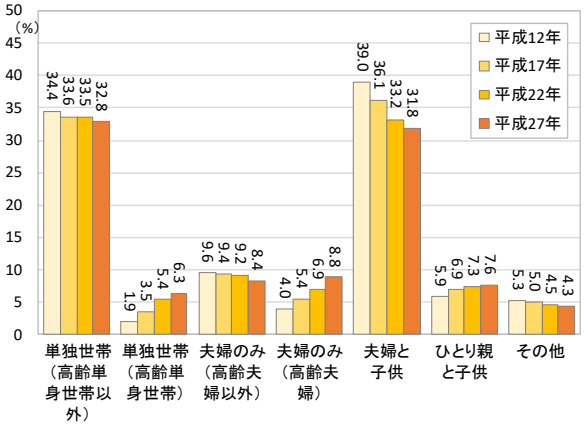

#### ●西南部地域




#### ●東南部地域




#### ●東部地域

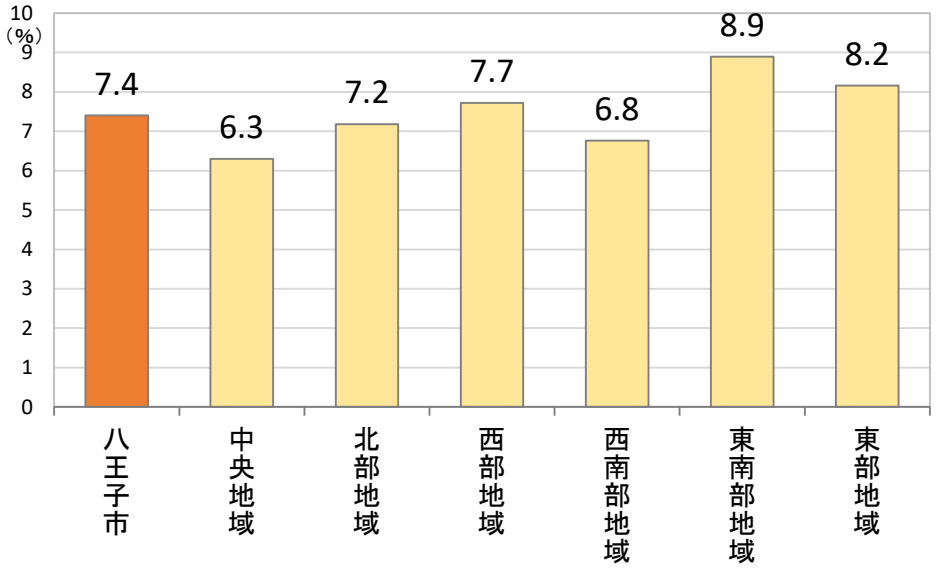



※不詳世帯をあん分補正している

【出典】国勢調査（平成27年（2015年））

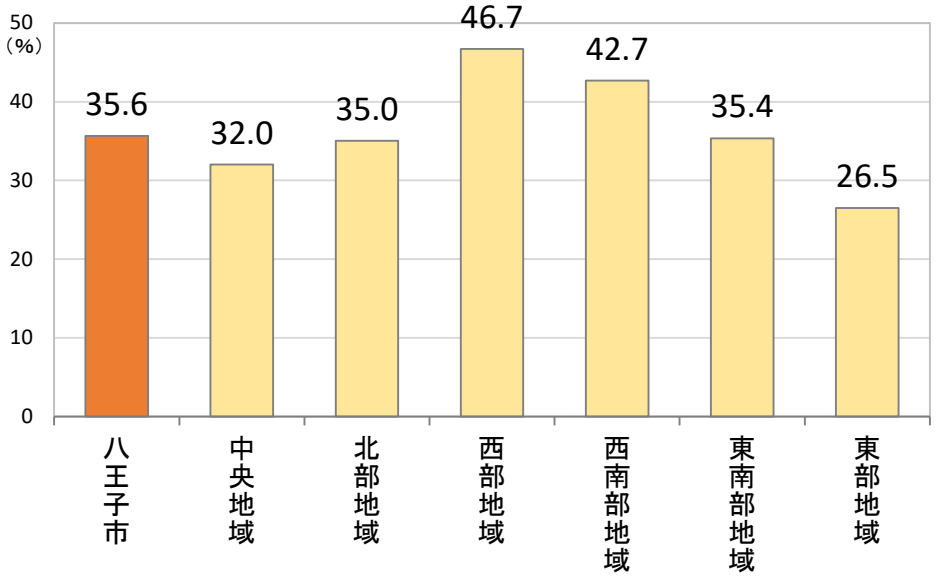
- 八王子市全域の割合と比較し、東南部地域や東部地域において、「6歳未満のいる世帯」の割合が高くなっています。
- 八王子市全域の割合と比較し、西部地域や西南部地域において、「65歳以上のいる世帯」の割合が高く、40%を超えています。

■地域別　6歳未満のいる世帯の割合




【出典】国勢調査（平成27年（2015年））

■地域別　65歳以上のいる世帯の割合



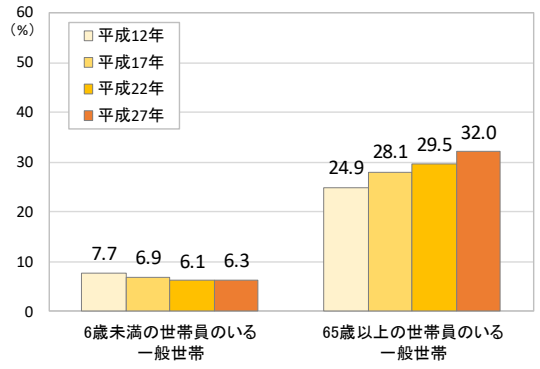

【出典】国勢調査（平成27年（2015年））

## （2） 人口（地域別）

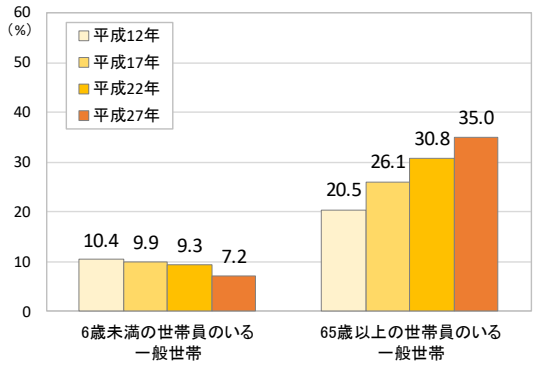
- 平成12年（2000年）から平成27年（2015年）にかけて、「65歳以上のいる世帯」の割合が増加傾向にありますが、北部地域、西部地域及び西南部地域では約15～20ポイント増加しています。

### ■地域別　6歳未満のいる世帯、65歳以上のいる世帯の割合（推移）

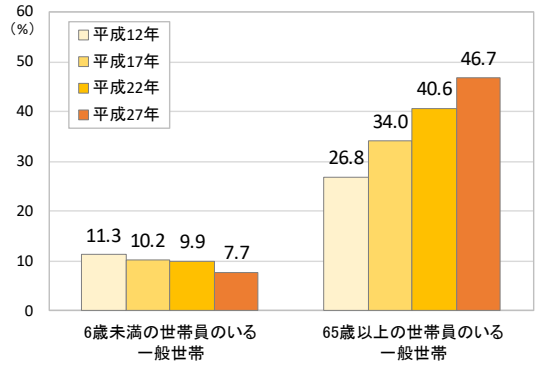
#### ●中央地域



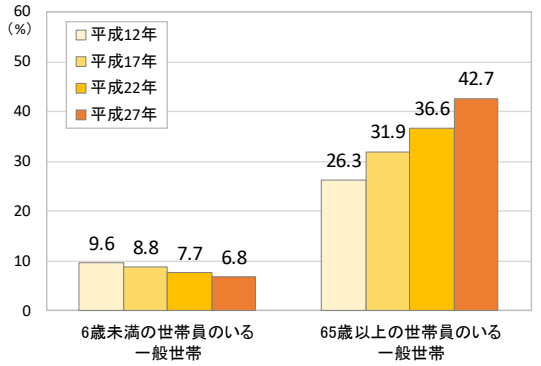

#### ●北部地域



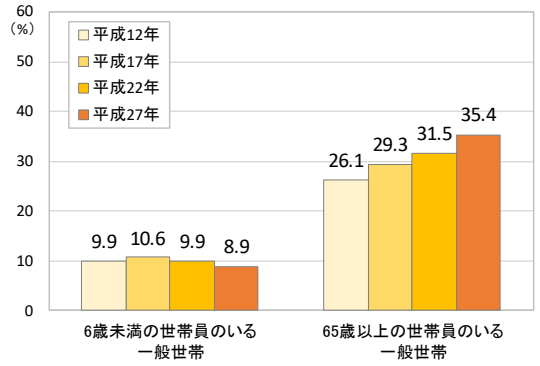

#### ●西部地域



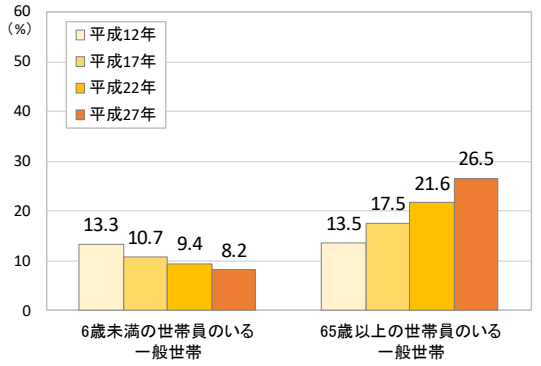

#### ●西南部地域




#### ●東南部地域




#### ●東部地域

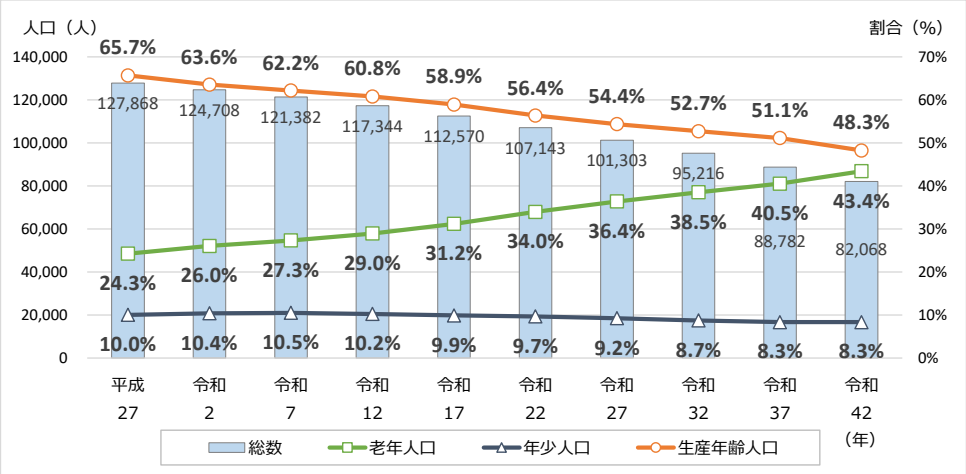



【出典】国勢調査

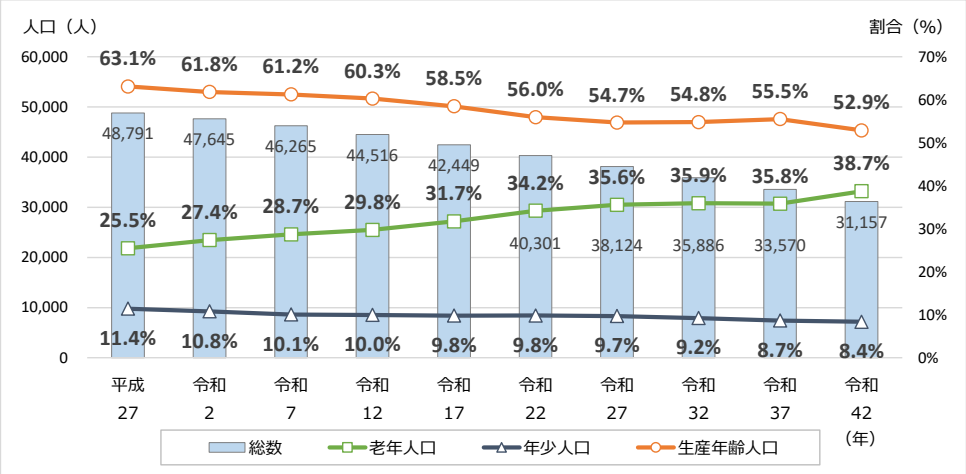
- 各地域の将来人口は減少すると推計していますが、速度には地域差があります。
- 中央地域の「生産年齢人口（15～64歳）」の割合は減少し続け、令和42年（2060年）には50%を下回り、「老年人口（65歳以上）」の割合は他の地域に比べ高くなると推計しています。

**■地域別 将来人口推計** ※出生率が1.26（平成27年）で、平成24年1月～平成29年1月の住民基本台帳人口の動向が継続した場合
「八王子市まち・ひと・しごと創生総合戦略（2020改定版）」シミュレーション1

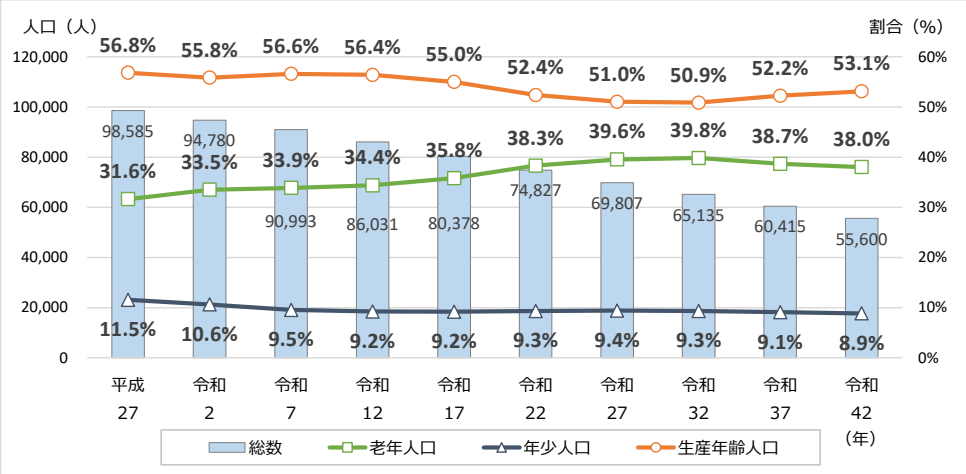
**●中央地域**




**●北部地域**



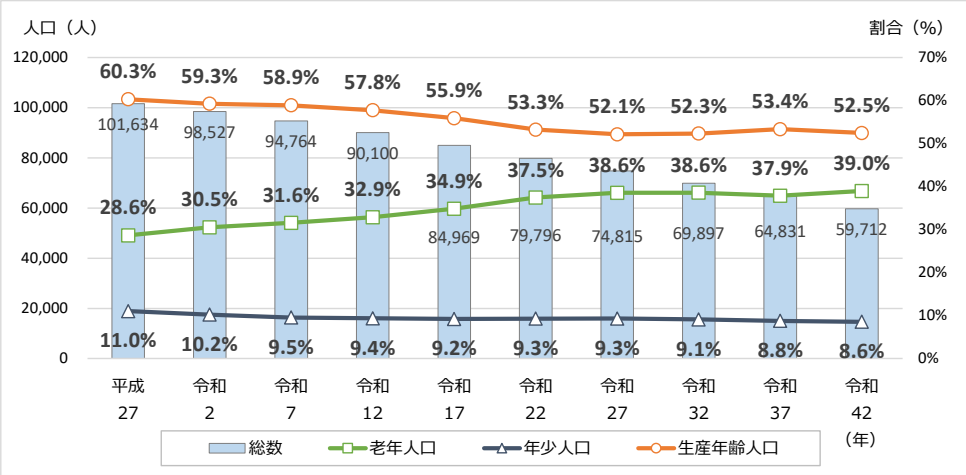

**●西部地域**



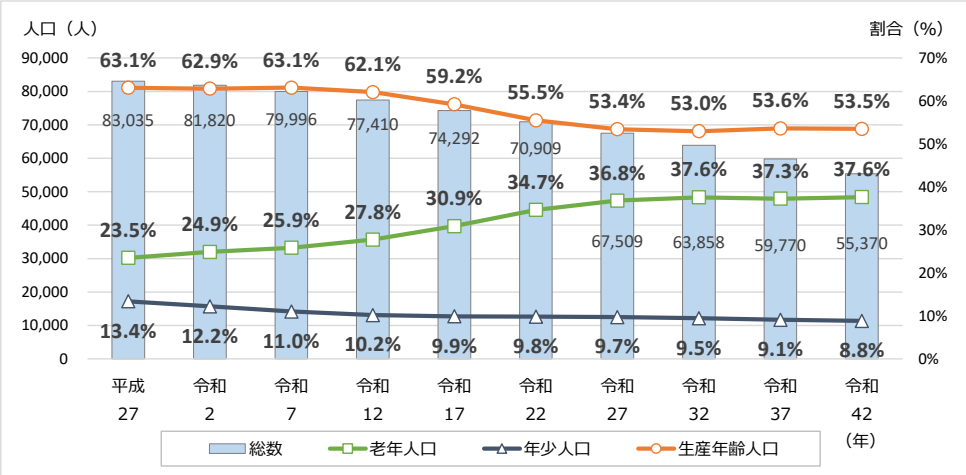

【出典】八王子市まち・ひと・しごと創生総合戦略（2020改定版）をもとに作成

## （2） 人口（地域別）

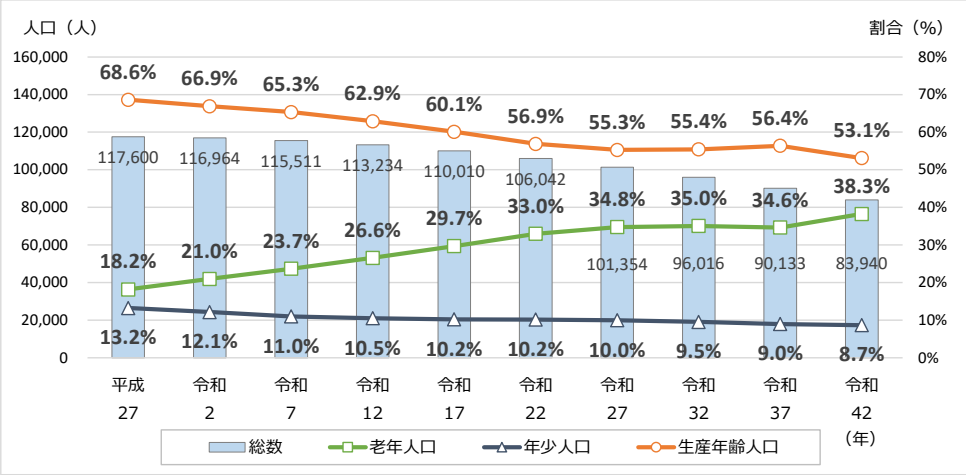
●西南部地域




●東南部地域



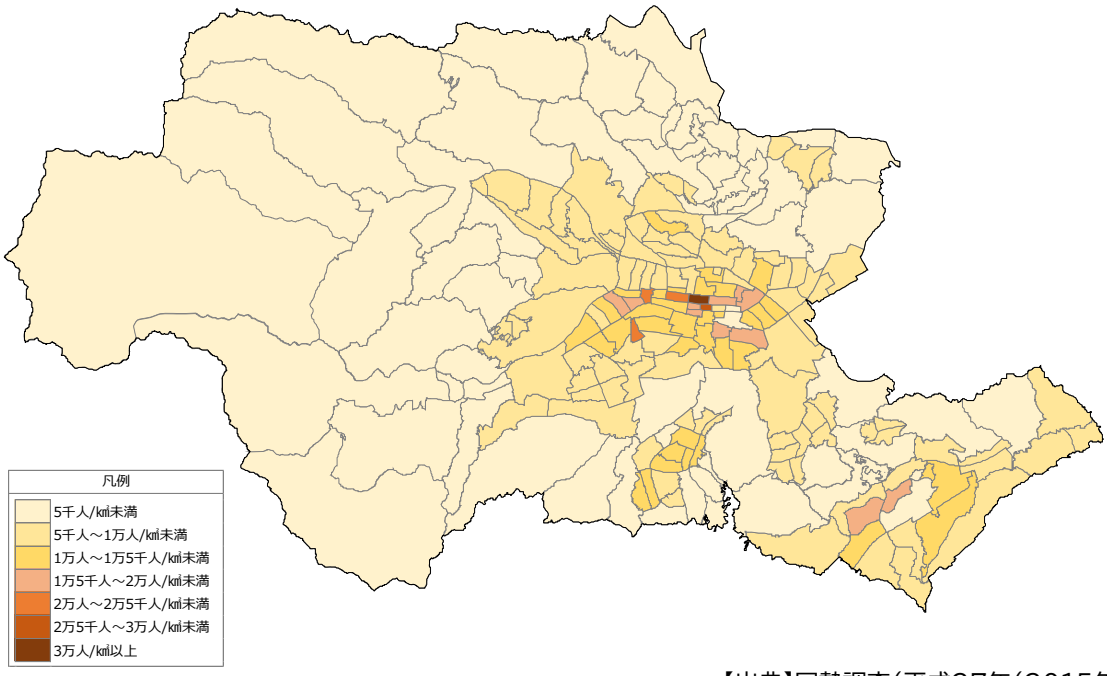

●東部地域




【出典】八王子市まち・ひと・しごと創生総合戦略（2020改定版）をもとに作成

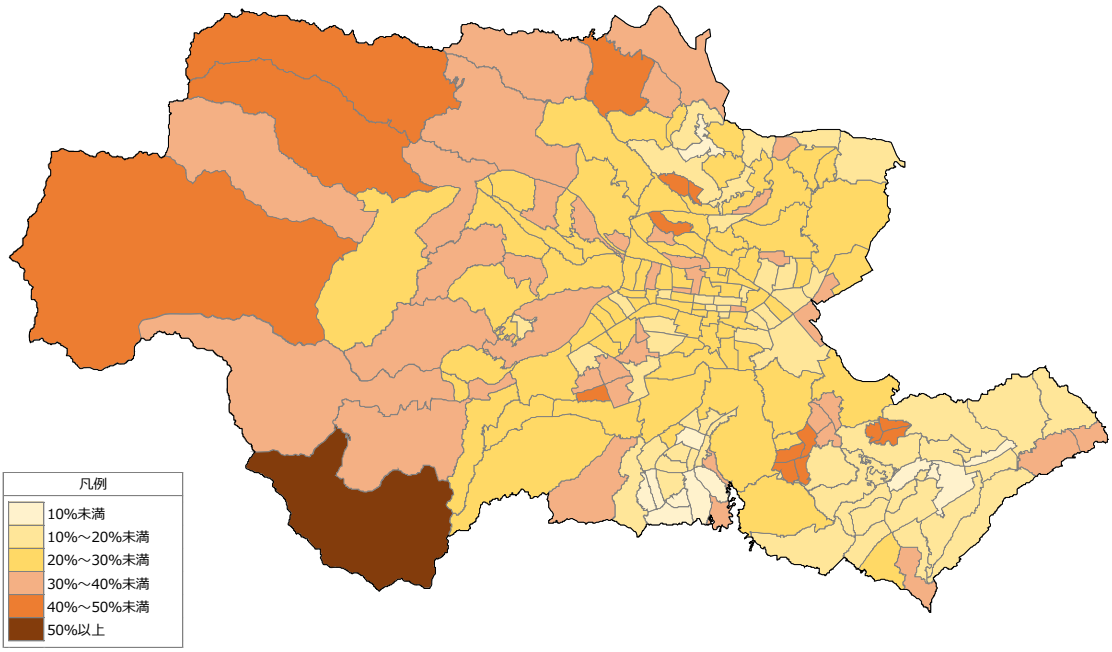
- 町丁別の人口密度は、八日町、南町、八幡町、追分町、散田町1丁目などで高くなっています。
- 町丁別の老年人口割合は、南浅川町で50%を超え最も高く、北野台3丁目、南陽台1丁目、上川町などで高い割合となっています。

## ■町丁別 人口密度




【出典】国勢調査（平成27年（2015年））

## ■町丁別 老年人口割合

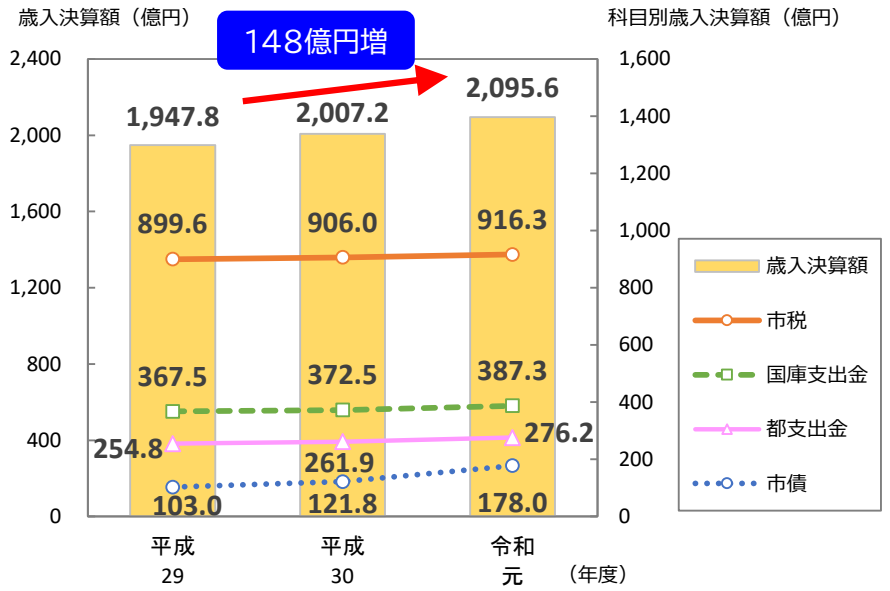



【出典】国勢調査（平成27年（2015年））

## （3） 財政

- 令和元年度（2019年度）の歳入決算額は2，096億円で、平成29年度（2017年度）に比べ148億円の増、平成30年度（2018年度）に比べ88億円の増になっています。
  主な要因は、幼児教育・保育の無償化に伴い国庫支出金や都支出金が増になったほか、新館清掃工場の建設や給食センターの整備など投資的事業の進捗により市債の借入が増になったことによるものです。
- 令和元年度（2019年度）は、収入率が過去最高の98．7%になり、収入額は前年度に比べ10億円増の916億円になりました。税目別の増加理由は、固定資産税及び都市計画税において家屋新増築数、個人市民税において給与所得額、法人市民税において企業実績がそれぞれ増になったことなどによるものです。

### ■一般会計【歳入】歳入決算額の推移

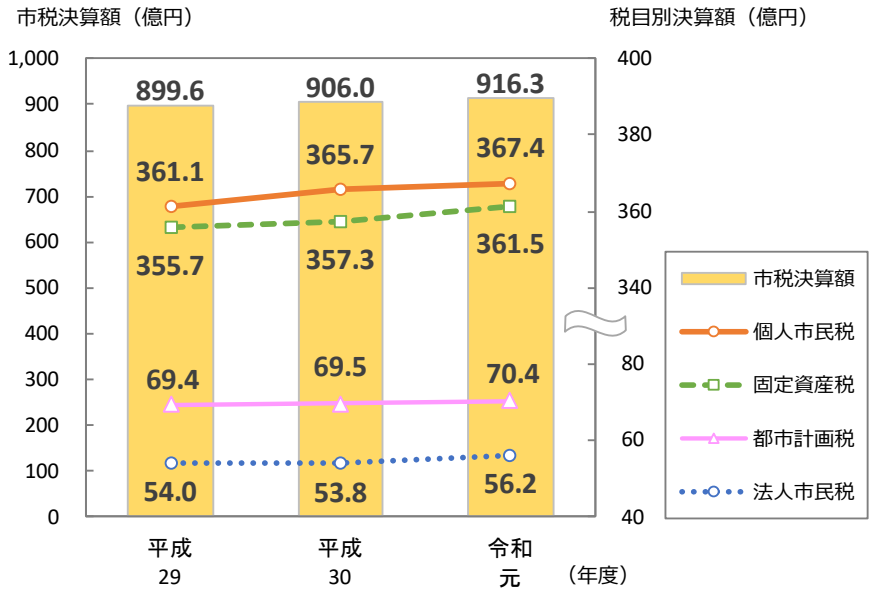



**歳入決算**

行政サービスの提供や公共施設の整備に必要となる収入（歳入）の中心は、市民の皆様が前年度の給料などの所得総額に応じて負担する個人市民税や、土地・家屋の大きさなど資産の価値に応じて負担する固定資産税などの市税です。このほか、国や東京都からの補助金、市の借金である市債などがあります。

【出典】八王子市財政白書

### ■一般会計【歳入】市税収入額の推移



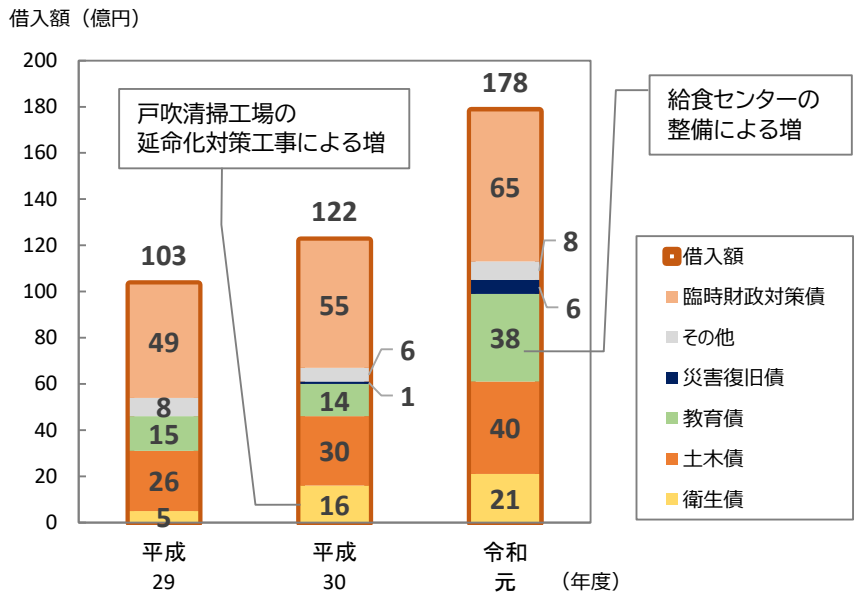

**市税**

市税には、市民税・固定資産税・軽自動車税・市たばこ税など、様々な種類があり、市税収入は本市の歳入の約半分を占めています。

【出典】八王子市財政白書

- 各年度の市債の借入額は、公共施設の建設経費に応じて増減します。例えば、令和元年度（2019年度）は教育債が平成30年度（2018年度）に比べ24億円の増額になっています。これは、給食センターの整備などによるものです。
- 令和元年度（2019年度）の市債現債額は、平成29年度（2017年度）に比べ42億円減少しています。これは市債の借入れを適正に管理してきた結果といえます。また、基金現在高は、子ども・若者の健全な成長に資する事業に活用するため「子ども・若者基金」を新設したことなどにより2億円の増になっています。

## ■一般会計【歳入】市債借入額の推移

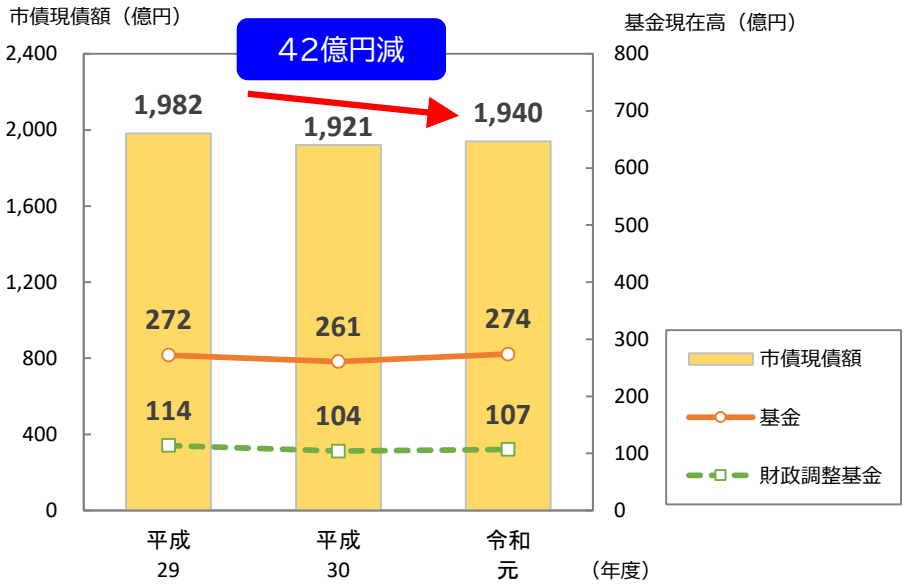



### 市債

市債（借金）には2つの役割があります。1つは「財政支出と財政収入の年度間調整の役割」です。公共施設の建設など多額の財源を必要とする事業については、その年の収入だけで賄おうとすると、他の事業が行えなくなったり、行政サービスに影響が出てしまいます。もう1つは「現在の市民と将来の市民の負担を公平にする役割」です。長期間にわたり利用する公共施設は、現在の市民だけでなく、将来の市民も利用するため、建設に要した費用について、市債の償還として将来の市民に負担していただきます。

【出典】八王子市財政白書

## ■全会計【歳入】市債現債額と基金現在高の推移




### 基金

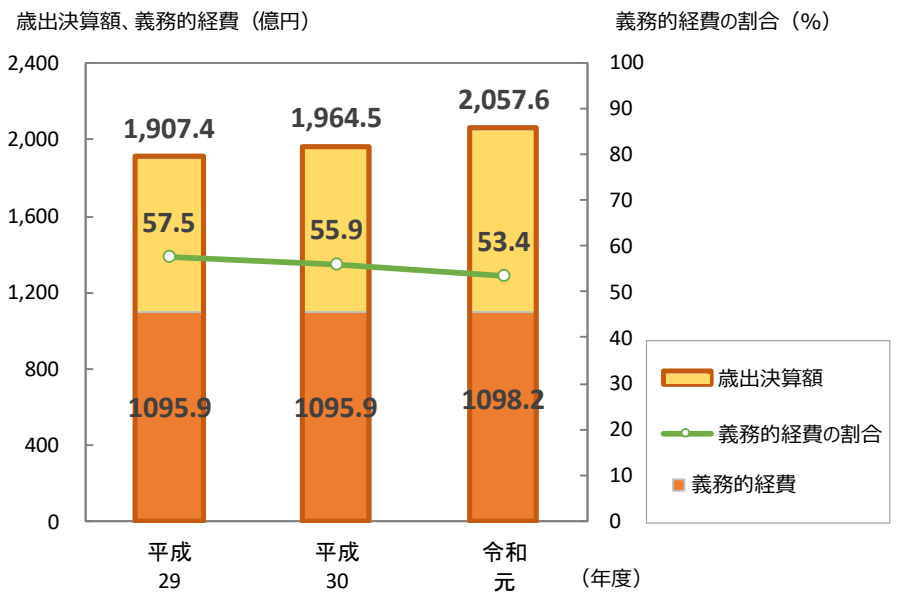
基金とは、財政運営を計画的に行うため、あるいは特定の目的のために資金を維持し、または積み立てるもので、家計における預貯金に相当するものです。積み立てられた資金やその運用利子は、様々な事業の財源として活用しています。そのうち、財政調整基金は、年度間の財源の不均衡を調整するための資金を積み立てる基金です。

【出典】八王子市財政白書

## （3） 財政

- 3か年の推移を分析すると、義務的経費の割合は減少していますが、決算額は増加しています。これは、公債費がこれまで進めてきた市債残高縮減の取組と借入金利の低下により減少傾向にある一方で、扶助費がサービス利用者の増加に伴う障害者自立支援給付金の増などにより増加を続けていることによるものです。
- 令和元年度（2019年度）の扶助費決算額は、幼児教育・保育の無償化に伴い幼稚園等園児保護者の助成が増加したほか、サービス利用者の増加に伴う障害者自立支援給付費の増加などにより、平成30年度（2018年度）に比べ27億円の増になっています。

### ■一般会計【歳出】義務的経費の推移（性質別）

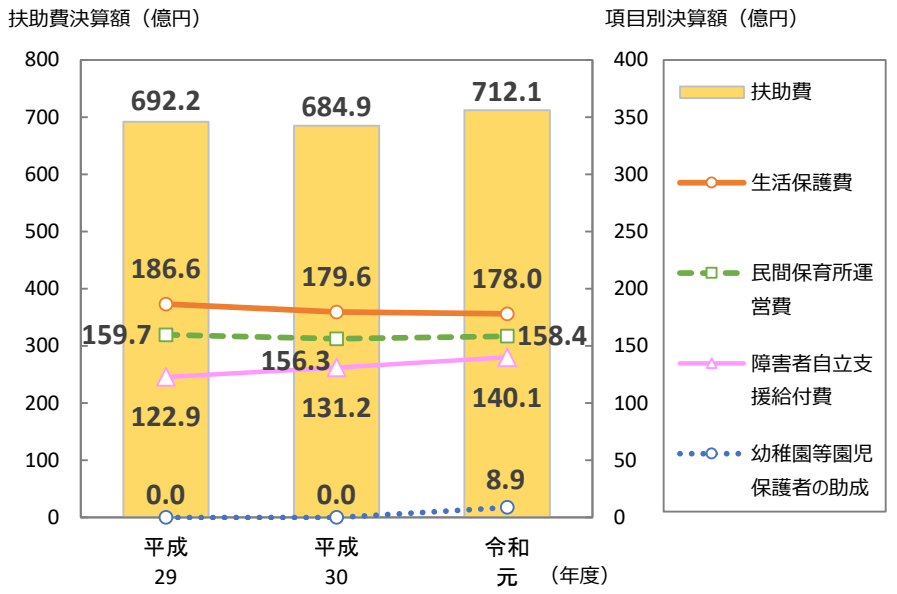



**義務的経費**

支出（歳出）は、経費の性質によっても分類することができます。職員の給与や議員の報酬などの「人件費」、児童福祉や生活保護など社会保障制度に基づき支出する「扶助費」、学校施設、道路、公園などの整備にかかる「投資的経費」、市債の返済にかかる「公債費」などがあります。このうち、支出が義務付けられており、市の判断で削減することが難しい「人件費、扶助費、公債費」を義務的経費といいます。

【出典】八王子市財政白書

### ■一般会計【歳出】扶助費の推移（性質別）




**扶助費**

扶助費は、民間保育所運営費、障害者自立支援給付費、児童手当や生活保護費など社会保障制度に基づき支出する経費です。

【出典】八王子市財政白書

- 地方公共団体の財政状況を統一的な指標で明らかにする財政健全化判断指標について、本市は全ての指標で、法で定められた基準を大きく下回っており、財政の健全性を堅持しています。
- 「八王子市職員数」は、職員が担うべき役割を明確化し適正な定員管理を行うことにより、これまで最も多かった平成9年度から令和2年度の間で約1．3千人減少しています。
- 職員数の比較では、中核市の平均に比べ、人口規模に対する職員数が少ないことがわかります。これは、これまでの行財政改革の取組の成果によるものです。

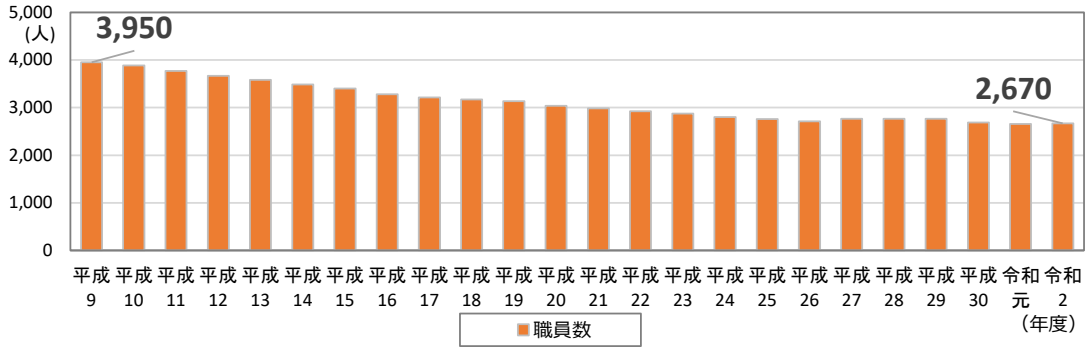
## ■財政健全化判断指標

| 区分 | 財政健全化判断指標 | | 健全化の取り組みが義務付けられる基準 | |
|---|---|---|---|---|
| | 令和元年度（2019年度） | 平成30年度（2018年度） | 早期健全化基準 | 財政再生基準 |
| 実質公債費比率 | -0.7% | -0.6% | 25% | 35% |
| 将来負担比率 | －% | －% | 350% | |

●実質公債費比率・・・財政規模に対する、借金返済に充てなければならない額の割合。
●将来負担比率・・・財政規模に対する、将来支払う借金返済額などの割合。
※将来負担比率は、計算結果が0%以下になるため、「－%」と表記しています。
上記以外の指標については、赤字や資金不足がないため算出されません。

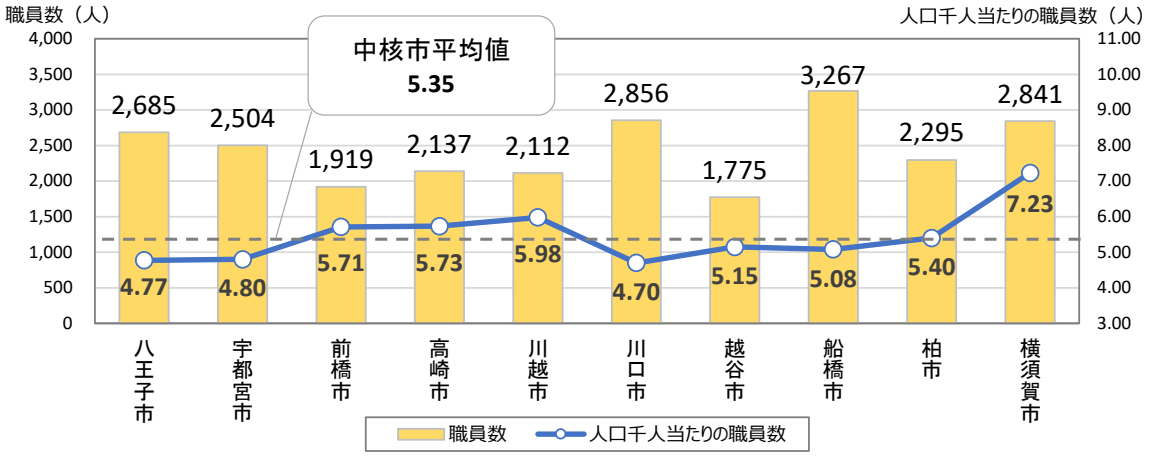
【出典】財政課資料

## ■八王子市職員数の推移




【出典】行政管理課資料

## ■関東の中核市（9市）との職員数比較




※職員数は「令和２年度(2020年度)地方公共団体定員管理調査」における普通会計部門の人数。
また、本市には消防職員がいないため、中核市の職員数から消防職員を除いて比較しています。

【出典】八王子市財政白書　令和2年度（2020年度）版

# 八王子の1日

八王子で一日に起こる出来事の数を
10年前と比べてみました。

（データは平成20年‥▸平成30年）

## 人口について

● 生まれるのは？
12人 ‥▸ 9人

● 亡くなるのは？
11人 ‥▸ 15人

悪性新生物（がん等）では？..3.5人▸4.2人
心疾患では？.....1.6人▸2.7人
肺炎では？.....1.1人▸1.0人
脳血管疾患では？.....1.5人▸1.0人
不慮の事故では？.....0.3人▸0.3人
仕事中の事故では？.....0.02人▸0.01人
老衰では？.....0.3人▸1.3人
自殺では？.....0.3人▸0.3人

● 人口の増減は？
+1人 ‥▸ -6人

## 雇用について

● ハローワークで新たに仕事を探し始めたのは？
60人 ‥▸ 40人

● ハローワークを通じて就職するのは？
11人 ‥▸ 9人

● 仕事中にけが等（労働災害）をしたのは？
1.7人 ‥▸ 1.7人

## 結婚について

● 結婚するのは？
7.6組 ‥▸ 5.7組

● 離婚するのは？
2.7組 ‥▸ 2.7組

## 介護について

● 一人当たりの介護保険からの給付費は？
110円‥▸169円

【出典】東京都福祉保健局 人口動態統計、八王子市保健所年報統計編、八王子市保健所 事業概要、統計八王子

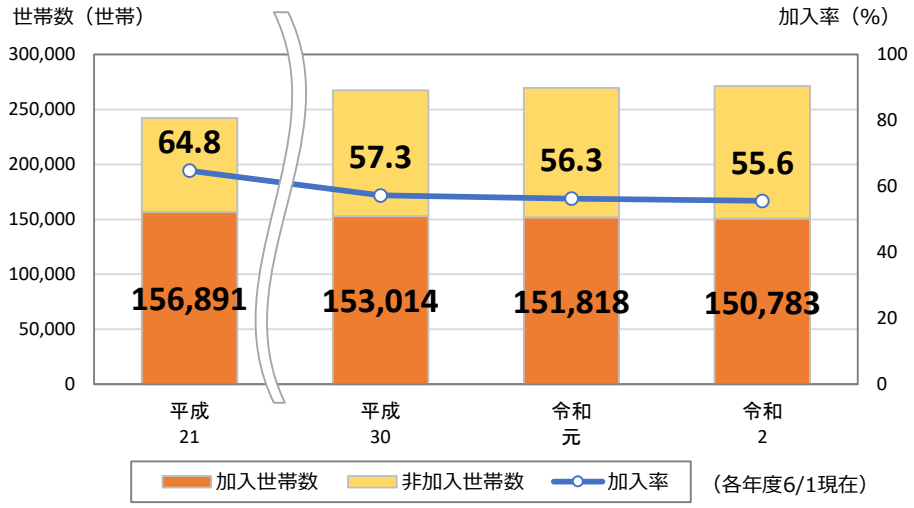
# 2章

# 分野別データ

# （1） 地域・暮らし

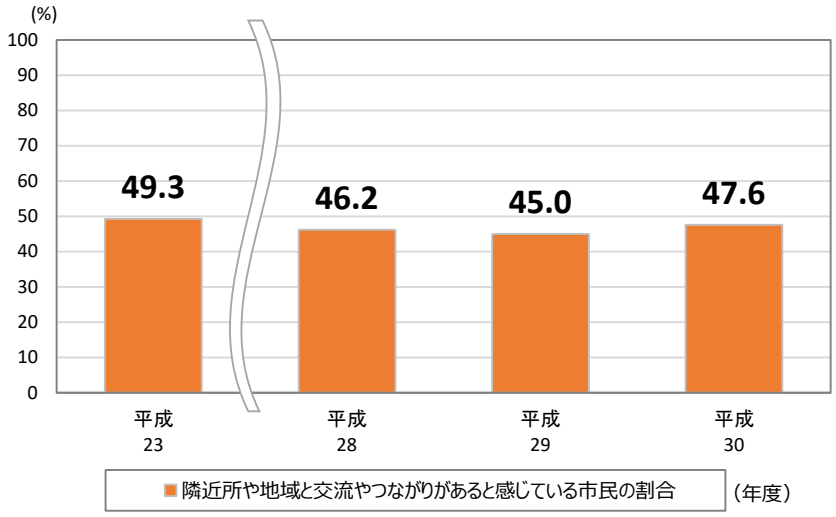
- 「町会・自治会の加入率」は減少傾向にあり、令和2年度には55.6%になっています。
- 「隣近所や地域と交流やつながりがあると感じている市民の割合」は、近年減少傾向にありましたが、平成30年度には増加しました。

■町会・自治会加入世帯数及び加入率の推移




【出典】協働推進課資料

■隣近所や地域と交流やつながりがあると感じている市民の割合（推移）




【出典】八王子ビジョン2022アクションプラン

## （1） 地域・暮らし

- 市民センターは、年間で延べ193万人以上の方に利用されています。
- 「市民活動支援センターに登録している団体」の活動分野は多岐にわたっており、文化・スポーツ、医療・福祉、子ども・教育、まちづくりなどにかかわる活動が多くなっています。

### ■市民センターの利用状況（令和元年度）

| 施　設　名 | 開館日数 | 利用人数 |
|---|---|---|
| 子安市民センター | 315日 | 123,519人 |
| 台町市民センター | ※144 | 73,899 |
| 中野市民センター | 315 | 86,687 |
| 大和田市民センター | | 118,675 |
| 浅川市民センター | ※314 | 86,543 |
| 由木中央市民センター | 315 | 107,576 |
| 南大沢市民センター | | 132,507 |
| 由木東市民センター | ※312 | 90,510 |
| 長房市民センター | 315 | 94,233 |

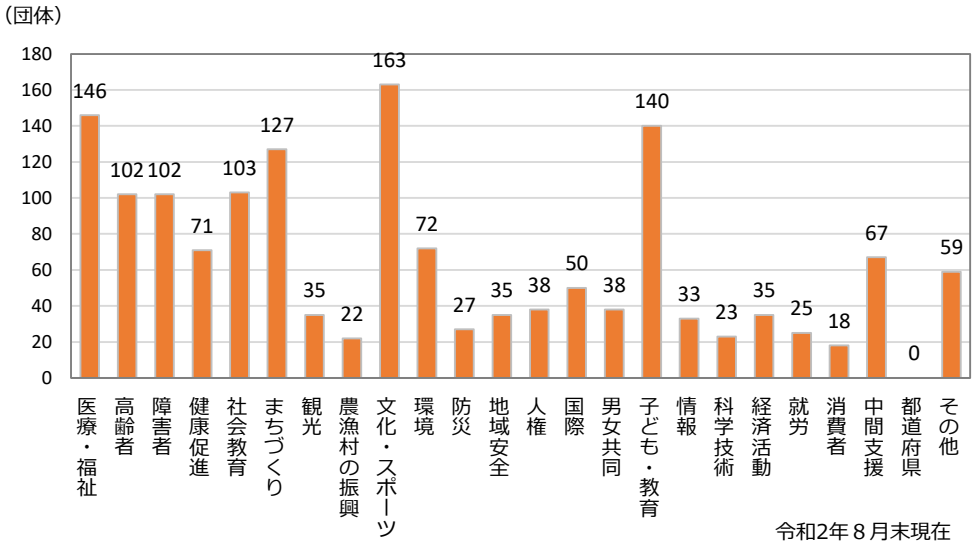
| 施　設　名 | 開館日数 | 利用人数 |
|---|---|---|
| 横山南市民センター | 315 | 111,654 |
| 元八王子市民センター | | 153,222 |
| 恩方市民センター | | 101,909 |
| 川口市民センター | | 87,574 |
| 加住市民センター | | 53,012 |
| 由井市民センター | | 111,399 |
| 由井市民センターみなみ野分館 | | 71,548 |
| 北野市民センター | | 233,796 |
| 石川市民センター | | 97,912 |

※工事等のため閉館期間があり、開館日数が異なる。

| 利用人数　計 | 1,936,175 |
|---|---|

【出典】協働推進課資料

### ■市民活動支援センターに登録している分野別団体数

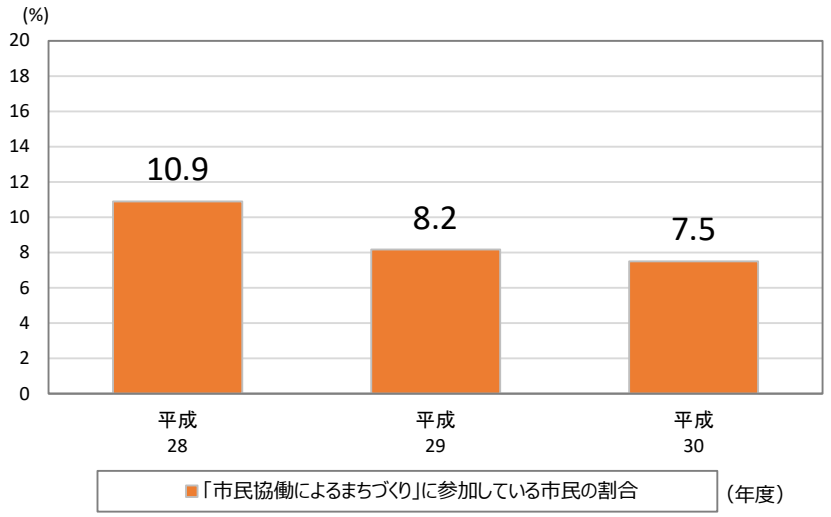



※複数分野の活動をしている団体があるため、登録団体数（441団体）とは一致しない

【出典】協働推進課資料

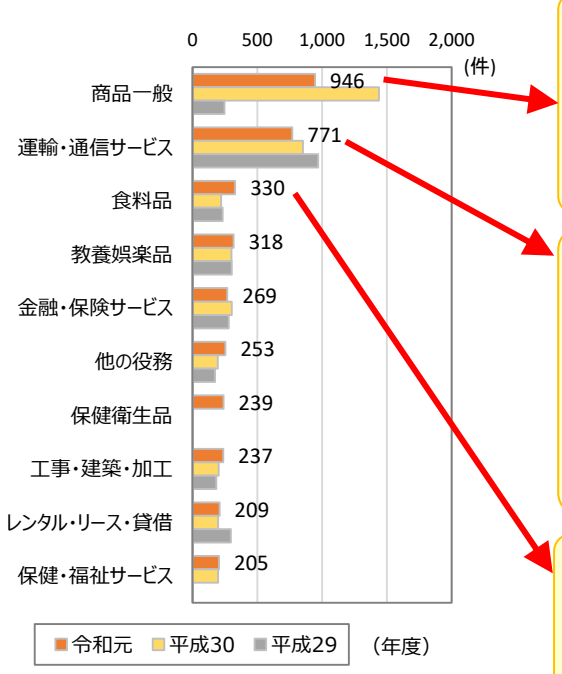
- 平成30年度の「市民協働によるまちづくり」に参加していると答えた市民の割合は7.5%で、減少傾向にあります。
- 消費生活相談の相談件数は、「商品一般」に関することや「運輸・通信サービス」に関すること、「食料品」に関することが多くなっています。

■「市民協働によるまちづくり」に参加している市民の割合（推移）




【出典】八王子ビジョン2022アクションプラン

■消費生活相談「商品・役務分類別相談件数の推移（上位10位）及び令和元年度（2019年度）多かった相談トップ3」




**第1位　商品一般　946件**

主な相談例
- 「料金未納に関する訴訟最終告知のお知らせ」などと書かれた、架空請求のハガキや封書が届いたなど。

主な対策例
- 身に覚えのない内容のハガキ・封書などが届いても、あわてて相手に連絡しないこと（無視すること）が重要。

**第2位　運輸・通信サービス　771件**

主な相談例
- スマートフォン等に有料コンテンツ利用料が未納などと書かれたメールなどが届いたなど。
- インターネット回線サービスを変更すると料金が安くなると電話でしつこく勧誘されるなど。

主な対策例
- 請求に覚えがない場合は、相手に連絡しない。
- しつこい勧誘を断る場合は、態度をあいまいにしないできっぱり断ることが大切。

**第3位　食料品　330件**

主な相談例
- 健康サプリメントが1回購入のつもりが定期購入だったなど。

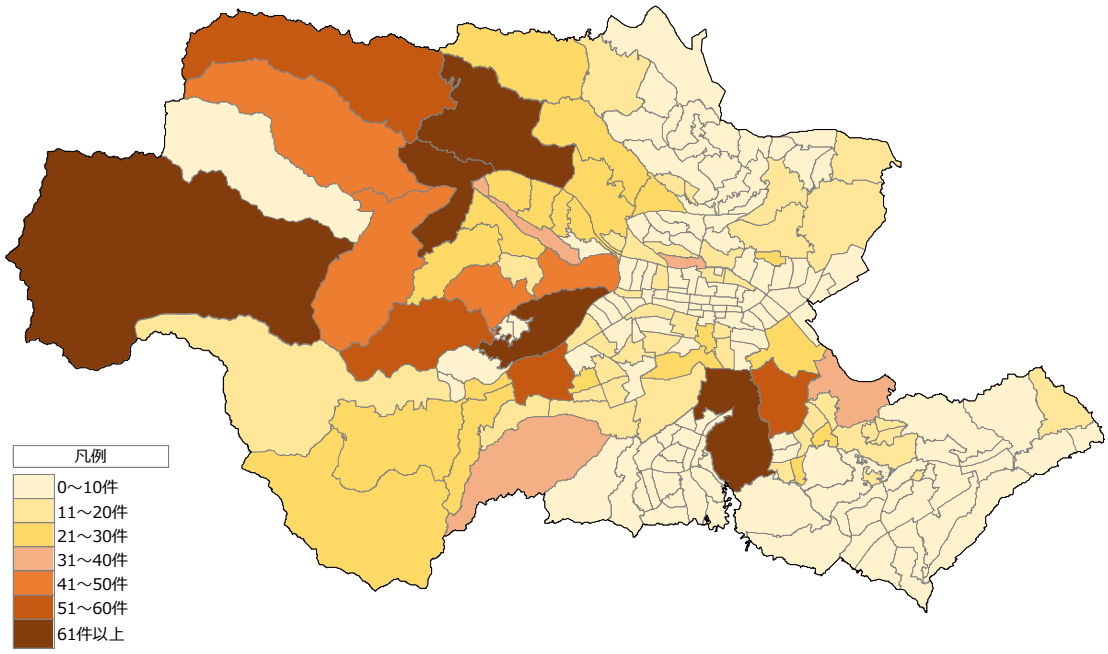
主な対策例
- 広告チラシの説明をよく読み、定期購入でないことを確認する。

【出典】消費生活センター資料

## （1） 地域・暮らし

- 「町丁別の空き家数」を見ると、片倉町、長房町、西寺方町、川口町、上恩方町等で多くなっています。

■町丁別空き家数状況（八王子市空き家実態調査 平成30年度）




【出典】住宅政策課資料

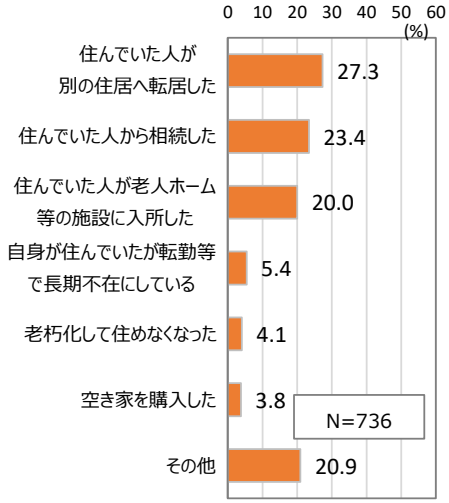
**八王子市空き家実態調査**

空き家等の所在や現況、所有者の意向等を把握し、中長期的な住宅施策を推進するための基礎となる情報を得ることを目的に平成30年度に実施。
町会・自治会の協力により把握した空き家と思われる住宅について、市が登記情報から所有者を特定し、アンケートを送付。
回答があったなかで、空き家とみなしたものが736件、未回答のため空き家と思われるものが1,687件、合計2,423件を空き家等の数とします。

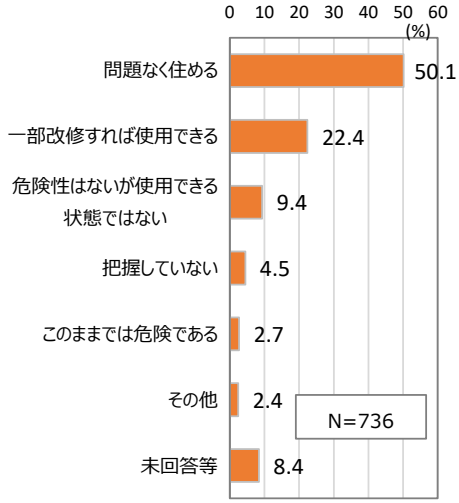
- 「建物を利用しなくなった理由」は、「転居」、「相続」、「居住者が老人ホーム等の施設に入所」が上位です。建物の状態は、「問題なく住める」が半数を占めていますが、空き家のうち耐震性があるものの割合は28.8%にとどまっています。
- 令和元年度の「地域防犯リーダー」の役割を担う人は、1町会等当たり2.1人となっています。

## ■建物を利用しなくなった理由及び建物の状態等（八王子市空き家実態調査　平成30年度）

### ●建物を利用しなくなった理由
（空き家とみなした回答数736件が対象）




### ●建物の状態
（空き家とみなした回答数736件が対象）

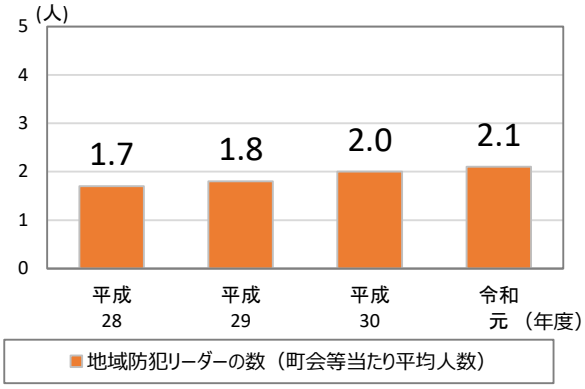



### ●建物の建築時期（空き家とみなした回答数736件が対象）

| 建築年 | | 回答数（件） | 耐震性があるもの |
|---|---|---|---|
| 昭和 56 年（1981 年）6 月以降 | | 194 | 212件（28.8%） |
| 昭和 56 年（1981 年）5 月以前 | 耐震改修をしている | 18 | |
| | 耐震改修をしていない | 277 | |
| | わからない | 116 | |
| | 未回答等 | 12 | |
| | 計 | 423 | |
| 未回答等 | | 119 | |
| 合計 | | 736 | |

【出典】住宅政策課資料

## ■地域防犯リーダーの数の推移（町会等当たり平均人数）



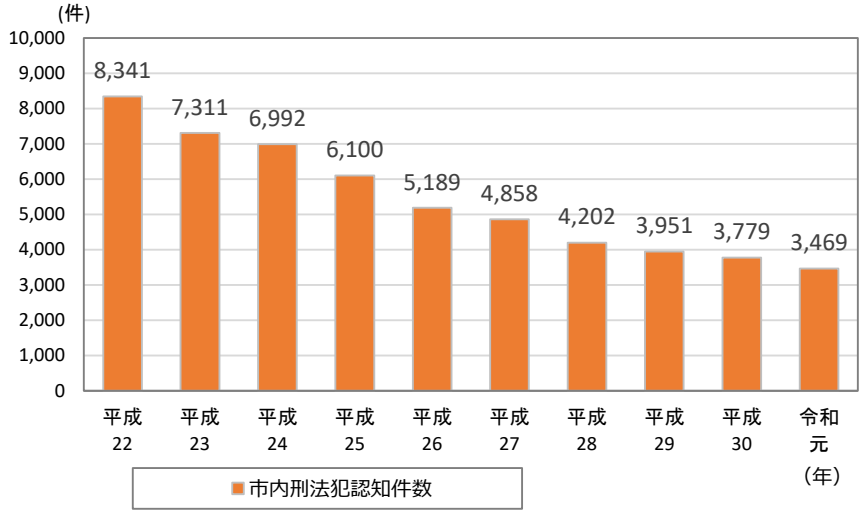

**地域防犯リーダー**
町会・自治会等の地域での防犯活動が、より活発で効果的に行われるように、防犯パトロールなどの活動を率先して実施し、牽引していく、リーダー的な役割を担っている地域の方。

【出典】防犯課資料

## （1） 地域・暮らし

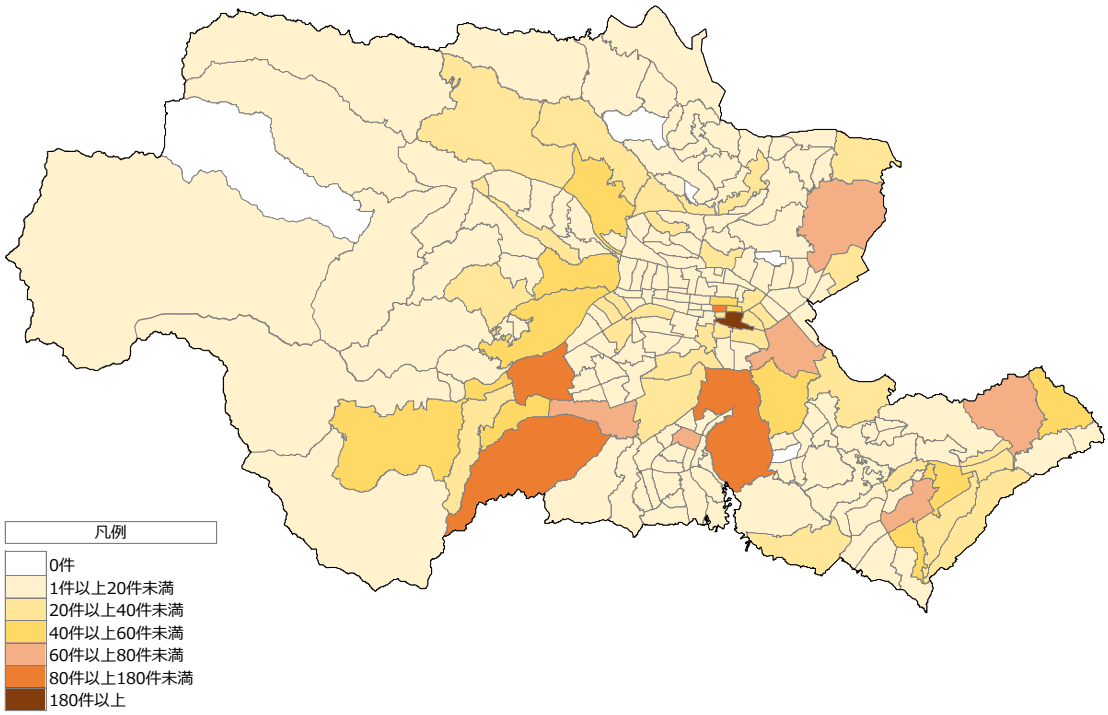
- 「市内刑法犯認知件数」は年々減少傾向にあり、令和元年は平成22年に比べ半分以下になっています。
- 「町丁別の市内刑法犯認知件数」を見ると、JR八王子駅周辺、西南部地区、東南部地区で件数が高い町丁があります。

### ■市内刑法犯認知件数の推移




【出典】警視庁 区市町村の町丁別、罪種別及び手口別認知件数

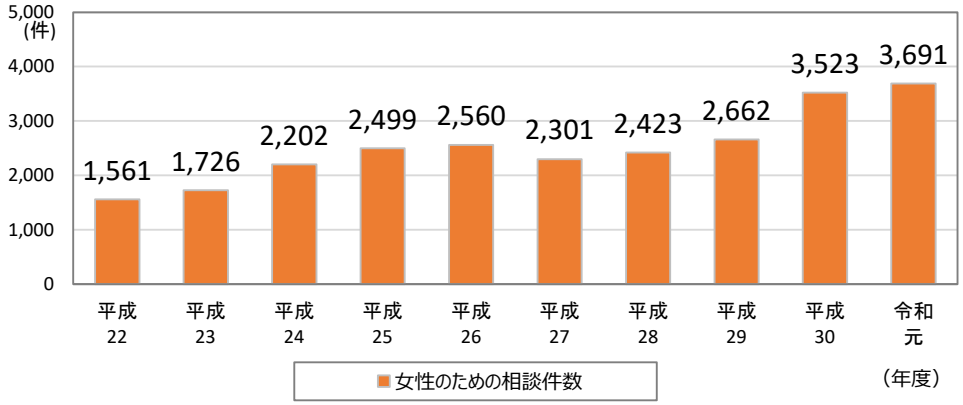
### ■町丁別 市内刑法犯認知件数状況（2019年1月～12月）




【出典】警視庁 区市町村の町丁別、罪種別及び手口別認知件数

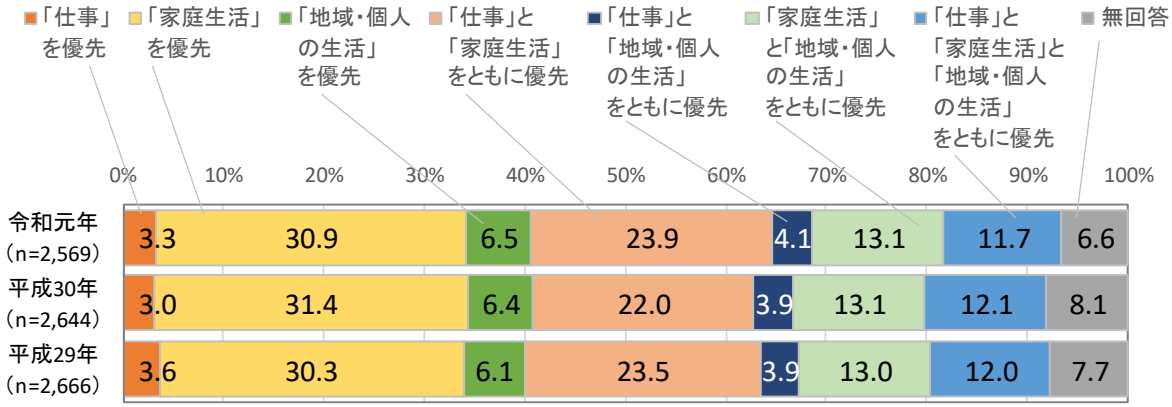
- 令和元年度の「女性のための相談件数」は、平成22年度に比べ2倍以上に増えてきています。
- 「ワークライフバランス」は、市民が望む優先度・実際の優先度ともに、「家庭生活を優先」が最も高く、約3割を占めています。「仕事を優先」は、望む優先度と実際の優先度に大きな開きがあります。この傾向は、直近3か年で大きな変化はありません。

## ■女性のための相談件数の推移



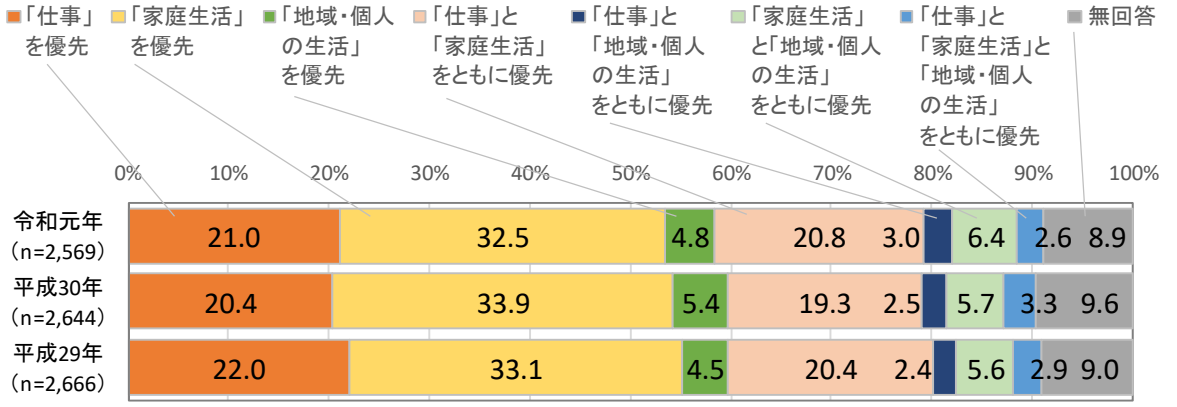

【出典】男女共同参画課資料

## ■ワークライフバランスの現状 ①あなたの望む優先度




【出典】市政世論調査報告書 令和元年（2019年）

## ■ワークライフバランスの現状 ②実際の優先度

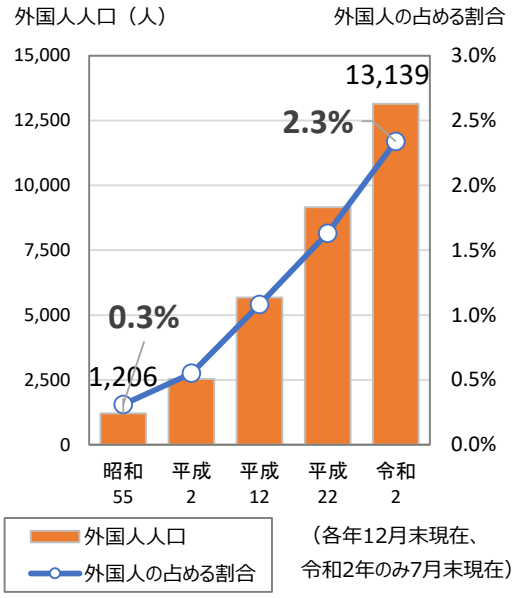



【出典】市政世論調査報告書 令和元年（2019年）

## （1） 地域・暮らし

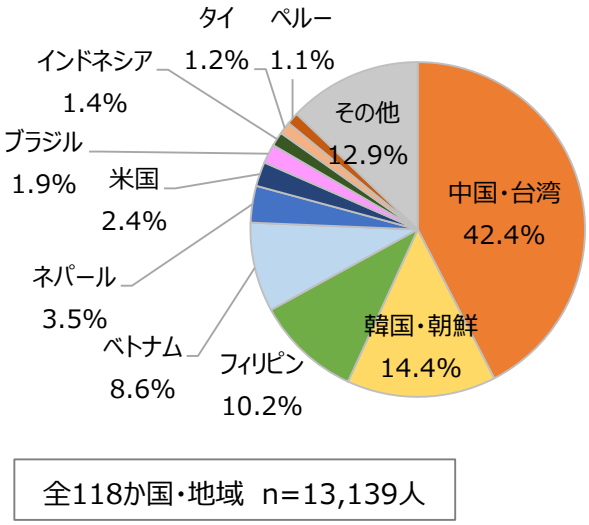
- 「外国人人口」は、昭和55年の約1.2千人から、令和2年には10倍以上の約1.3万人と増加してきており、「総人口に占める外国人の割合」も上昇しています。
- 国籍は、「中国・台湾」や「韓国・朝鮮」の方があわせて半数を超えており、近年では「ベトナム」、「ネパール」の国籍の方が増えています。
- 「留学生数」は、平成30年まで増加傾向にあり、平成22年は約2千人だったものが、平成30年には4千人近くに増えました。

### ■外国人人口と割合の推移



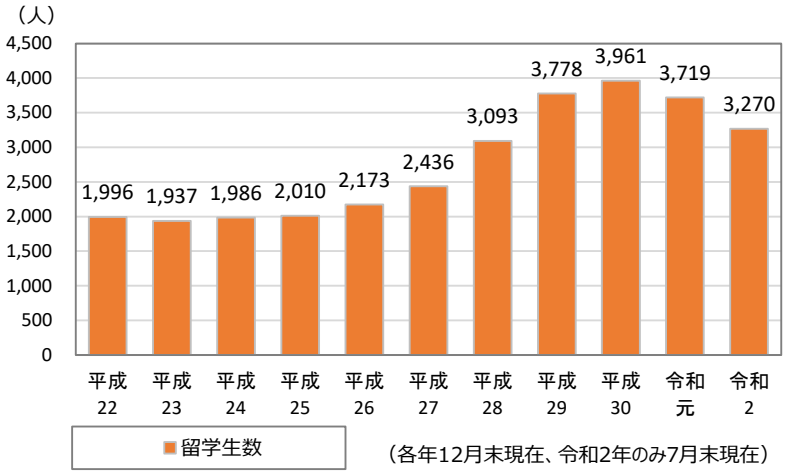

【出典】多文化共生推進課資料

### ■国籍別状況（令和2年７月31日）




【出典】多文化共生推進課資料

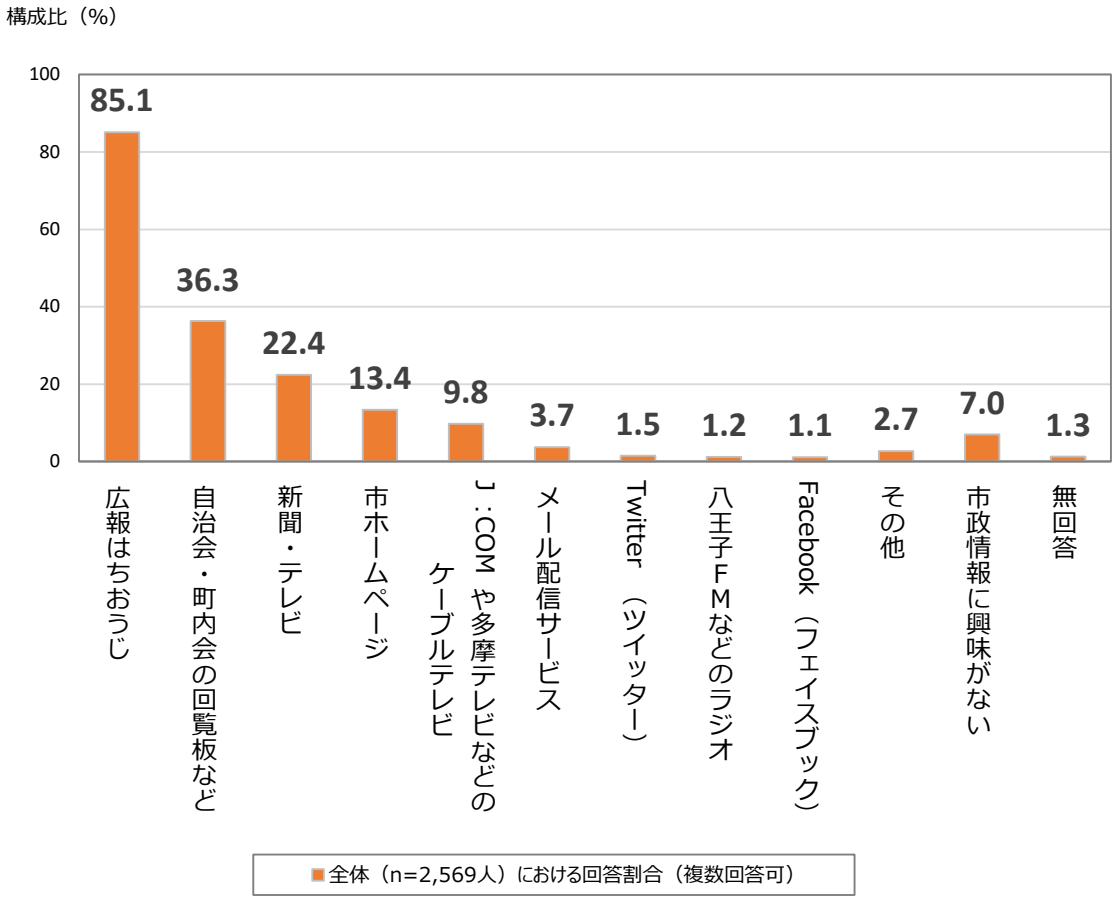
### ■留学生数の推移




【出典】多文化共生推進課資料

- 「市政情報の入手方法」は、「広報はちおうじ」が85.1%と最も多く、続いて「自治会・町内会の回覧板など」が36.3%、「新聞・テレビ」が22.4%、「市ホームページ」が13.4%となっています。

■市政情報の入手方法（令和元年）




【出典】市政世論調査結果報告書 令和元年（2019年）

## （1） 地域・暮らし

- 「電子申請利用状況」は、「図書館の図書貸出予約等」、「文化・スポーツ施設等の利用予約」、「地方税申告手続（eLTAX）」等が多くなっています。

### ■電子申請利用状況（令和元年度）

| 手続き名 | 件数 |
|---|---|
| 第25回都市景観セミナー　申込フォーム | 13 |
| 学校選択制－選択希望票の提出〔小学校〕 | 111 |
| 学校選択制－選択希望票の提出〔中学校〕 | 207 |
| 第3期八王子市食育推進計画策定に係る市民意識調査 | 166 |
| 市民委員等候補者名簿登録制度についてのアンケート | 28 |
| 平成31年度（2019年度）「市長と語る」発言申し込み入力フォーム | 17 |
| 令和元年（2019年）　八王子市市政世論調査 | 340 |
| 令和元年度（2019年度）　市政モニター事業 | 94 |
| 令和元年度（2019年度）　八王子市「市政モニター制度」承諾フォーム | 27 |
| のびのび子育て講座 | 163 |
| 児童手当・特例給付振込口座変更届 | 24 |
| 乳幼児・義務教育就学児医療証再交付 | 1 |
| 平成31年度児童育成手当現況届 | 180 |
| 令和元年度（2019年度）乳幼児・義務教育就学児医療費助成制度現況届 | 49 |
| 児童手当等の受給資格及び児童手当のについての認定請求 | 8 |
| 平成31年度児童手当・特例給付現況届 | 24 |
| 仮設休憩所利用者アンケートのお願い | 7 |
| 市議会だより『ひびき』アンケート | 1 |
| 謎解き×まちあるき「歴史文化財クエスト」参加申し込み | 20 |
| 八王子市ホームページアンケート | 5 |

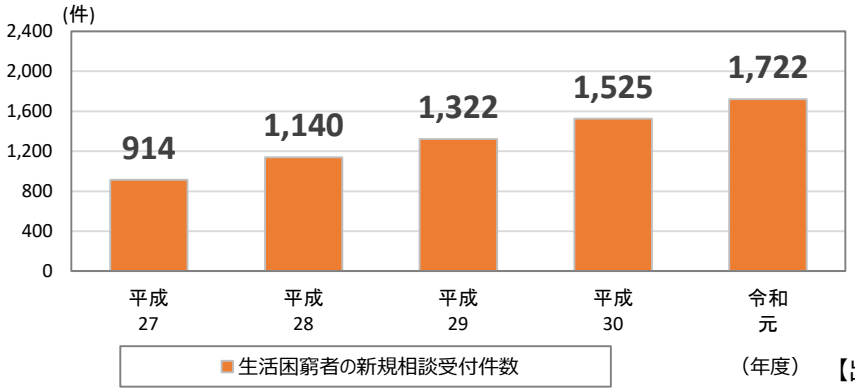
| 手続き名 | 件数 |
|---|---|
| 18歳～39歳の健康診査 | 849 |
| 胃がんエックス線検診のお申し込み | 1,396 |
| 各種健診・がん検診無料受診申請（前年度住民税非課税世帯） | 1,297 |
| 肝炎ウイルス検診のお申し込み | 186 |
| 歯と口腔・歯周病検診のお申し込み | 140 |
| 平成31年度（2019年度）　子宮頸がん検診受診状況と健康状態について | 230 |
| 飼い犬の死亡届 | 178 |
| 令和元年度（2019年度）図書館利用満足度調査（アンケート） | 136 |
| 公文書公開請求 | 41 |
| 休日パパママクラス申込み | 161 |
| 出生連絡カード（赤ちゃん訪問依頼票） | 58 |
| ほっとタイムサービス登録書 | 12 |
| 風しん抗体検査・第5期定期予防接種クーポン券申請 | 51 |
| 図書館の図書貸出予約等 | 664,250 |
| 文化・スポーツ施設等の利用予約 | 632,785 |
| 粗大ごみ収集の申込 | 29,762 |
| 地方税申告手続(eLTAX) | 468,196 |
| 入札参加資格審査申請等 | 605 |
| 入札 | 812 |
| 産業廃棄物の処理、運搬の実績報告等 | 114 |

【出典】情報管理課資料

## （2） 福祉

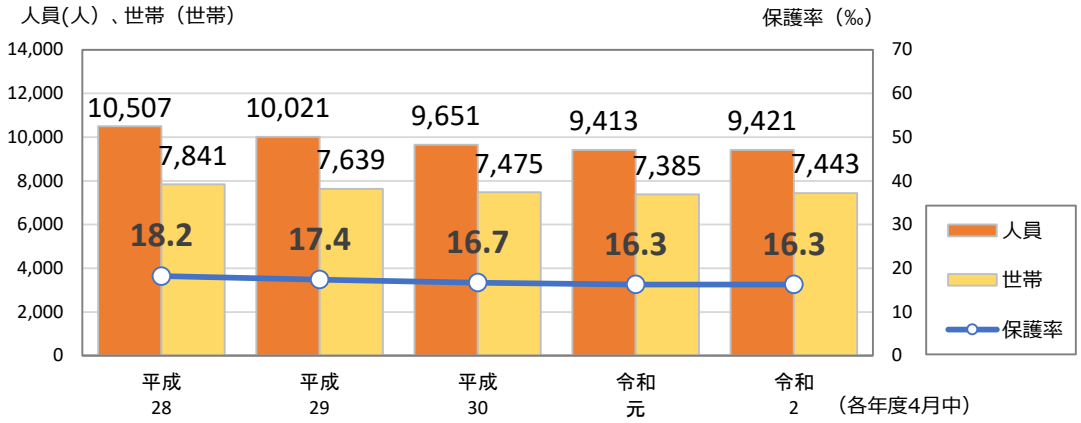
- 「生活困窮者の新規相談受付件数」は、年約200件ずつ増加しています。
- 「生活保護」を受けている人員・世帯ともに減少傾向にありましたが、令和2年度には微増に転じています。
- 令和元年度の「就学援助の認定児童数・生徒数」は、平成12年度に比べ1割以上増加しています。

### ■生活困窮者の新規相談受付件数の推移



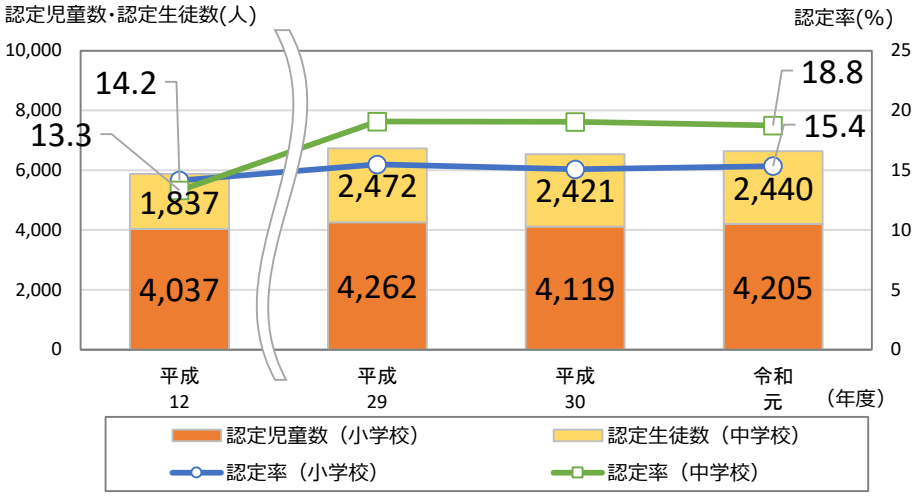

【出典】生活自立支援課資料

### ■生活保護の状況（人員、世帯、保護率）




※保護停止中も含む　※ ‰ ＝パーミル・千人中当たり【出典】東京都福祉保健局　月報（福祉・衛生行政統計）

### ■就学援助の認定状況




※認定児童・生徒数は要保護及び準要保護の計　※認定率＝認定児童・生徒数／全児童・生徒数

【出典】はちおうじの教育統計、教育支援課資料

**就学援助とは**

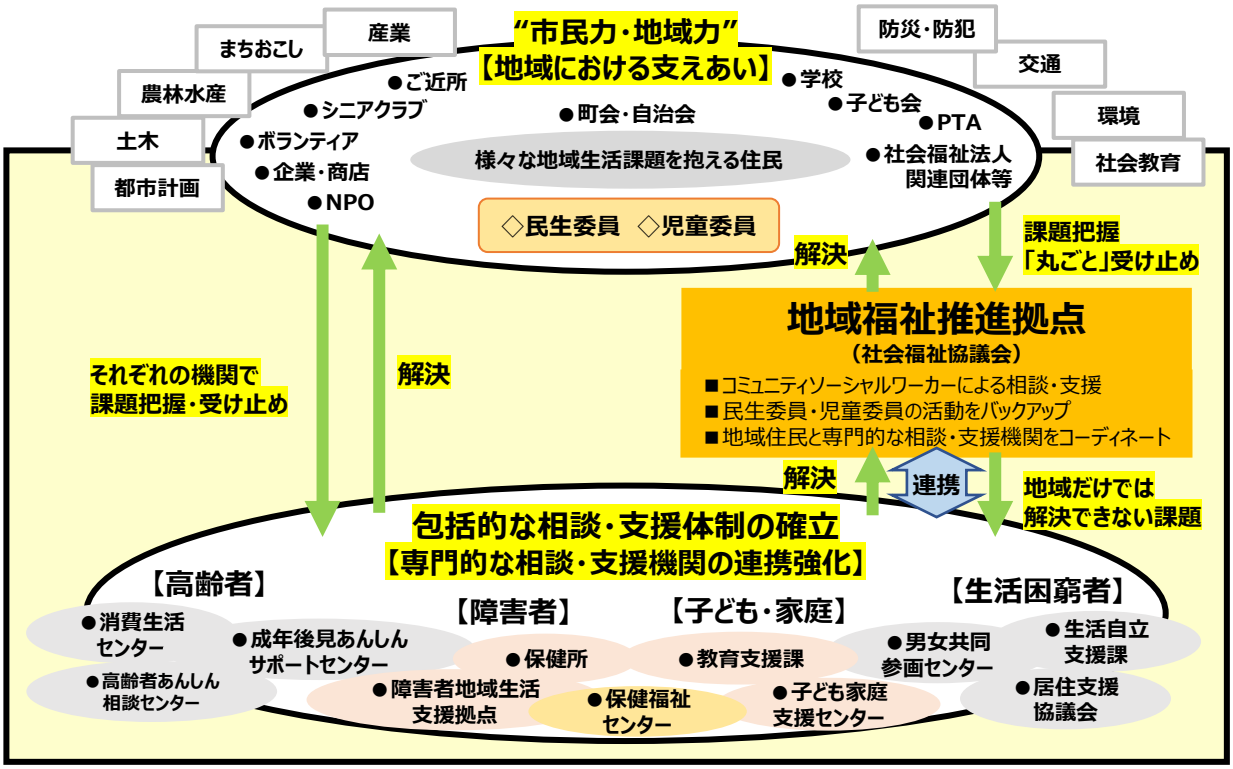
経済的理由により就学困難と認められる児童・生徒の保護者に対し、学用品費、通学費、修学旅行費、給食費等の援助を行う制度。

要保護：生活保護を受けている方
準要保護：世帯の所得が教育委員会で定める基準額以下の方など

## （2） 福祉

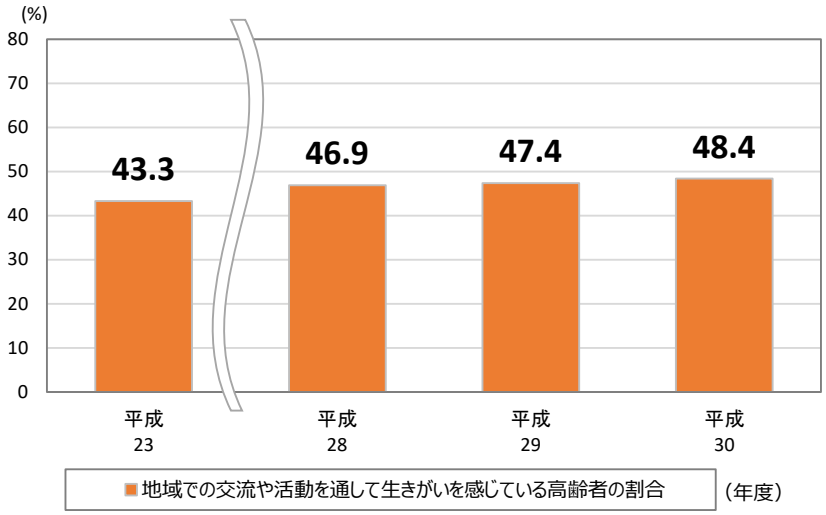
- 本市では、多様化する福祉課題に対して「包括的な相談・支援体制」を推進しています。
- 「地域での交流や活動を通して生きがいを感じている高齢者の割合」は、増加傾向にあります。

■本市における「包括的な相談・支援体制」のイメージ（地域福祉計画）




【出典】福祉政策課資料

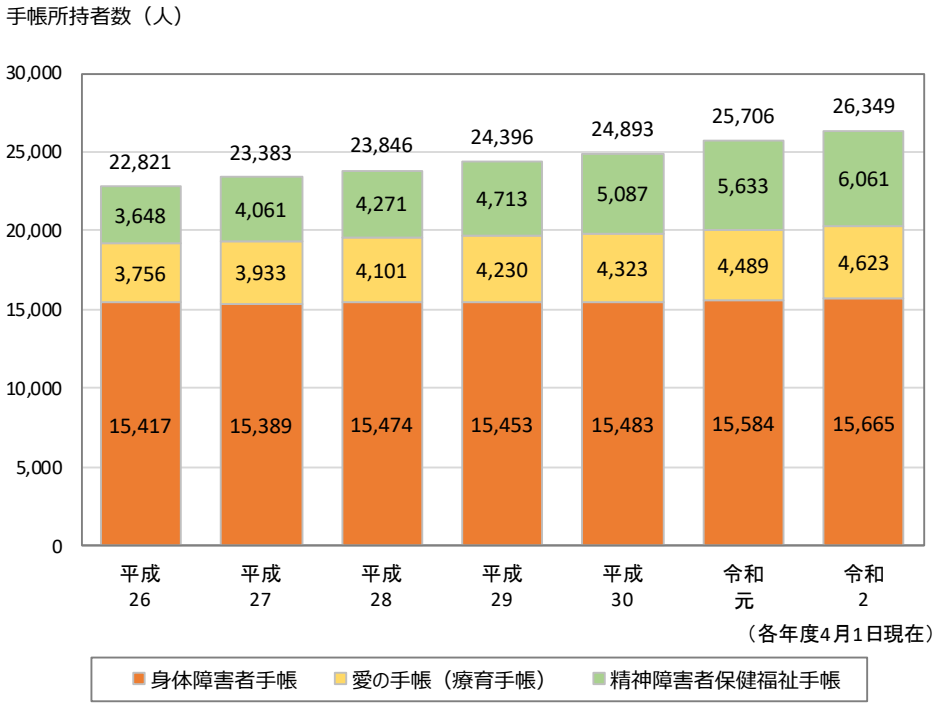
■地域での交流や活動を通して生きがいを感じている高齢者の割合（推移）




【出典】八王子ビジョン2022アクションプラン

● 「障害者手帳所持者数」は増加傾向にあります。

## ■障害種別ごとの障害者数（手帳所持者数）の推移




※本市は平成27年（2015年）４月に中核市へ移行し、身体障害者手帳の交付に関する事務権限が移譲されました。

【出典】健康福祉の概要（統計版）

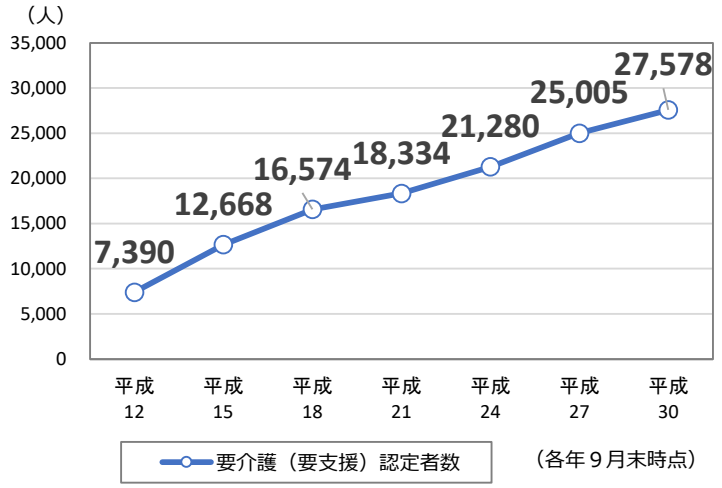
**（参考）中核市の権限を活用した市の主な独自基準**

・虐待防止研修等の義務付け
・成年後見制度の活用支援
・障害者雇用の促進
・障害者就労施設等からの優先調達の促進

## （2） 福祉

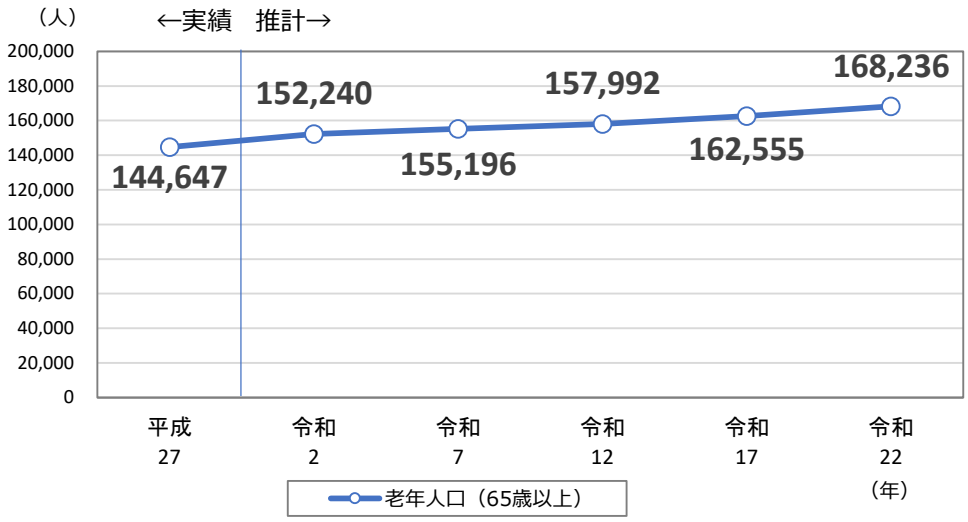
- 平成30年の介護を必要とする人（要介護・要支援）の人数は、介護保険制度が導入された平成12年から約2万人増えています。
- 「老年人口」は、今後も増加していくと推計しています。

### ■要介護（要支援）認定者数の推移




【出典】介護保険課資料

### ■老年人口（65歳以上）の長期的な見通し




【出典】八王子市まち・ひと・しごと創生総合戦略（2020改定版）

- 地域活動を支える人材や団体の数は、多くの項目において増加しています。
- 令和2年度の「ボランティアセンターへの登録数」は、平成11年に比べ「個人」は減少しているものの、「団体」は2.5倍に増加しています。

■地域資源の状況

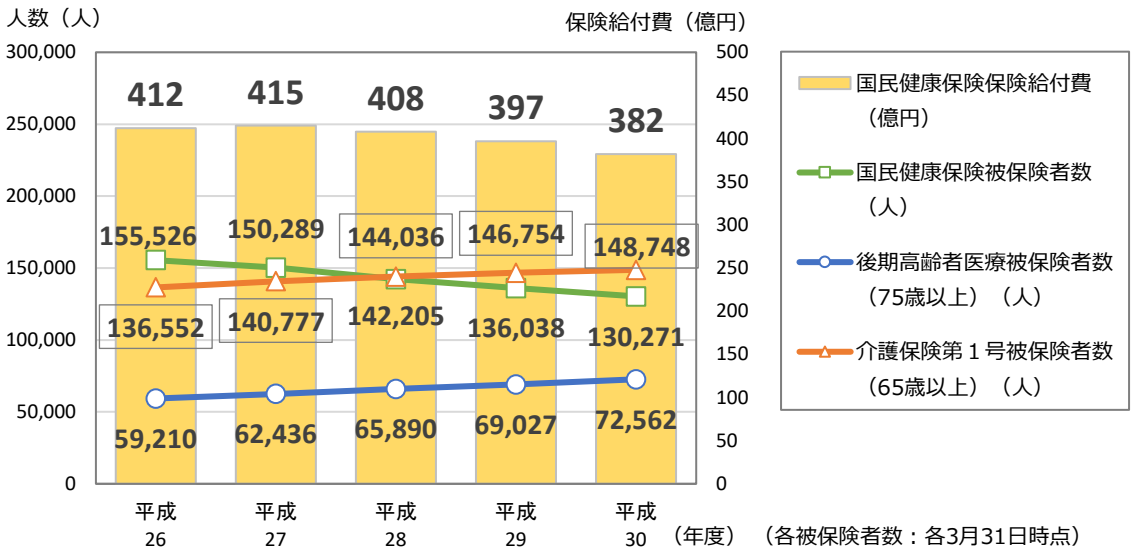
| 地域資源の状況 | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 民生委員・児童委員 | | 336 人<br>（平成11年4月1日現在） | → | 448 人<br>（平成31年4月1日現在） |
| 町会・自治会 | 団体 | 507 団体<br>（平成11年7月1日現在） | → | 576 団体<br>（令和元年6月1日現在） |
| | 加入世帯 | 142,784 世帯<br>（平成11年7月1日現在） | → | 151,818 世帯<br>（令和元年6月1日現在） |
| NPO法人 | | 15 団体<br>（平成12年3月31日現在） | → | 276 団体<br>（令和2年3月6日現在） |
| 高齢者ボランティア・ポイント制度登録者 | | 494 人<br>（平成21年3月31日現在） | → | 2,842 人<br>（令和2年3月31日現在） |
| 高齢者サロン | | 52 か所<br>（平成21年3月31日現在） | → | 185 か所<br>（令和2年3月31日現在） |
| シニアクラブ会員 | | 21,021 人<br>（平成12年3月31日現在） | → | 13,561 人<br>（令和2年3月31日現在） |
| ボランティアセンターへのボランティア登録 | 団体 | 124 団体<br>（平成11年4月1日現在） | → | 307 団体<br>（令和2年3月31日現在） |
| | 個人 | 920 人<br>（平成11年4月1日現在） | → | 437 人<br>（令和2年3月31日現在） |

【出典】福祉政策課資料、協働推進課資料、高齢者いきいき課資料、八王子市社会福祉協議会資料

## （3） 健康・医療

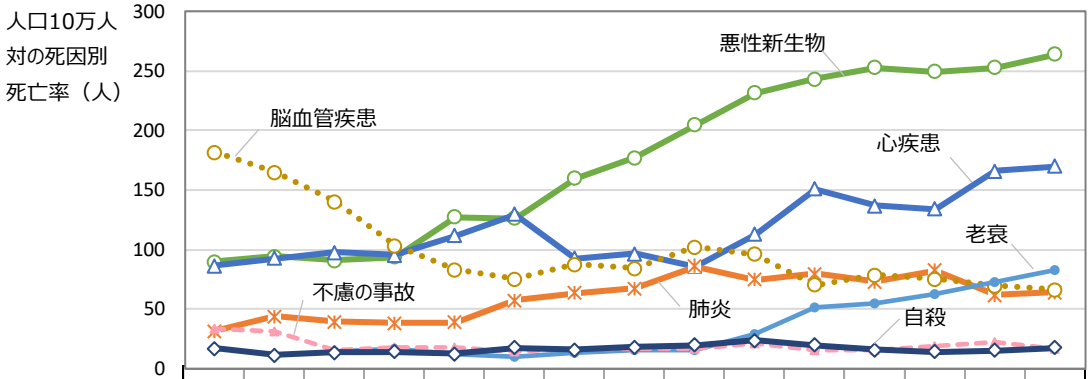
- 「国民健康保険の被保険者数」は減少傾向にあり、それに伴い、「国民健康保険の保険給付費」も減少しています。一方で、「後期高齢者医療の被保険者数」と「介護保険第1号被保険者数」は増加しています。
- 「主要な死因」は、「脳血管疾患」によるものは減少傾向にありますが、「悪性新生物」や「心疾患」による死亡率が高く、増加傾向にあります。

### ■各被保険者数と国民健康保険保険給付費の推移




【出典】八王子市財政白書、主要な施策の成果・事務報告書

### ■主要死因の年次推移

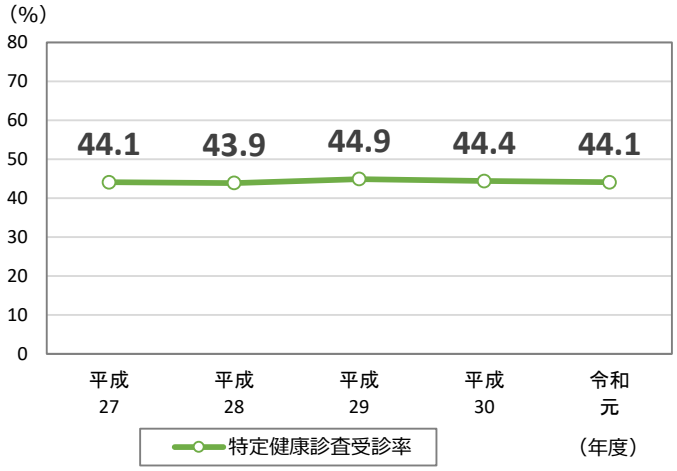



| | 昭和40 | 昭和45 | 昭和50 | 昭和55 | 昭和60 | 平成2 | 平成7 | 平成12 | 平成17 | 平成22 | 平成26 | 平成27 | 平成28 | 平成29 | 平成30 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 悪性新生物 | 89.5 | 94.3 | 90.5 | 93.8 | 127.5 | 126.3 | 159.7 | 177.0 | 204.6 | 231.8 | 243.7 | 252.9 | 249.5 | 253.3 | 264.4 |
| 心疾患 | 86.2 | 92.3 | 97.3 | 95.3 | 111.8 | 129.3 | 92.4 | 96.6 | 85.9 | 112.8 | 151.1 | 136.7 | 133.9 | 166.0 | 169.8 |
| 肺炎 | 31.3 | 43.8 | 38.8 | 38.0 | 38.4 | 56.8 | 63.4 | 67.3 | 85.5 | 74.3 | 79.3 | 72.9 | 82.2 | 61.4 | 63.7 |
| 脳血管疾患 | 181.5 | 164.9 | 140.1 | 103.1 | 82.7 | 75.3 | 87.6 | 83.8 | 102.0 | 95.6 | 70.2 | 78.2 | 75.3 | 69.5 | 66.3 |
| 老衰 | - | - | 13.6 | 16.3 | 12.4 | 10.1 | 13.3 | 14.7 | 15.6 | 28.3 | 50.7 | 54.8 | 62.8 | 72.8 | 82.5 |
| 不慮の事故 | 33.2 | 30.8 | 15.2 | 17.3 | 17.1 | 14.6 | 15.8 | 16.8 | 16.3 | 20.5 | 15.2 | 14.9 | 19.0 | 22.1 | 16.6 |
| 自殺 | 16.4 | 11.0 | 13.3 | 13.7 | 12.2 | 16.9 | 15.3 | 17.5 | 19.6 | 23.3 | 19.5 | 15.6 | 14.0 | 14.7 | 17.3 |

【出典】八王子市保健所年報統計編　令和元年度（2019年度）

- 「特定健康診査受診率」は、ほぼ横ばいで推移しています。
- 平成30年度の「かかりつけ医を決めている市民の割合」は、平成14年度に比べ25.2ポイント上昇し、80%を超えています。

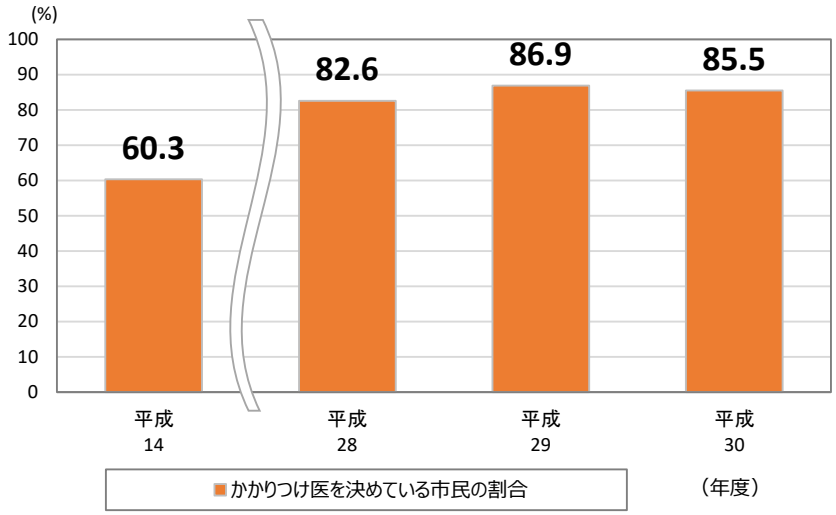
■特定健康診査受診率の推移




**特定健康診査**
生活習慣病の予防のため、メタボリックシンドロームに着目した健康診査。医療保険者に平成20年4月からの実施が義務付けられました。

【出典】成人健診課資料

■かかりつけ医を決めている市民の割合（推移）

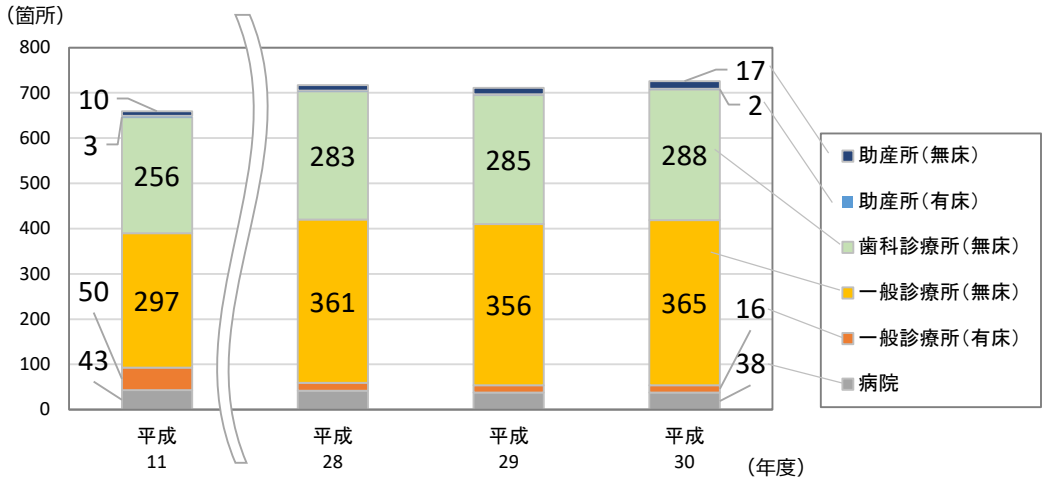



【出典】八王子ゆめおりプラン実行編、八王子ビジョン2022アクションプラン

## （3） 健康・医療

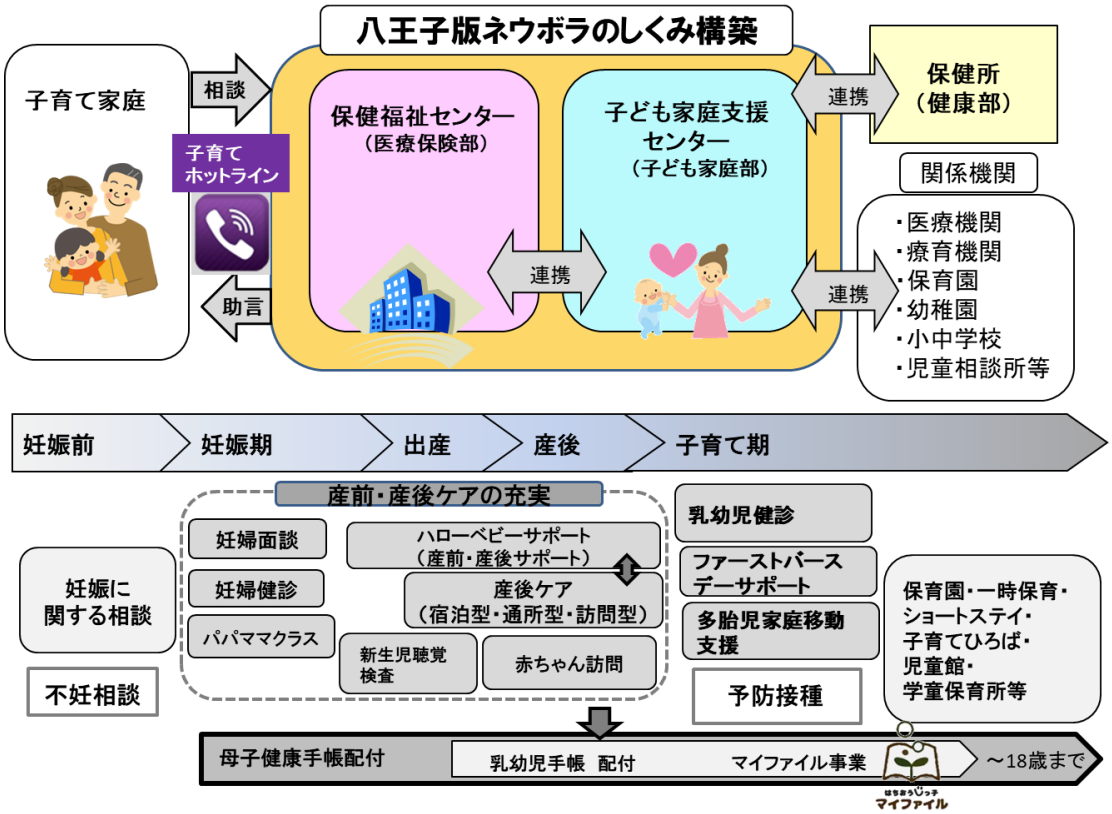
- 平成30年度の「一般診療所（有床）」や「病院施設数」は、平成11年度に比べ減少していますが、「一般診療所（無床）」や「歯科診療所（無床）」、「助産所（無床）」は増加しています。
- 妊娠前から子育て期にわたって切れ目なく包括的な支援を行う「八王子版ネウボラ」に取り組んでいます。

### ■病院等施設数の推移




【出典】八王子市保健所年報、東京都八王子保健所 事業概要

### ■八王子版ネウボラのしくみ




「マイファイル」とは、子どもの成長や発達に関する情報を一つにまとめるためのファイル。子どもの誕生から自立に向け継続的な支援を行うため、情報共有をスムーズにサポートする取組です。

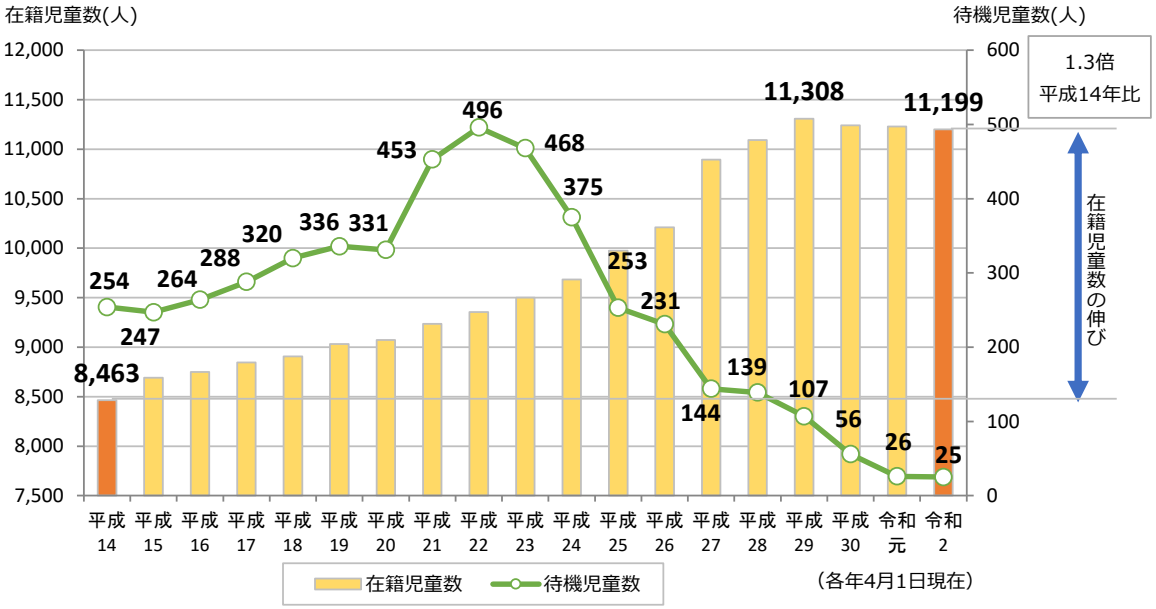
【出典】保健福祉センター資料

## （4） 子ども

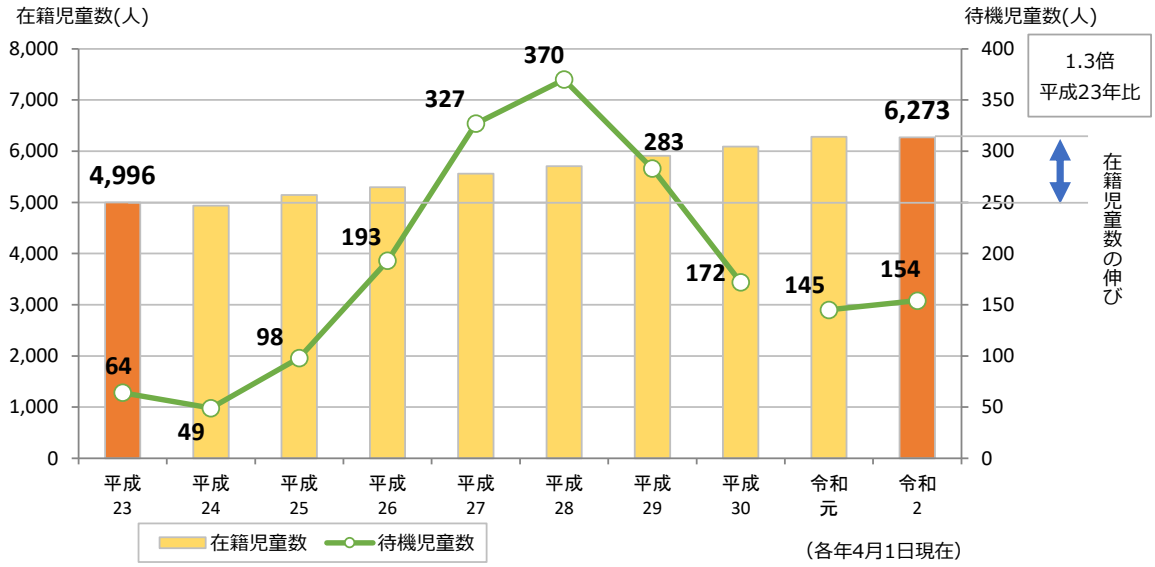
- 令和2年の保育所等の「在籍児童数」は、平成14年に比べ1.3倍に増加しています。「待機児童数」は、平成22年をピークに減少しています。
- 令和2年の学童保育所の「在籍児童数」は、平成23年に比べ1.3倍に増加しています。「待機児童数」は、平成28年をピークに減少しています。新定義に変更した令和元年度からは微増となっています。

### ■保育所等・学童保育所の在籍児童数と待機児童数の推移

#### ●保育所等




#### ●学童保育所




※待機児童数については、令和元年（2019年）から国が示した新定義に変更

【出典】子どものしあわせ課資料、児童青少年課資料

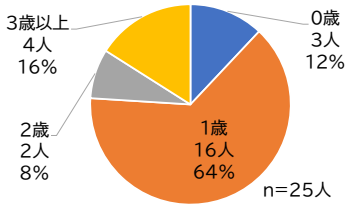
## （4） 子ども

- 保育所等の「待機児童」の地域分布は、由井、浅川、横山地区で多くなっています。
- 学童保育所の「待機児童」の地域分布は、南大沢、浅川、由井、由木東地区で多くなっています。

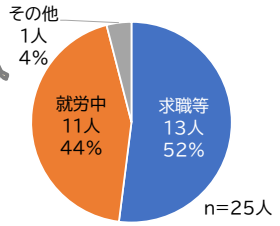
### ■保育所等・学童保育所の待機児童の分布状況

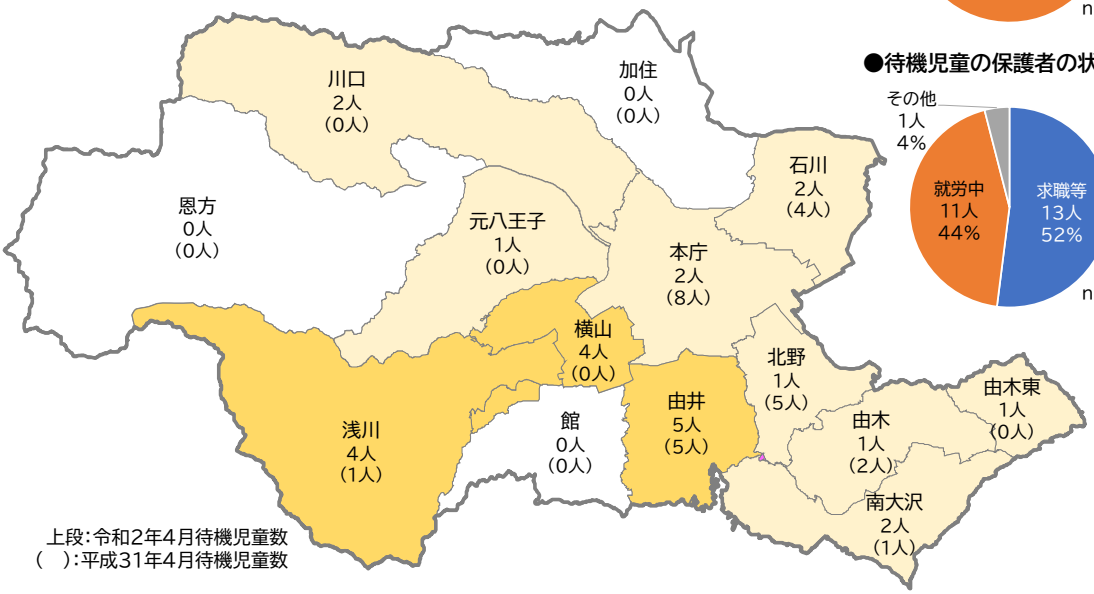
#### ●保育所等

●待機児童の年齢



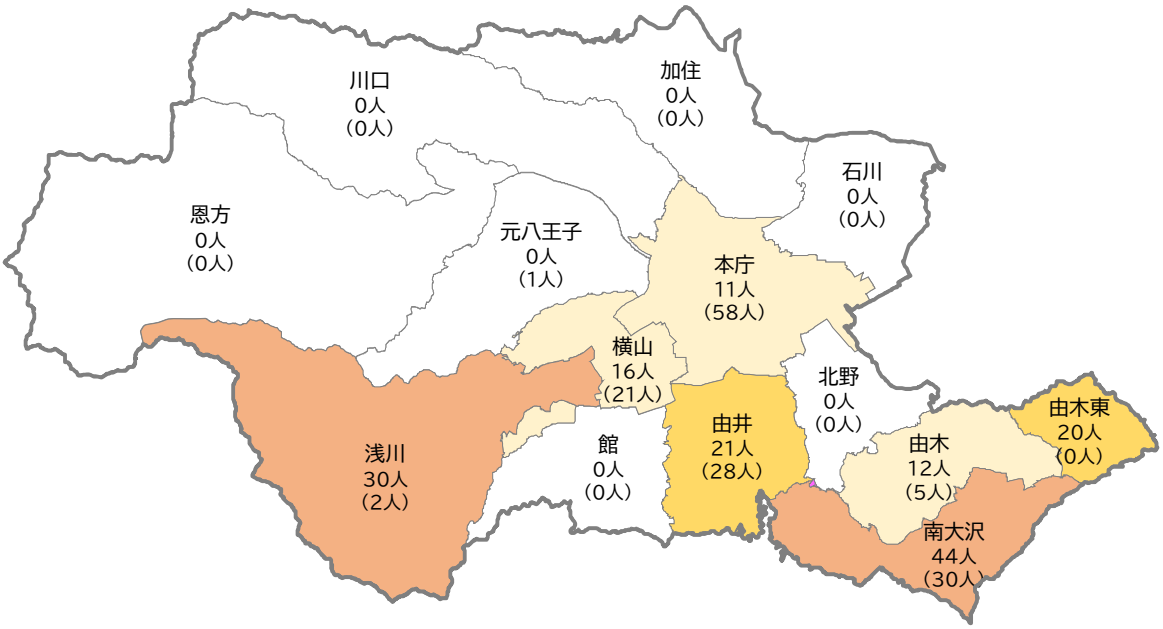

●待機児童の保護者の状況




上段：令和2年4月待機児童数
（　）：平成31年4月待機児童数

#### ●学童保育所



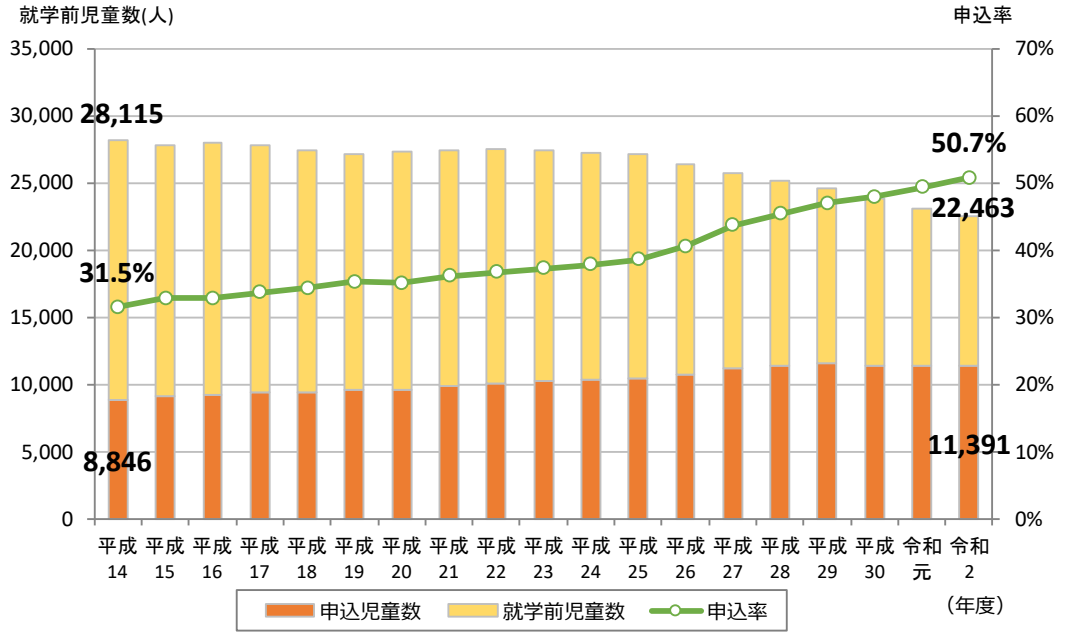

上段：令和2年4月待機児童数
（　）：令和元年5月待機児童数

【出典】子どものしあわせ課資料、児童青少年課資料

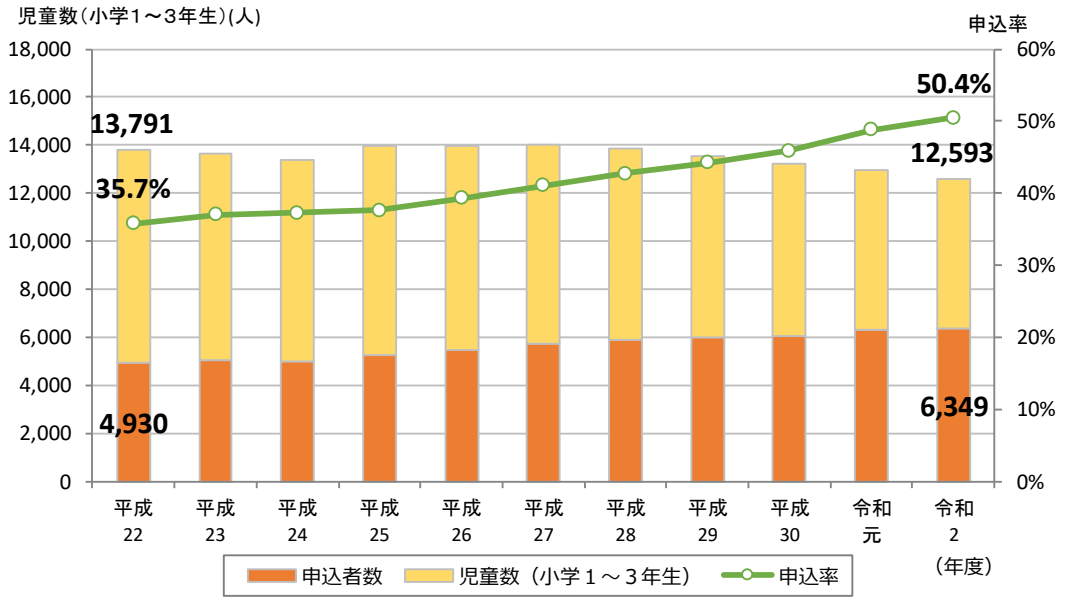
- 「就学前児童数」や「児童数（小学1～3年生）」は、減少傾向にあります。
- 「保育所等や学童保育所の申込率」は、年々上昇しており、令和2年度にはともに50％を超えています。

## ■就学前児童数及び保育所等申込率の推移

### ●保育所等




### ●学童保育所



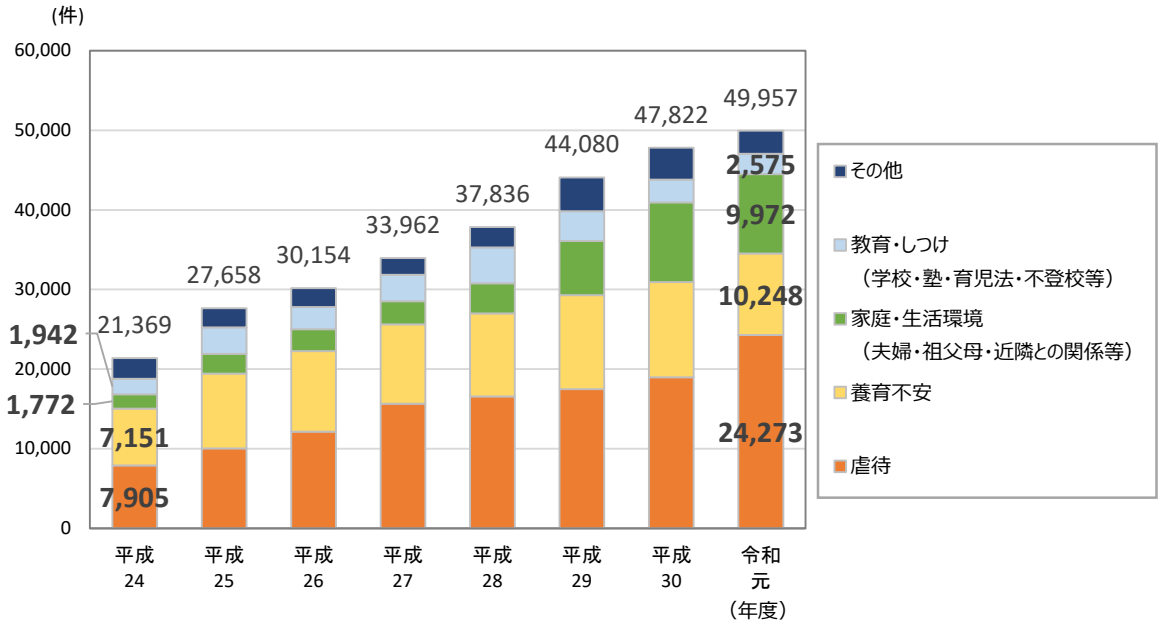

※小学1～3年生の児童数、申込者数、申込率のみ掲載

【出典】子どものしあわせ課資料、児童青少年課資料

## （4） 子ども

- 「子どもと家庭に関する総合相談件数」は、年々増加しています。
- 令和元年度の「相談内容」では、「虐待」の相談が最も多くなっています。続いて、「養育不安」、「家庭・生活環境」の相談が多く、この3項目で全相談の90%近くに達します。平成24年度比では「家庭・生活環境」の相談が5.6倍、「虐待」の相談が3.1倍になっています。

■子ども家庭支援センターにおける子どもと家庭に関する総合相談件数の推移




【出典】健康福祉の概要（統計版）

**（参考）中核市移行により移譲された主な権限及び権限を活用した取組**

・保育サービス事業者設置認可権限の移譲

・児童福祉施設保育士の配置基準

　保育士：３歳児15人につき１人以上（都：20人につき１人以上）など

・乳児室の面積基準

　3.3㎡以上（国：1.65㎡以上）

・施設内で調理した食事の提供

- ほぼ全ての小学校で「放課後子ども教室」を実施しており、週5日実施が34か所に増加しています。
- 「子ども家庭支援ネットワーク中学校区分科会の開催校数」は、年々増加しており、令和元年度には全ての中学校区で実施しています。

## ■放課後子ども教室実施状況等一覧

| 実施日数 | 長期休業 | 週5日 | 週4-3日 | 週2-1日 | 実施なし |
|---|---|---|---|---|---|
| 第一小 | | | | ○ | |
| 第二小 | | | ○ | | |
| 第三小 | ○ | ○ | | | |
| 第四小 | | | ○ | | |
| 第五小 | ○ | ○ | | | |
| 第七小 | | | ○ | | |
| 第八小 | | | | ○ | |
| 第九小 | ○ | ○ | | | |
| 第十小 | | | ○ | | |
| 中野北小 | | | | ○ | |
| 清水小 | | | ○ | | |
| 大和田小 | | ○ | | | |
| 小宮小 | | | | ○ | |
| 高倉小 | | ○ | | | |
| 宇津木台小 | ○ | ○ | | | |
| 横山第一小 | | ○ | | | |
| 横山第二小 | | | ○ | | |
| 散田小 | ○ | ○ | | | |
| 長房小 | | ○ | | | |
| 船田小 | | | | ○ | |
| 館小中 | | | | | ○ |
| 山田小 | | ○ | | | |
| 椚田小 | | | | ○ | |
| 緑が丘小 | | ○ | | | |
| 元八王子小 | | ○ | | | |
| 元八王子東小 | | ○ | | | |
| 上壱分方小 | ○ | ○ | | | |
| 城山小 | | ○ | | | |

| 実施日数 | 長期休業 | 週5日 | 週4-3日 | 週2-1日 | 実施なし |
|---|---|---|---|---|---|
| 弐分方小 | | ○ | | | |
| 横川小 | ○ | ○ | | | |
| 恩方第一小 | | ○ | | | |
| 恩方第二小 | | | ○ | | |
| 元木小 | | | | ○ | |
| 川口小 | | ○ | | | |
| 陶鎔小 | | ○ | | | |
| 上川口小 | | | | | ○ |
| 美山小 | | | | ○ | |
| 檜原小 | ○ | ○ | | | |
| 松枝小 | ○ | ○ | | | |
| 加住小 | | | | ○ | |
| 由井第一小 | | | ○ | | |
| 由井第二小 | | ○ | | | |
| 由井第三小 | | ○ | | | |
| 長沼小 | | | | ○ | |
| 片倉台小 | | | | ○ | |
| 高嶺小 | | | ○ | | |
| みなみ野小 | | | | ○ | |
| みなみ野君田小 | | | | ○ | |
| 七国小 | | | | ○ | |
| 浅川小 | | ○ | | | |
| 東浅川小 | | ○ | | | |
| 由木中央小 | | | | | ○ |
| 由木東小 | | | | ○ | |
| 由木西小 | | | | ○ | |
| 鹿島小 | | ○ | | | |
| 松が谷小 | | ○ | | | |

| 実施日数 | 長期休業 | 週5日 | 週4-3日 | 週2-1日 | 実施なし |
|---|---|---|---|---|---|
| 中山小 | | ○ | | | |
| 柏木小 | | | | ○ | |
| 南大沢小 | | | ○ | | |
| 宮上小 | | | | ○ | |
| 秋葉台小 | | ○ | | | |
| 別所小 | | | | ○ | |
| 愛宕小 | | ○ | | | |
| 松木小 | ○ | ○ | | | |
| 下柚木小 | | | | ○ | |
| 上柚木小 | | ○ | | | |
| 長池小 | ○ | ○ | | | |
| 鑓水小 | | | ○ | | |
| いずみの森義務教育（前期課程） | | | | ○ | |
| 校数 | 11 | 34 | 11 | 21 | 3 |

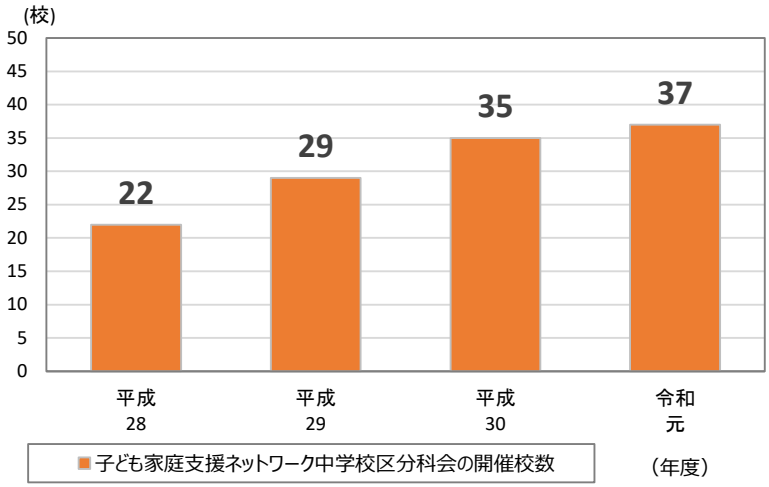
※令和2年4月1日時点

**放課後子ども教室**

学校施設などを活用し、希望する全ての小学生を対象に、放課後の安全・安心な居場所や多様な体験活動の場を提供する事業。

【出典】生涯学習政策課資料

## ■子ども家庭支援ネットワーク中学校区分科会の開催校数（推移）




**子ども家庭支援ネットワーク（要保護児童対策地域協議会）**

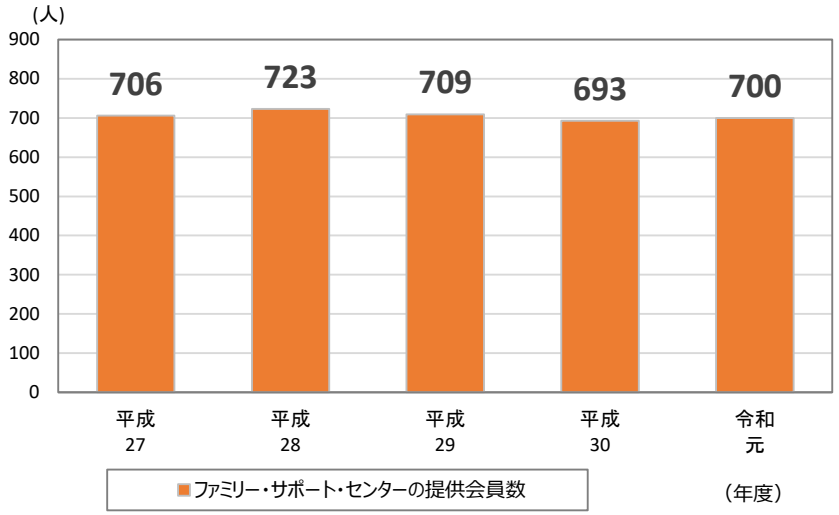
児童福祉法に基づき市が設置する組織。虐待を受けている子どもを始めとする支援対象児童等に関する円滑な情報共有と個人情報の保護を図り、各関係機関が連携して適切な支援を行うネットワークのこと。

【出典】子ども家庭支援センター資料

## （4） 子ども

- 地域で子育てを支えるしくみである「ファミリー・サポート・センター」の提供会員数は、横ばいで推移しています。
- 平成30年度の「子どもたちが地域の人に見守られながら成長していると感じている市民の割合」は、平成22年度に比べ19.4ポイント上昇しており、50%を超えました。

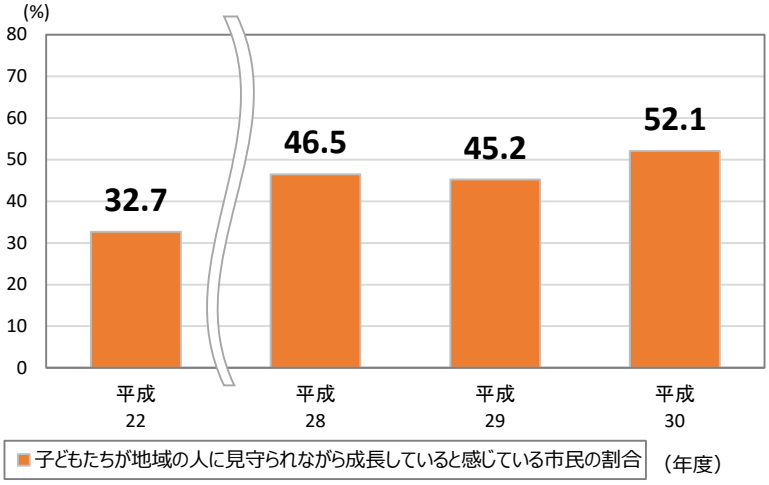
### ■ファミリー・サポート・センターの提供会員数（推移）




**ファミリー・サポート・センター**
子育ての手助けをして欲しい方（依頼会員）とお手伝いができる方（提供会員）が会員登録をして、地域で相互援助活動を行う、子育て支援事業。

【出典】健康福祉の概要（統計版）

### ■子どもたちが地域の人に見守られながら成長していると感じている市民の割合（推移）

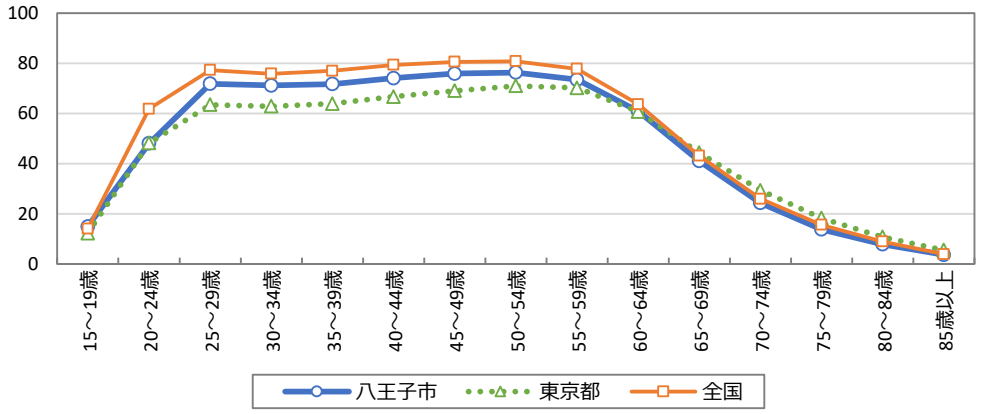



【出典】八王子ビジョン2022アクションプラン

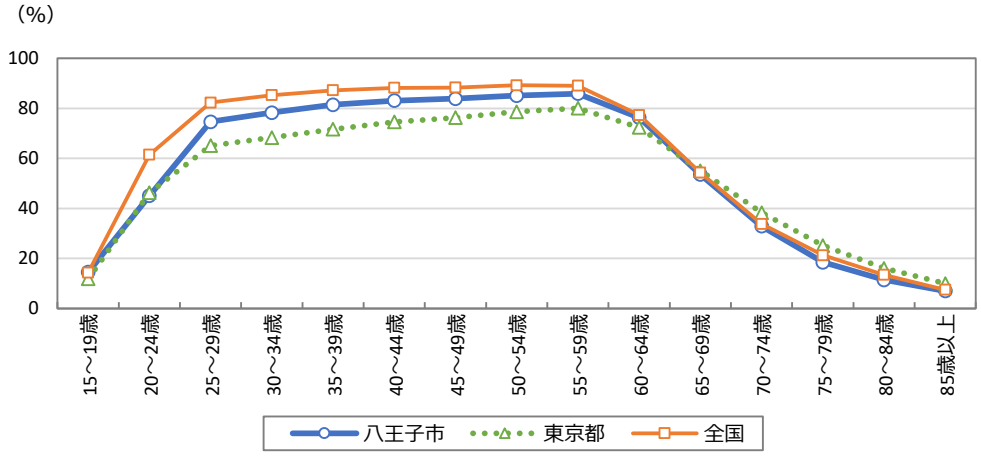
- 「年齢別就業者比率」は、「25～59歳」において、男女合計、男性、女性とも、全国平均を下回っているものの、東京都平均は上回っています。
- 女性に注目すると、八王子市、東京都、全国のいずれも、「25～29歳」、「45～49歳」または「50～54歳」にピークを持つM字曲線を描いています。このことから、女性は、結婚・出産を機に仕事を離れる傾向があると考えられます。

■年齢別就業者比率（平成27年）

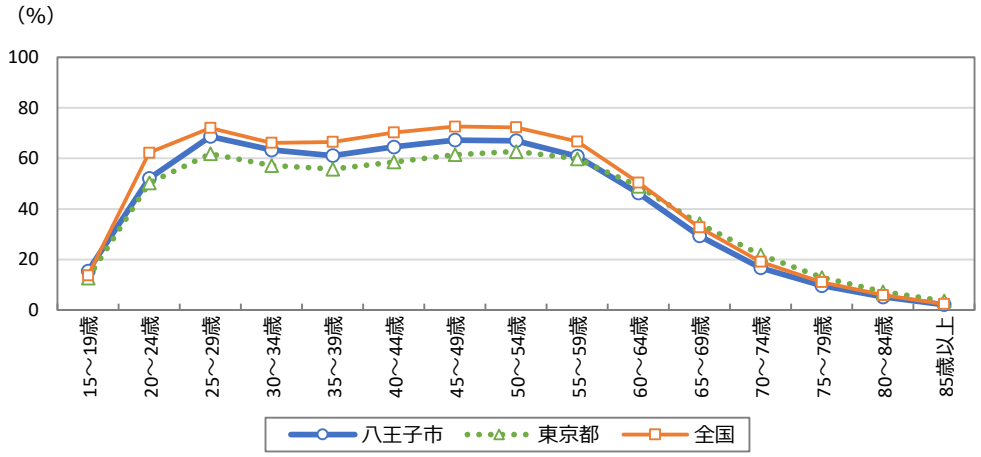
●男女合計




●男性




●女性

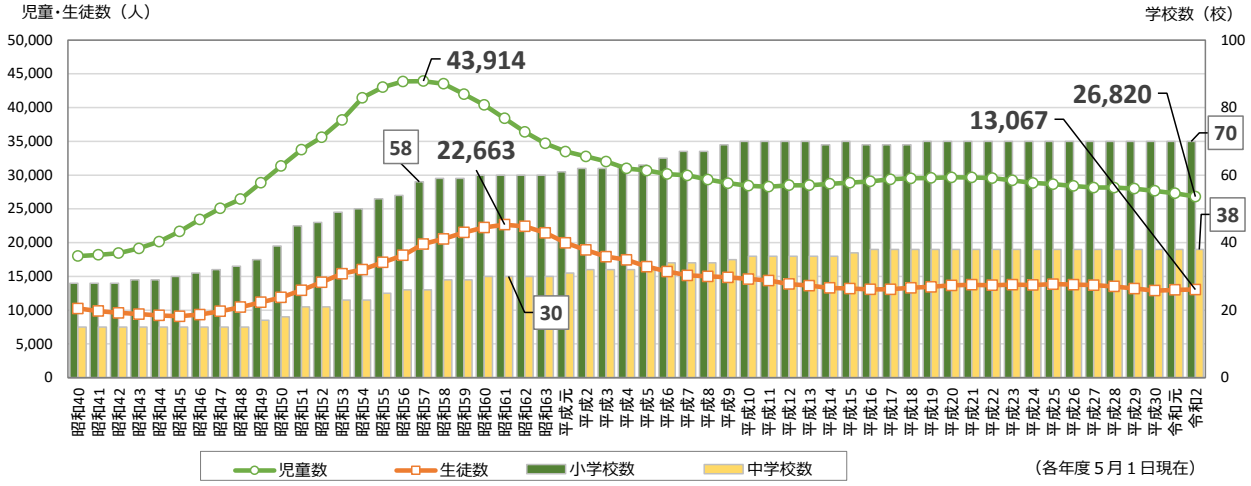



【出典】八王子市まち・ひと・しごと創生総合戦略（2020改定版）

# （5） 教育

- 令和2年度の小学校の児童数は、昭和57年度のピークから約1.7万人減少しています。中学校の生徒数は、昭和61年度のピークから約9.6千人減少しています。
- 「小・中学校の児童・生徒数」は減少傾向にありますが、「特別支援学級（固定）、通級指導学級及び特別支援教室（以下「特別支援学級等」という。）在籍者数」は増加傾向にあり、令和2年度は、平成23年度に比べ2.3倍になっています。

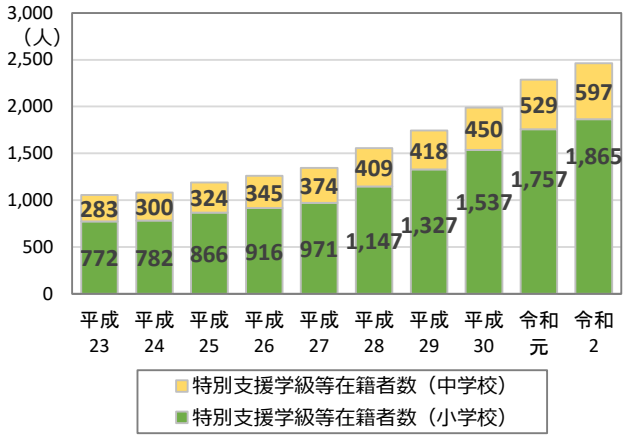
## ■市立小・中学校の児童・生徒数と小・中学校数の推移




※小学校には義務教育学校の前期課程、中学校には義務教育学校の後期課程を含む（以下同様）。

【出典】学校教育政策課資料

## ■特別支援学級等の児童・生徒数の推移




（各年度５月１日現在）

### 特別支援学級（知的障害固定学級）

知的障害学級は、地域の小・中学校に併設されている特別支援学級で、知的な発達に遅れがあり、人との意思疎通に軽度の困難があって、日常生活で一部の援助が必要な程度（食事、衣服の着脱、排泄などに支障がない）の児童・生徒が対象です。
固定学級というのは、特別支援学級に在籍して継続的に指導・支援を受ける学級で、八王子市では知的障害がその対象となっています。

### 通級指導学級（難聴・言語障害学級）

八王子市の難聴学級、言語障害学級は、「きこえの教室」「ことばの教室」と言います。通常学級に在籍して週1 回程度の通級により個別の課題に対して指導を受けます。

### 特別支援教室

通常級に在籍する、発達障害や情緒障害で一部特別な支援を必要とする児童・生徒が週1 回程度、一人ひとりの特性に応じた指導を受けるために全市立小・中学校に設置されている教室。児童・生徒が通級指導学級設置校に通級しなければならなかった「情緒障害等通級指導学級」から、本市では平成28年度（2016 年度）に小学校、令和元年度（2019 年度）に中学校が、在籍校で指導が受けられる「特別支援教室」に移行しました。

【出典】はちおうじの教育統計

● 「児童数」は七国小学校、「生徒数」は石川中学校が最多となっています。

## ■各市立小・中学校及び特別支援学級（固定）の児童・生徒数

| 小学校名 | 児童数 | うち特別支援学級児童数（固定） |
|---|---|---|
| 第一小 | 459 | (12) |
| 第二小 | 309 | (14) |
| 第三小 | 650 | |
| 第四小 | 467 | |
| 第五小 | 546 | (28) |
| 第七小 | 624 | (19) |
| 第八小 | 236 | |
| 第九小 | 353 | |
| 第十小 | 706 | |
| 中野北小 | 155 | (21) |
| 清水小 | 453 | |
| 大和田小 | 429 | |
| 小宮小 | 574 | |
| 高倉小 | 341 | (29) |
| 宇津木台小 | 553 | (26) |
| 横山第一小 | 557 | (13) |
| 横山第二小 | 273 | |
| 散田小 | 573 | (25) |
| 長房小 | 140 | (31) |
| 船田小 | 364 | |
| 館小中 | 72 | |
| 山田小 | 499 | |
| 椚田小 | 505 | |
| 緑が丘小 | 331 | |
| 元八王子小 | 431 | (13) |
| 元八王子東小 | 286 | |
| 上壱分方小 | 433 | |
| 城山小 | 433 | |
| 弐分方小 | 361 | |
| 横川小 | 350 | (14) |
| 恩方第一小 | 242 | |
| 恩方第二小 | 48 | |
| 元木小 | 327 | |
| 川口小 | 295 | (13) |
| 陶鎔小 | 480 | (26) |
| 上川口小 | 51 | |
| 美山小 | 48 | |
| 楢原小 | 348 | |
| 松枝小 | 329 | |
| 加住小 | 211 | |
| 由井第一小 | 500 | |
| 由井第二小 | 241 | |
| 由井第三小 | 331 | (14) |
| 長沼小 | 409 | (23) |
| 片倉台小 | 266 | |
| 高嶺小 | 304 | |
| みなみ野小 | 612 | |
| みなみ野君田小 | 534 | |
| 七国小 | 908 | (33) |
| 浅川小 | 621 | |
| 東浅川小 | 415 | |
| 由木中央小 | 572 | |
| 由木東小 | 771 | |
| 由木西小 | 71 | |
| 鹿島小 | 162 | |
| 松が谷小 | 258 | |
| 中山小 | 107 | |
| 柏木小 | 266 | |
| 南大沢小 | 101 | |
| 宮上小 | 325 | (23) |
| 秋葉台小 | 653 | (34) |
| 別所小 | 342 | (20) |
| 愛宕小 | 311 | (18) |
| 松木小 | 545 | |
| 下柚木小 | 214 | |
| 上柚木小 | 354 | |
| 長池小 | 476 | (12) |
| 鑓水小 | 591 | |
| 高尾山学園小学部 | 7 | |
| いずみの森義務教育（前期課程） | 711 | (20) |
| 児童数合計 | 26,820 | |
| うち特別支援学級児童数（固定）合計 | 481 | |

令和2年（2020年）5月1日現在

■児童数
■うち特別支援学級児童数（固定）
（ ）内は特別支援学級児童数

| 中学校名 | 生徒数 | うち特別支援学級生徒数（固定） |
|---|---|---|
| 第一中 | 468 | (10) |
| 第二中 | 189 | (9) |
| 第四中 | 247 | (28) |
| 第五中 | 507 | |
| うち夜間 | 10 | |
| 第六中 | 334 | |
| 第七中 | 501 | |
| ひよどり山中 | 246 | |
| 甲ノ原中 | 235 | |
| 石川中 | 602 | |
| 横山中 | 494 | |
| 長房中 | 220 | (13) |
| 館中 | 100 | |
| 椚田中 | 567 | (3) |
| 元八王子中 | 341 | (32) |
| 四谷中 | 266 | |
| 横川中 | 204 | |
| 城山中 | 426 | |
| 恩方中 | 243 | |
| 川口中 | 352 | |
| 楢原中 | 468 | (32) |
| 加住中 | 86 | |
| 由井中 | 394 | (4) |
| 打越中 | 441 | (32) |
| みなみ野中 | 555 | |
| 七国中 | 510 | (15) |
| 浅川中 | 388 | |
| 陵南中 | 215 | (17) |
| 由木中 | 531 | (3) |
| 松が谷中 | 365 | (3) |
| 中山中 | 238 | |
| 南大沢中 | 174 | |
| 宮上中 | 382 | (29) |
| 別所中 | 391 | (18) |
| 上柚木中 | 255 | |
| 松木中 | 504 | |
| 鑓水中 | 261 | |
| 高尾山学園中学部 | 58 | |
| いずみの森義務教育（後期課程） | 309 | (32) |
| 生徒数合計 | 13,067 | |
| うち特別支援学級生徒数（固定）合計 | 280 | |

令和2年（2020年）5月1日現在

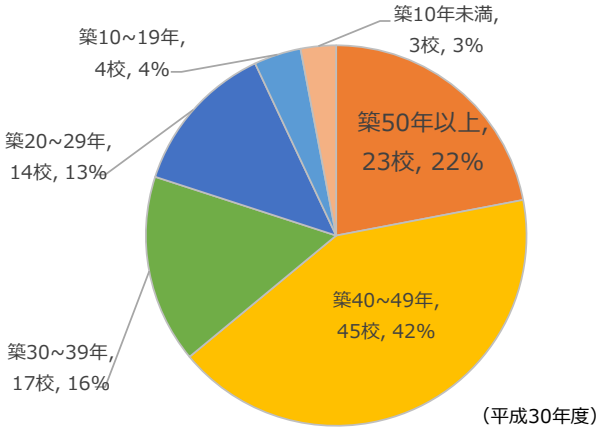
■生徒数
■うち特別支援学級生徒数（固定）
（ ）内は特別支援学級生徒数

【出典】はちおうじの教育統計

## （5） 教育

- 建築年数30年以上の学校施設は、80%に上ります。
- 「学校運営協議会」は、令和元年度までに全ての市立小・中学校に設置されました。

### ■学校施設　建築年数別校数・割合




【出典】ビジョンはちおうじの教育（令和2～6年度（2020～2024年度））

### ■学校運営協議会の設置年度

| 設置年度 | 設置校数 | 設置校 |
|---|---|---|
| 平成19年度 | 3校 | 東浅川小学校、第六中学校、宮上中学校 |
| 平成20年度 | 4校 | 陶鎔小学校、浅川小学校、元八王子中学校、城山中学校 |
| 平成21年度 | 6校 | 椚田小学校、中山小学校、宮上小学校、下柚木小学校、第一中学校、陵南中学校 |
| 平成22年度 | 8校 | 第七小学校、館小学校、加住小学校、愛宕小学校、館中学校、加住中学校、浅川中学校、松木中学校 |
| 平成23年度 | 6校 | 長房小学校、柏木小学校、南大沢小学校、松木小学校、長池小学校、南大沢中学校 |
| 平成24年度 | 4校 | 横山第一小学校、上川口小学校、恩方中学校、由木中学校 |
| 平成25年度 | 6校 | 第二小学校、高倉小学校、高嶺小学校、ひよどり山中学校、由井中学校、中山中学校 |
| 平成26年度 | 7校 | 第五小学校、清水小学校、宇津木台小学校、弐分方小学校、由井第三小学校、横山中学校、川口中学校 |
| 平成27年度 | 6校 | 緑が丘小学校、長沼小学校、由木西小学校、高尾山学園（小学部）、椚田中学校、高尾山学園（中学部） |
| 平成28年度 | 6校 | 第四小学校、第九小学校、中野北小学校、小宮小学校、散田小学校、山田小学校 |
| 平成29年度 | 32校 | 第一小学校、第六小学校（※）、大和田小学校、横山第二小学校、元八王子小学校、元八王子東小学校、上壱分方小学校、城山小学校、横川小学校、恩方第一小学校、恩方第二小学校、元木小学校、楢原小学校、由井第二小学校、片倉台小学校、由木中央小学校、由木東小学校、鹿島小学校、松が谷小学校、上柚木小学校、鑓水小学校、第三中学校（※）、第五中学校、第七中学校、甲ノ原中学校、石川中学校、長房中学校、横川中学校、打越中学校、松が谷中学校、上柚木中学校、鑓水中学校<br>※現・いずみの森義務教育学校 |
| 平成30年度 | 12校 | 第三小学校、第十小学校、松枝小学校、由井第一小学校、みなみ野小学校、みなみ野君田小学校、秋葉台小学校、別所小学校、第二中学校、第四中学校、楢原中学校、みなみ野中学校 |
| 令和元年度 | 8校 | 第八小学校、船田小学校、川口小学校、美山小学校、七国小学校、四谷中学校、七国中学校、別所中学校 |
| 合計 | 108校 | |

【出典】はちおうじの教育統計

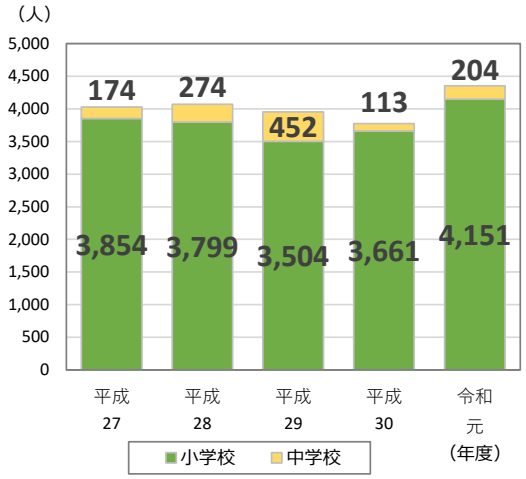
**学校運営協議会**

地域住民や保護者等が一定の権限と責任をもって学校運営に参画することを通じて、地域に開かれ、信頼される学校づくりをすすめるとともに、より良い教育の実現を目的に設置する合議制の機関。

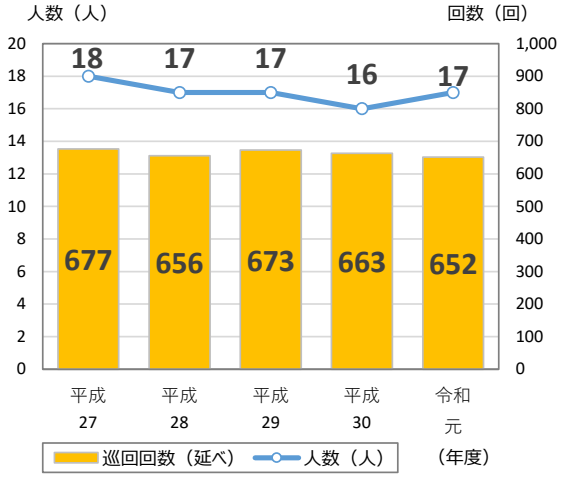
- 「学校安全ボランティアの登録者数」は、やや減少傾向にありましたが、令和元年度に増加しています。
- 「学校と地域が連携して行う取組数」は、近年増加傾向にありましたが、令和元年度に減少しました。
- 「学校と地域が協力して子どもを育てていると感じている市民の割合」は、増加傾向にあります。

## ■学校安全ボランティア登録者数及びスクールガード・リーダー巡回指導回数等の推移

### ●学校安全ボランティア登録者数

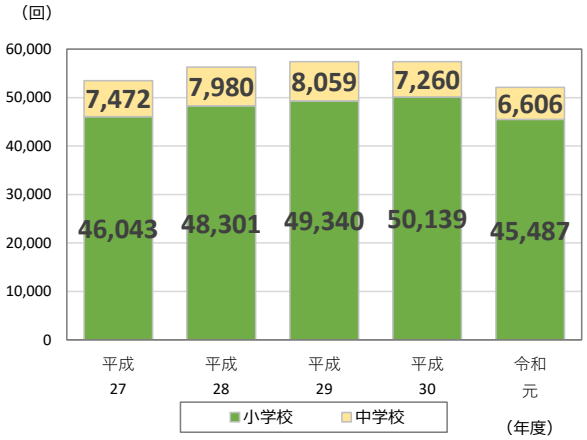



### ●スクールガード・リーダー巡回指導回数等




【出典】はちおうじの教育統計

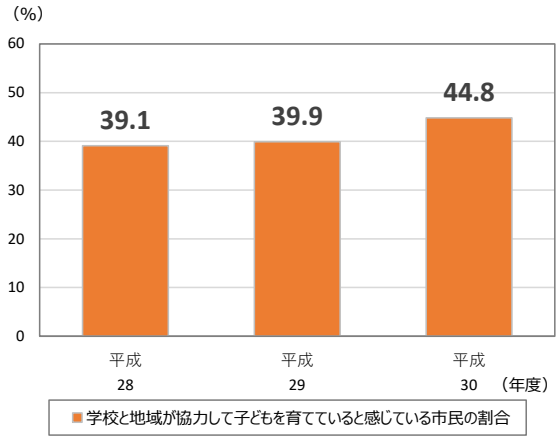
## ■学校と地域が連携して行う取組数の推移




※取組とは、学校行事、地域まつりなどのイベント、美化活動、地域パトロールなど
※令和元年度は、３月２日から市立小・中学校は臨時休業

【出典】はちおうじの教育統計

## ■学校と地域が協力して子どもを育てていると感じている市民の割合（推移）

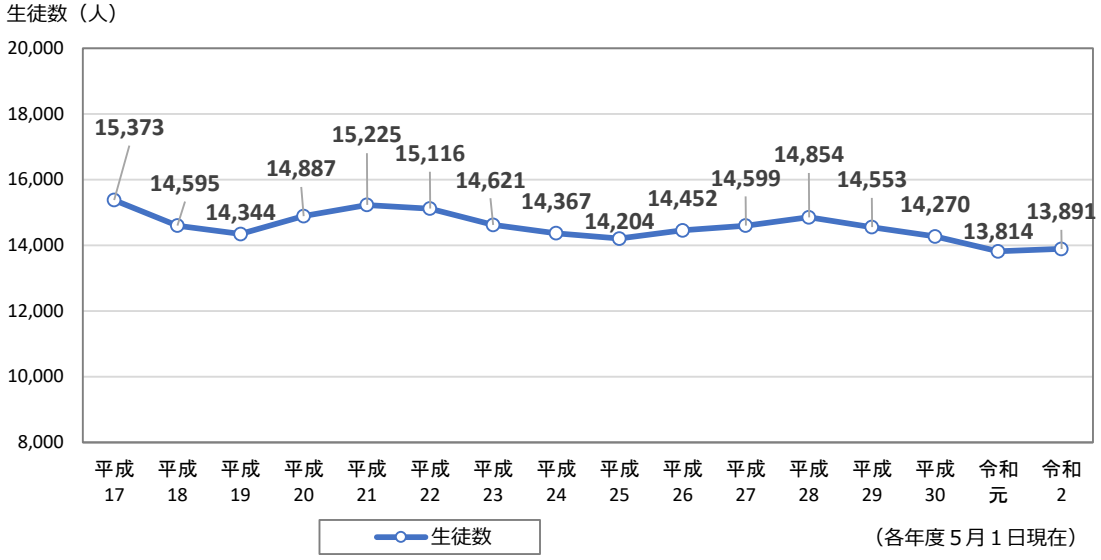



【出典】八王子ビジョン2022アクションプラン

## （5） 教育

- 令和2年度の市内高等学校の生徒数は、平成17年度から約1.5千人減少しています。
- 市内高等学校の生徒の6割以上が大学等に進学しています。

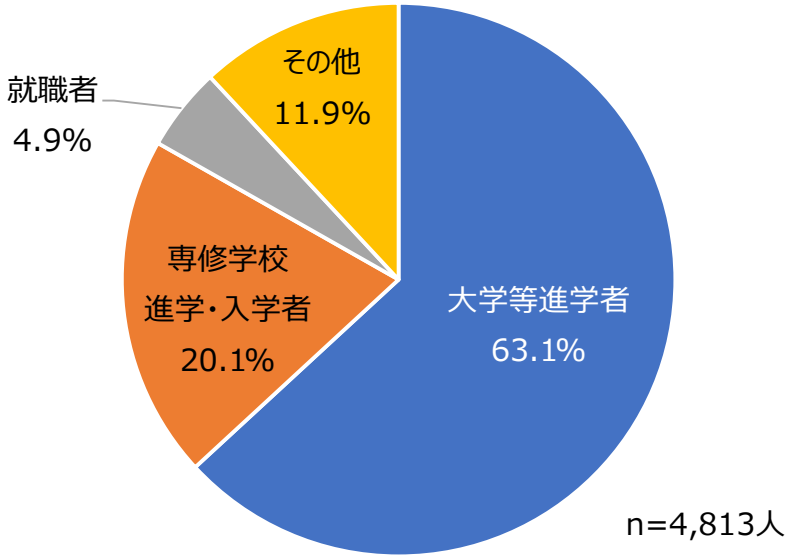
### ■市内高等学校（全日制・定時制）の生徒数の推移




※令和2年度の数値は速報値

【出典】東京都　学校基本統計（学校基本調査報告書）

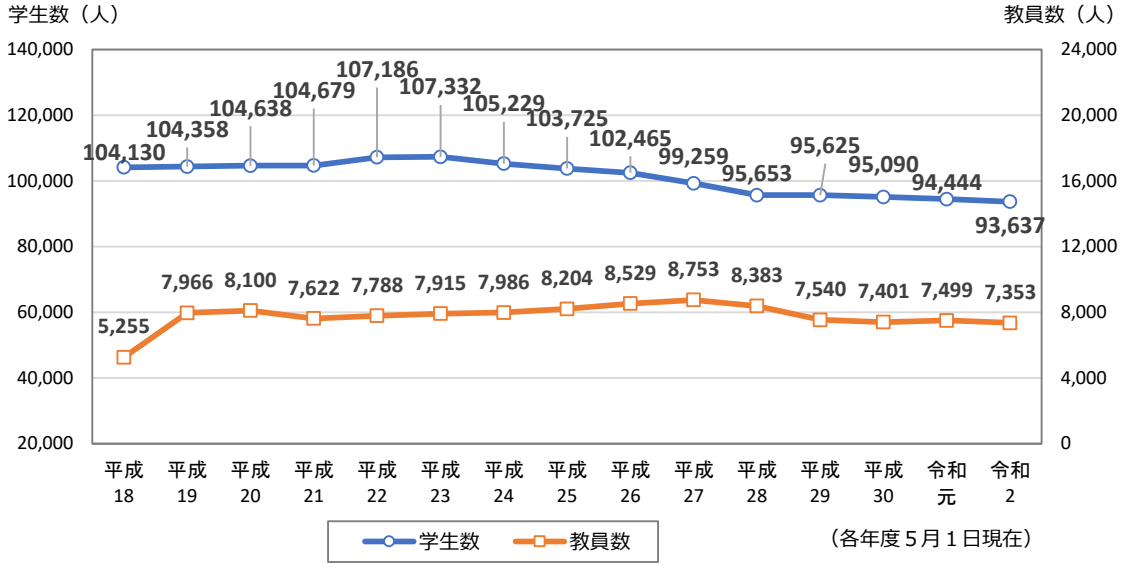
### ■市内高等学校（全日制・定時制）生徒の卒業後の状況




【出典】東京都　令和元年度　学校基本統計（学校基本調査報告書）

- 市内大学等の学生数は、少子化やキャンパス移転等の影響もあり、近年減少傾向にありますが、令和2年度現在で9.3万人以上の学生が本市で学んでいます。
- 市と連携する大学等の数は、26に上ります。

## ■市内大学等の学生数・教員数の推移




【出典】学園都市文化課資料

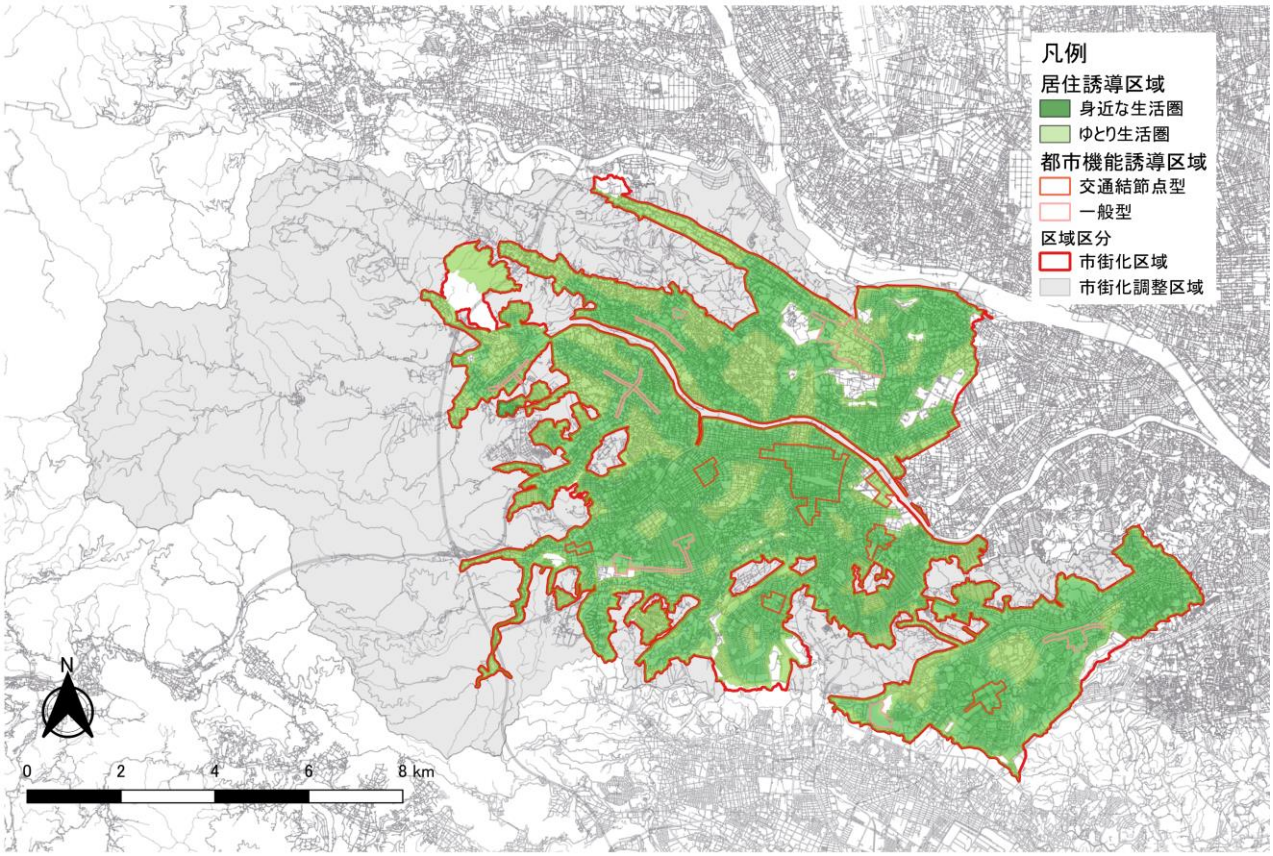
## ■八王子と連携する26大学等

【出典】学園都市文化課資料より作成

## （6） 都市計画・都市インフラ

- 本市では、東京圏郊外都市として、「居住者のウェルビーイング（安心して暮らせる社会）」を目指し、「立地適正化計画」を策定して、居住、交通、都市機能に関する長期的な都市計画の基本的な考え方を示し、持続可能な都市構造への再構築に向けて取り組んでいます。

### ■居住誘導区域及び都市機能誘導区域




※土砂災害特別警戒区域、土砂災害警戒区域、急傾斜地崩壊危険区域、浸水想定区域（浸水深0.5m以上）、生産緑地地区、斜面緑地保全区域は、居住誘導区域及び都市機能誘導区域から除外します。これらの区域については、それぞれの区域図等で最新の情報を確認してください。
※「身近な生活圏」及び「ゆとり生活圏」は、平成31年（2019年）４月１日時点の路線バスのサービス水準に基づく概ねの区域を示す目安であり、必要に応じて見直します。また、都市を平面的に捉えたものであり、トンネルや橋梁など地形の状況により、実態と異なる場合があります。

【出典】土地利用計画課資料

**居住誘導区域**

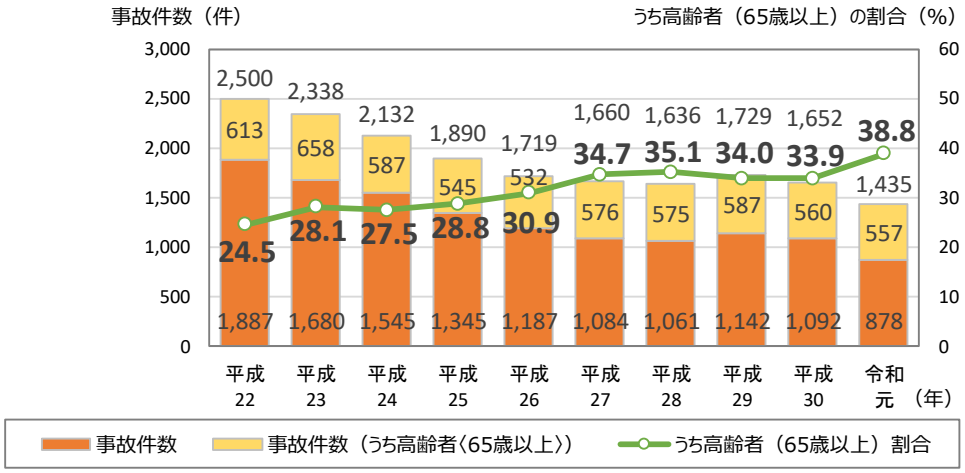
立地適正化計画に記載する主な事項のひとつ。医療、商業等、日常生活サービスを持続的に維持可能な人口密度水準が確保され、土砂災害等の災害の被害を受ける危険性が少ない区域で、持続可能な都市構造に向けて、居住を誘導すべき区域のこと。

**都市機能誘導区域**

立地適正化計画に記載する主な事項のひとつ。医療・福祉・商業等の都市機能・サービスを誘導することにより、各種サービスの効率的な提供を図る区域で、日常生活を支える都市機能を集積すべき区域のこと。

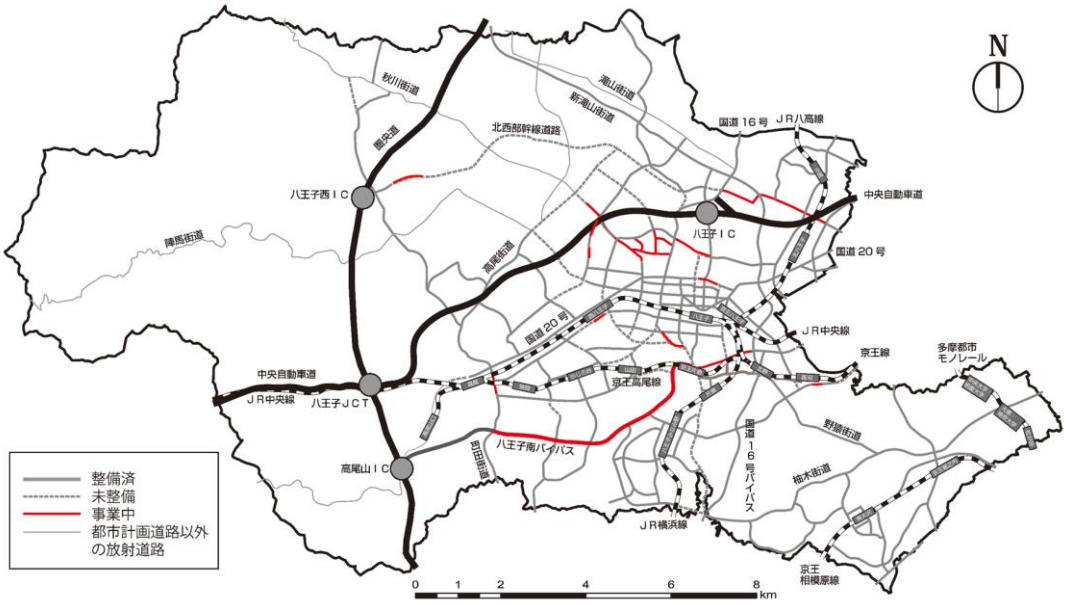
- 「交通事故件数」は減少傾向にありますが、そのうち65歳以上の高齢者が事故の当事者となった割合は高まってきています。
- 「主な幹線道路」は下図のとおりです。

## ■交通事故件数の状況（八王子市内）




【出典】交通事業課資料

## ■主な幹線道路の整備図

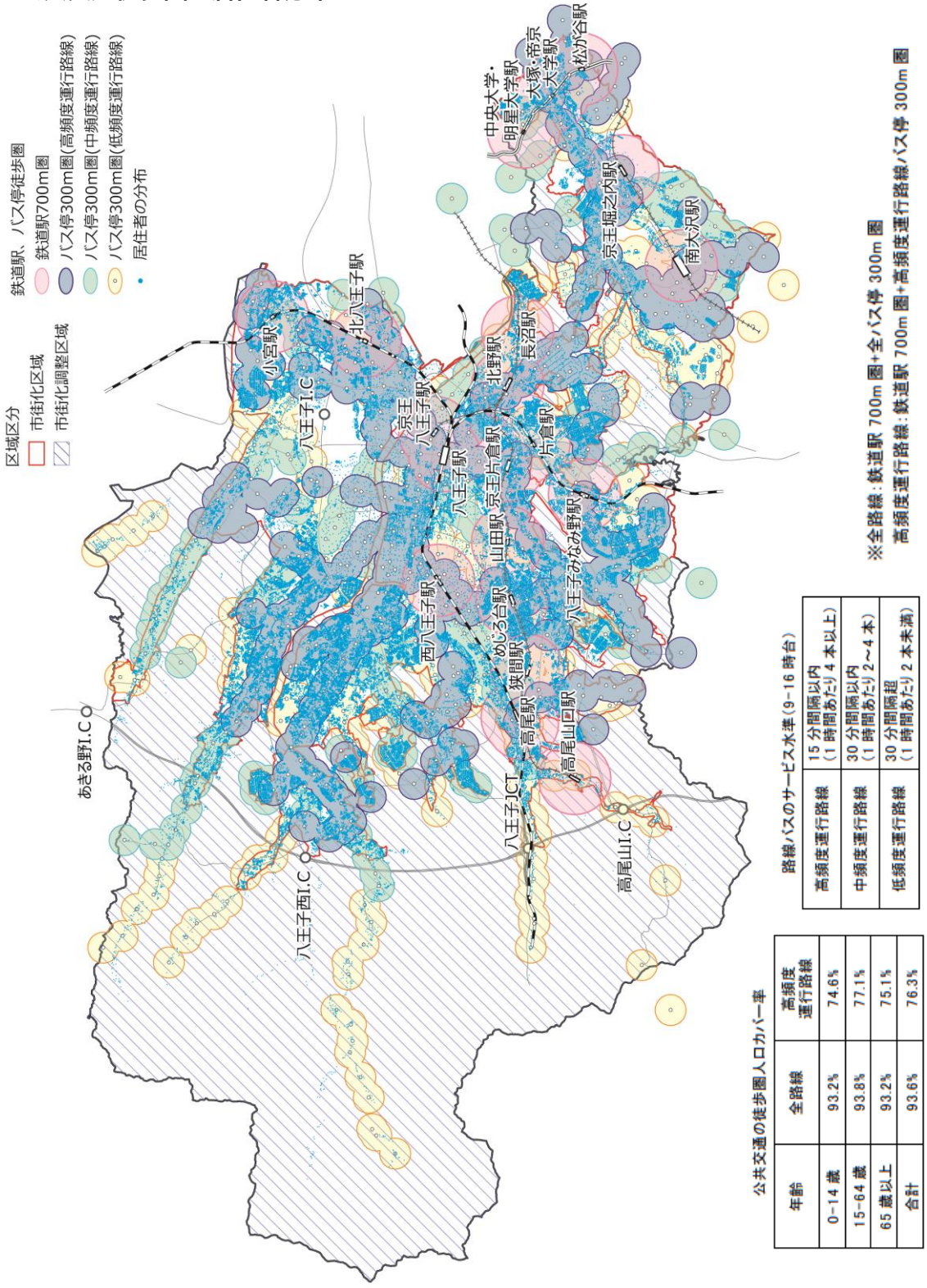



【出典】交通企画課資料

## （6） 都市計画・都市インフラ

- 「公共交通徒歩圏と居住者分布」を見ると、路線バスのネットワークは充実しているといえます。将来にわたって現行の路線バスのネットワークを維持するためには、沿線の人口密度を維持していく必要があります。

### ■公共交通徒歩圏と居住者分布




路線バスのサービス水準（9-16 時台）

| | |
|---|---|
| 高頻度運行路線 | 15 分間隔以内（1 時間あたり 4 本以上） |
| 中頻度運行路線 | 30 分間隔以内（1 時間あたり 2～4 本） |
| 低頻度運行路線 | 30 分間隔超（1 時間あたり 2 本未満） |

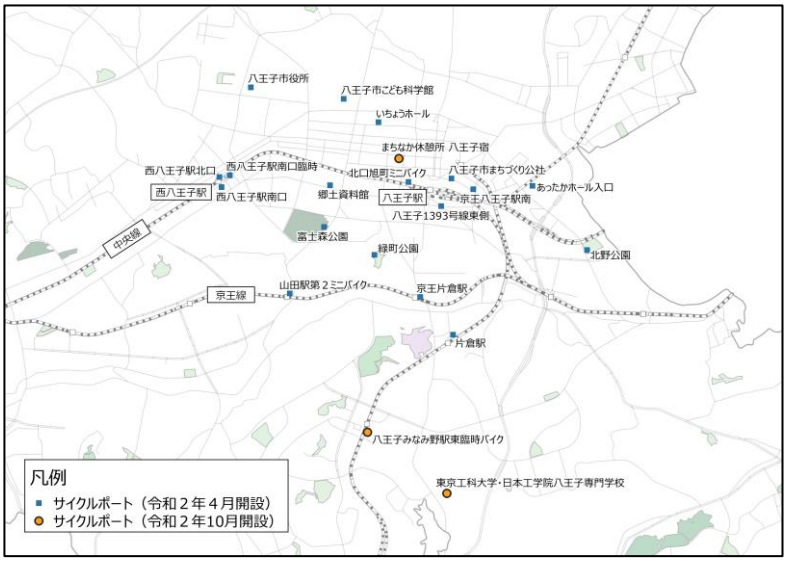
公共交通の徒歩圏人口カバー率

| 年齢 | 全路線 | 高頻度運行路線 |
|---|---|---|
| 0-14 歳 | 93.2% | 74.6% |
| 15-64 歳 | 93.8% | 77.1% |
| 65 歳以上 | 93.2% | 75.1% |
| 合計 | 93.6% | 76.3% |

【出典】八王子市立地適正化計画（平成29年住民基本台帳、八王子市資料より作成）

- 令和2年4月から「シェアサイクルの実証実験」を実施しています。
- 令和元年度の「自転車駐車場の利用率」は平成15年度に比べ31.5ポイント上昇しており、近年80%を超える高い水準を保っています。

## ■シェアサイクル実証実験におけるサイクルポート位置図

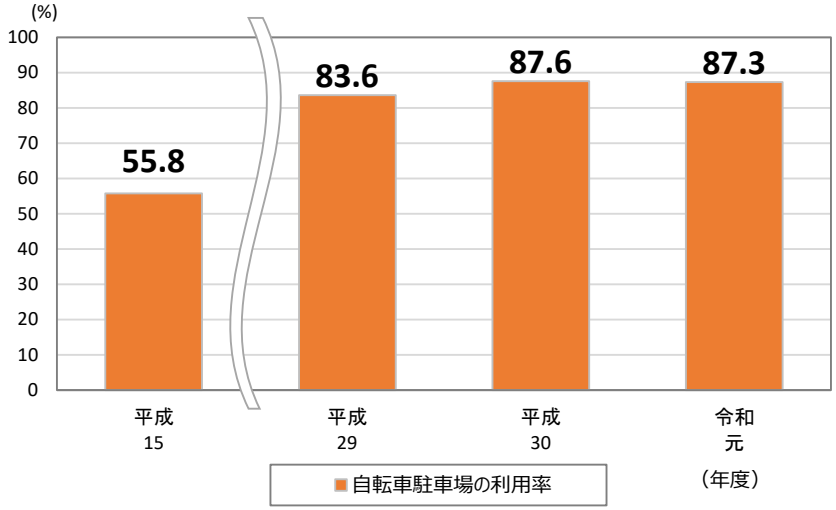



【出典】交通企画課資料

### シェアサイクル

複数のサイクルポートを設置し、利用者がどこのサイクルポートからでも借りることができ、返却することができる自転車共有（シェア）サービス。本市では、回遊性向上による地域や観光の活性化や公共交通の補完、環境負荷低減等を目的として、民間事業者との共同によるシェアサイクルの実証実験を実施しています。
実施期間：令和2年（2020年）4月～令和4年（2022年）3月末（予定）

## ■自転車駐車場の利用率（推移）




【出典】交通事業課資料

## （6） 都市計画・都市インフラ

- 平成30年度の乗車人員（1日平均）は、平成11年度または平成12年度に比べ、JR八高線「小宮駅」、「北八王子駅」、JR横浜線「八王子みなみ野駅」、多摩都市モノレール「中央大学・明星大学駅」で増加しています。一方、JR横浜線「片倉駅」、京王線「長沼駅」、JR中央線「高尾駅」、京王高尾線「めじろ台駅」で減少しています。
- 周辺都市への道路交通の連絡性を高めるため、「広域・主要幹線道路」の整備を進めています。また、相模原市の橋本駅がリニア中央新幹線中間駅として整備されることから、本市に新たな人の往来や物流の創出が期待されています。

### ■市内各駅の乗車人員（1日平均） の推移

（人）

| （年度） | | 平成11 | 平成28 | 平成29 | 平成30 | 対平成11比 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| JR中央線 | 八王子駅 | 82,192 | 85,093 | 85,303 | 85,003 | 1.0 |
| | 西八王子駅 | 29,321 | 32,302 | 32,493 | 32,216 | 1.1 |
| | 高尾駅 | 33,873 | 29,071 | 29,270 | 28,871 | 0.9 |
| JR横浜線 | 片倉駅 | 6,235 | 5,227 | 5,205 | 5,221 | 0.8 |
| | 八王子みなみ野駅 | 8,789 | 17,991 | 18,357 | 18,721 | 2.1 |
| JR八高線 | 北八王子駅 | 5,274 | 9,098 | 9,256 | 9,661 | 1.8 |
| | 小宮駅 | 1,205 | 3,186 | 3,097 | 3,050 | 2.5 |

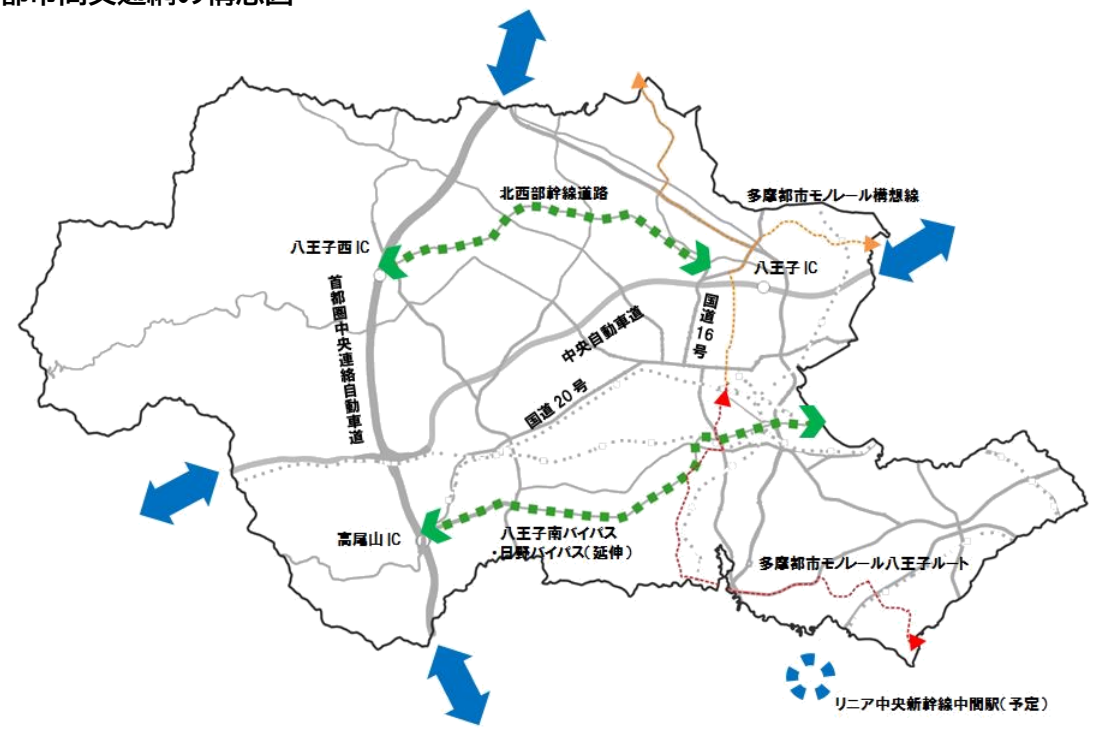
| （年度） | | 平成12 | 平成28 | 平成29 | 平成30 | 対平成12比 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 多摩都市モノレール | 松が谷駅 | 745 | 1,218 | 1,208 | 1,280 | 1.7 |
| | 大塚・帝京大学駅 | 2,611 | 3,783 | 3,863 | 3,860 | 1.5 |
| | 中央大学・明星大学駅 | 9,287 | 17,639 | 17,367 | 17,283 | 1.9 |

（人）

| （年度） | | 平成11 | 平成28 | 平成29 | 平成30 | 対平成11比 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 京王線 | 京王八王子駅 | 30,359 | 29,389 | 29,671 | 29,731 | 1.0 |
| | 北野駅 | 10,120 | 11,317 | 11,495 | 11,549 | 1.1 |
| | 長沼駅 | 2,473 | 2,108 | 2,138 | 2,089 | 0.8 |
| 京王高尾線 | 京王片倉駅 | 1,936 | 2,378 | 2,463 | 2,514 | 1.3 |
| | 山田駅 | 2,132 | 2,639 | 2,685 | 2,643 | 1.2 |
| | めじろ台駅 | 9,469 | 8,902 | 8,896 | 8,683 | 0.9 |
| | 狭間駅 | 2,691 | 3,811 | 3,873 | 3,917 | 1.5 |
| | 高尾駅 | 13,500 | 13,581 | 13,690 | 13,648 | 1.0 |
| | 高尾山口駅 | 3,436 | 5,807 | 5,728 | 5,721 | 1.7 |
| 京王相模原線 | 京王堀之内駅 | 11,566 | 15,968 | 16,054 | 16,356 | 1.4 |
| | 南大沢駅 | 19,901 | 32,012 | 32,167 | 32,106 | 1.6 |

【出典】統計八王子（資料：東日本旅客鉄道（株）八王子支社、京王電鉄（株）、多摩都市モノレール（株））

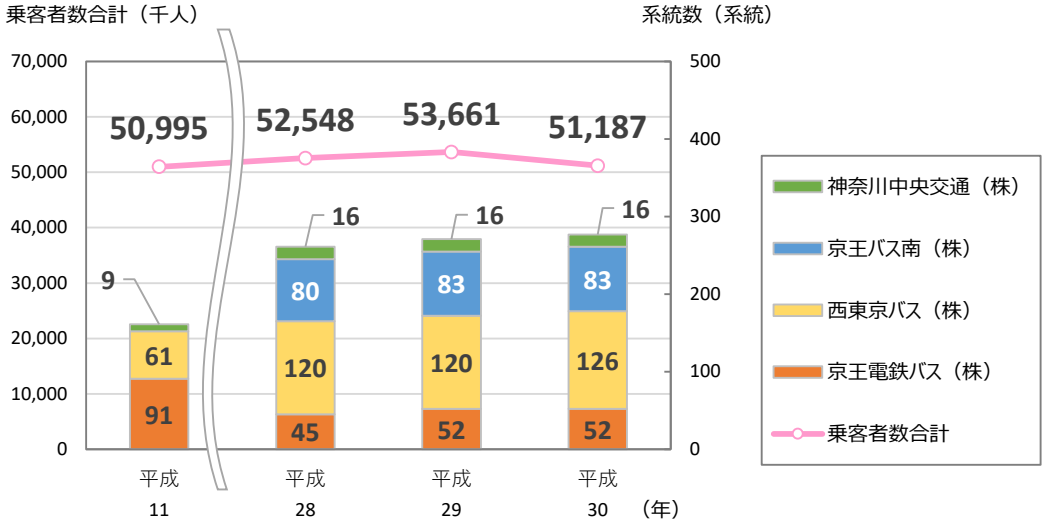
### ■都市間交通網の構想図




【出典】八王子ビジョン2022（2018基本計画改定版）

- 平成30年の「定期路線バスの系統数」は、平成11年に比べ1.7倍となっています。一方、「定期路線バスの乗客数」は大きな変動はなく、年間約5千万人程度で推移しています。
- 平成30年度の「公共交通の利便性の満足度」は、平成24年度と比べ11ポイント増加しており、近年は微増で推移しています。

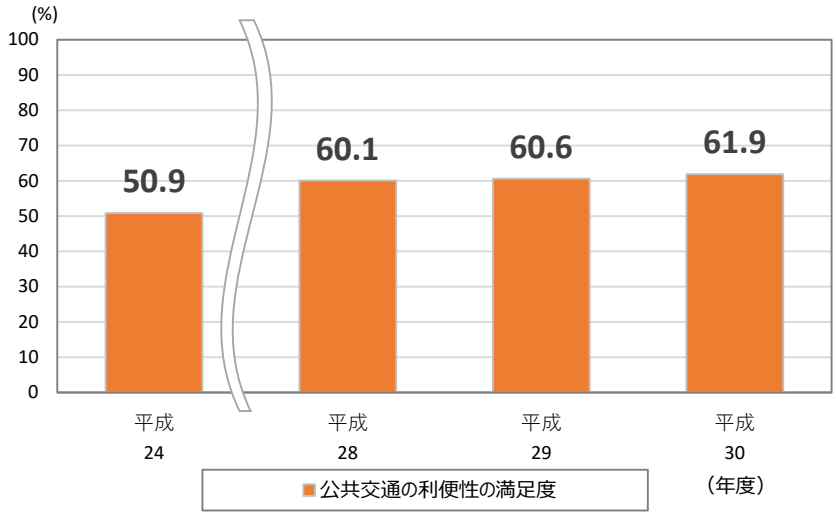
## ■定期路線バスの系統数及び乗客数（推移）




※平成11年の京王電鉄バス（株）の数値は、当時の京王電鉄（株）（市内を運行する系統のものであるが市外分を含む。）の数値を掲載

【出典】統計八王子（資料：京王電鉄バス（株）、西東京バス（株）、京王バス南（株）、神奈川中央交通（株））

## ■公共交通の利便性の満足度（推移）

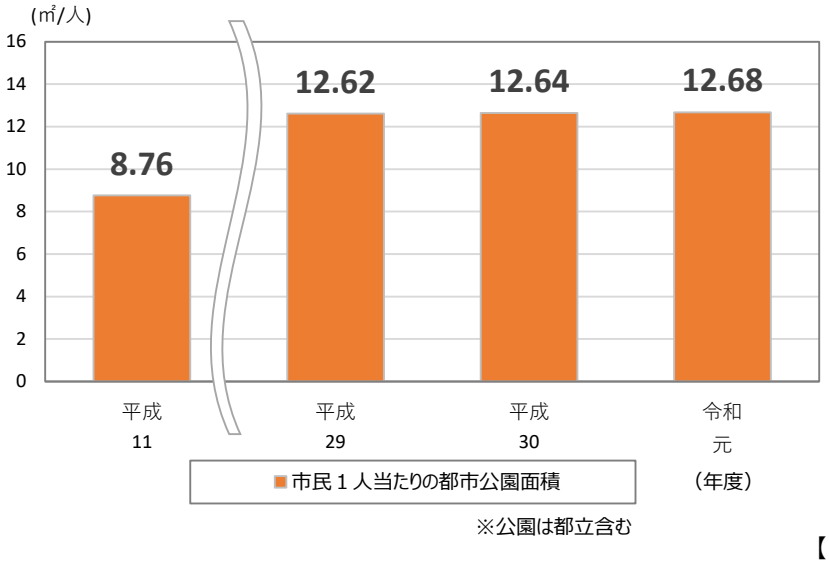



【出典】八王子ビジョン2022アクションプラン

## （6） 都市計画・都市インフラ

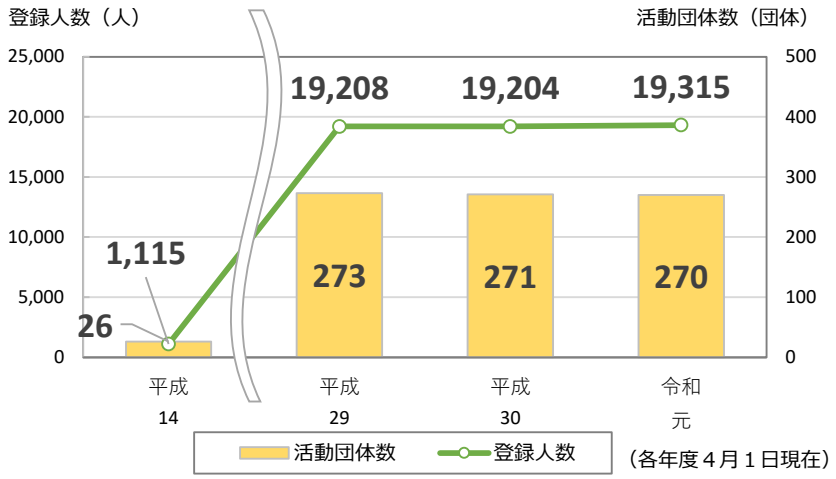
- 令和元年度の「市民1人当たりの都市公園面積」は、平成11年度に比べ1.4倍となっており、近年は微増で推移しています。
- 平成14年度に「公園アドプト制度」を導入して以来、「活動団体数」や「登録人数」は大きく増加しており、近年は横ばいで推移しています。

### ■市民1人当たりの都市公園面積（推移）




【出典】公園課資料

### ■公園アドプト活動団体数と登録人数の推移




**公園アドプト制度（平成14年度から実施）**

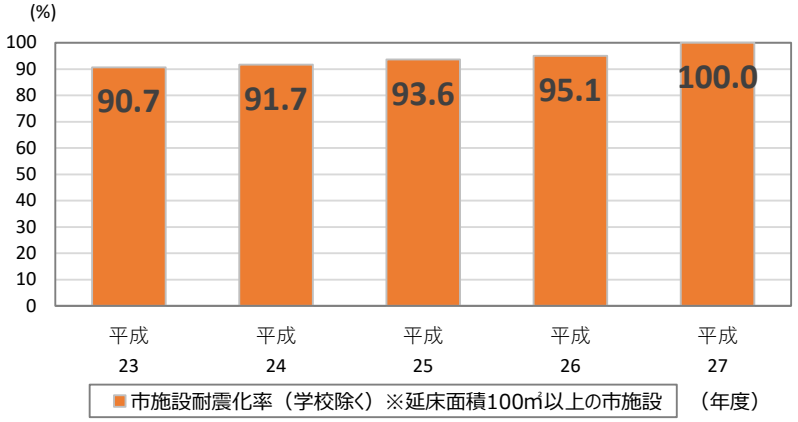
参加する市民の皆さんに公園の維持活動を行っていただき、市がその活動を支援する制度。身近な公園の清掃や除草などをボランティア活動として実施することで、美化意識の向上や公園への愛護心、地域コミュニティの形成などの効果が期待されます。

【出典】公園課資料

# （7） 防災

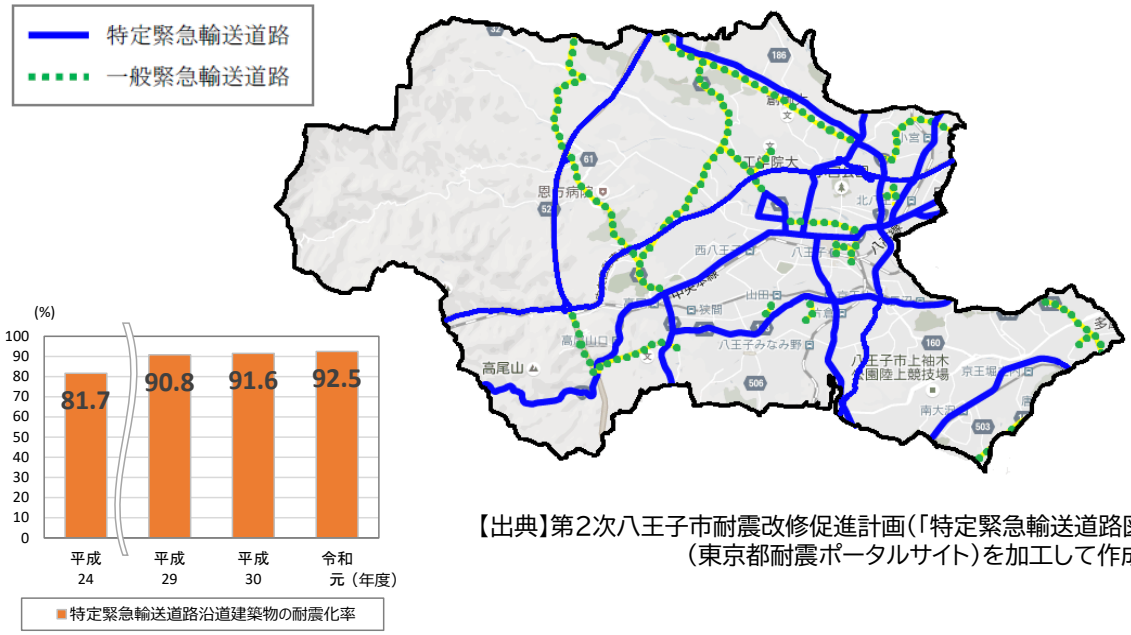
- 「市施設耐震化率（学校除く）」は、平成27年度に100％を達成しました。
- 「特定緊急輸送道路沿道建築物の耐震化率」は年々増加し、令和元年度には92.5％に達しています。

## ■市施設耐震化率（学校除く）の推移




【出典】建築課資料

## ■特定緊急輸送道路沿道建築物の耐震化率の推移、市内緊急輸送道路図




【出典】住宅政策課資料

【出典】第2次八王子市耐震改修促進計画（「特定緊急輸送道路図」（東京都耐震ポータルサイト）を加工して作成）

### 特定緊急輸送道路及び一般緊急輸送道路

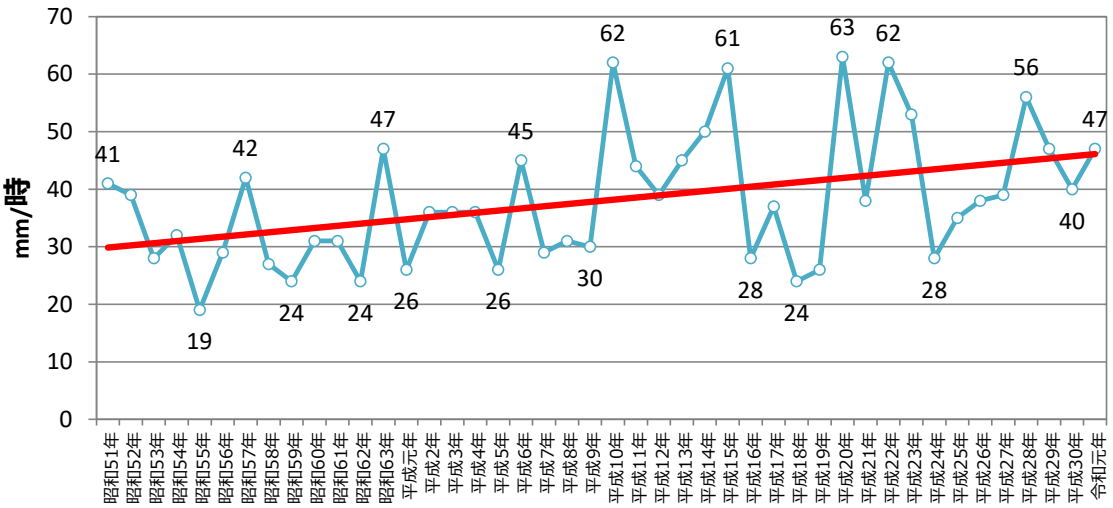
緊急輸送道路とは、阪神・淡路大震災での教訓を踏まえ、地震直後から発生する緊急輸送などを円滑に行うための道路として、東京都地域防災計画に位置付けられた高速自動車国道、一般国道及びこれらを連絡する幹線道路と知事が指定する防災拠点とを相互に連絡する道路です。東京都は、「東京における緊急輸送道路沿道建築物の耐震化を推進する条例」に基づき、緊急輸送道路のうち、特に沿道建築物の耐震化を図る必要があると認めるものを「特定緊急輸送道路」として指定しています。

また、緊急輸送道路のうち、特定緊急輸送道路に指定された道路以外の緊急輸送道路は、東京都耐震改修促進計画において、「一般緊急輸送道路」として、耐震改修促進法第5条第3項第3号に基づく、地震時の建築物の倒壊による通行障害を防ぐべき道路として位置付けられています。

## （7） 防災

- 「年最大時間雨量」は、年によってばらつきはあるものの、約40年間を通して見ると、増加傾向が認められます。
- 令和元年度の「自主防災組織を結成している町会・自治会数」は、平成11年度に比べ3.4倍になっており、85.8%の結成率となっています。

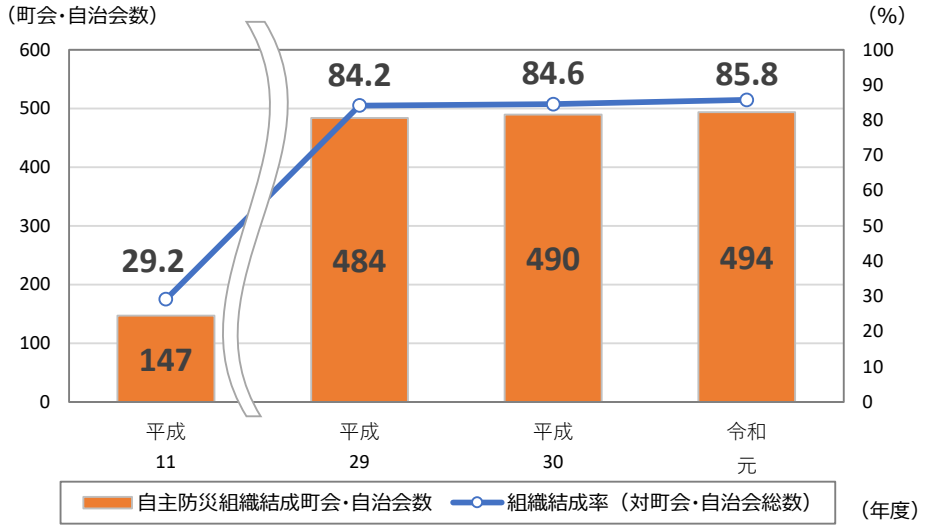
### ■年最大時間雨量の変化




※赤線は、雨量の経年的な変化の傾向を見るために、最小二乗法により求めた回帰直線です。
赤線が上向きであり、雨量が増加している状況が認められます。

【出典】八王子市水循環計画掲載図資に令和元年データを加え作成（八王子市天気相談所データ（市役所観測所））

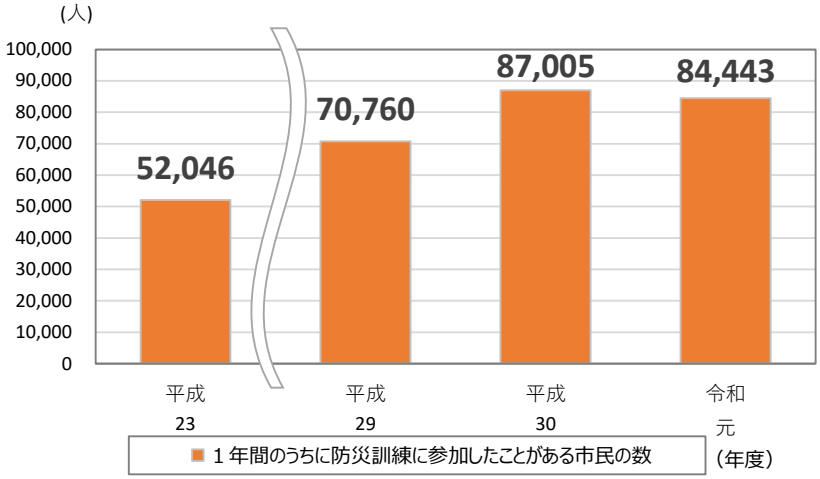
### ■自主防災組織結成町会・自治会数及び結成率の推移




【出典】防災課資料

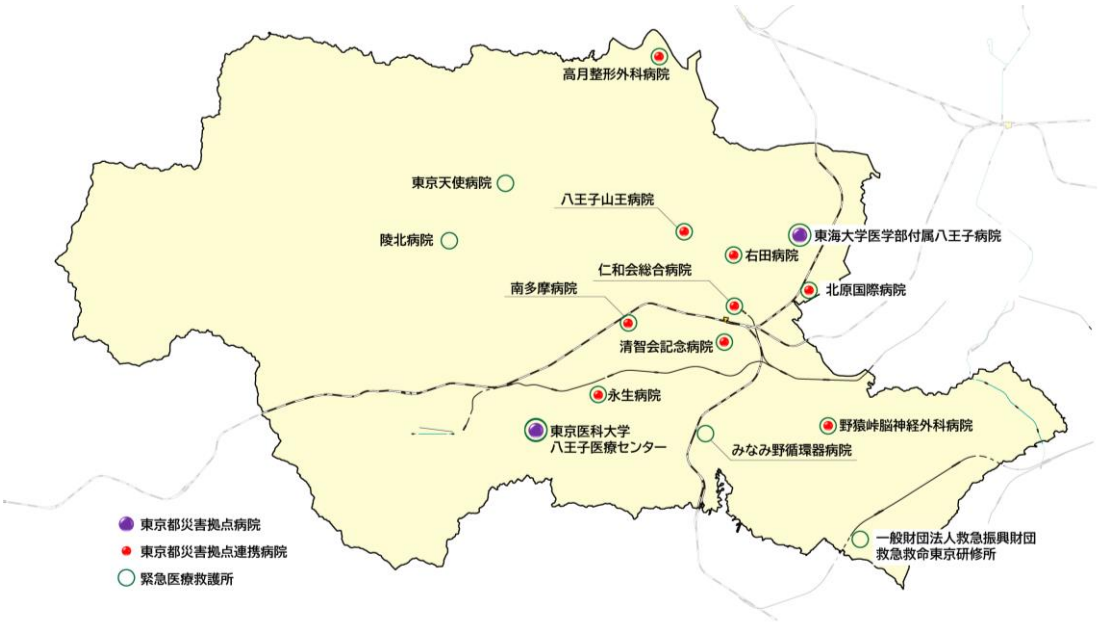
- 令和元年度の「1年間のうちに防災訓練に参加したことがある市民の数」は、平成30年度に比べ微減していますが、平成23年度と比べると1．6倍になっています。
- 市内の「災害拠点病院」、「災害拠点連携病院」、「緊急医療救護所」は下図のとおりです。

## ■1年間のうちに防災訓練に参加したことがある市民の数（推移）




【出典】防災課資料

## ■市内の災害拠点病院、災害拠点連携病院及び市内緊急医療救護所




平成30年5月29日現在

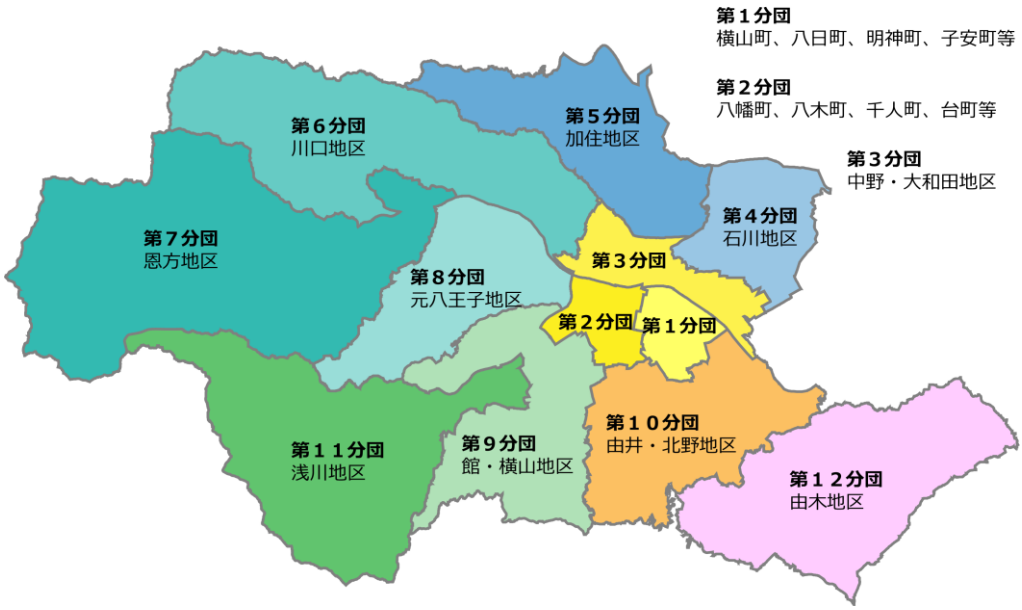
※災害拠点病院とは、主に重症者の収容・治療を行う病院
（基幹災害拠点病院、地域災害拠点中核病院及び地域災害拠点病院として都が指定する病院）
※災害拠点連携病院とは、主に中等症者や容態の安定した重症者の収容・治療を行う病院
（救急告示を受けた病院等で都が指定する病院）

【出典】八王子市地域防災計画（別冊）より作成

## （7） 防災

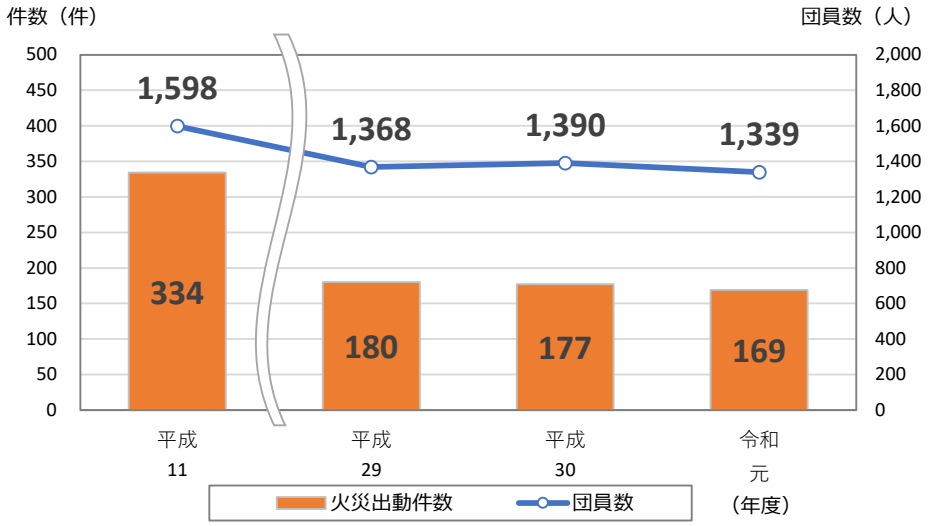
- 「消防団」は、12分団に分かれて地域の消防・防災活動を行っています。
- 近年の「消防団団員数」及び「火災出動件数」は、平成11年度に比べ減少しています。

### ■八王子市消防団分団分布図




【出典】防災課資料より作成

### ■八王子市消防団団員数及び火災出動件数の推移

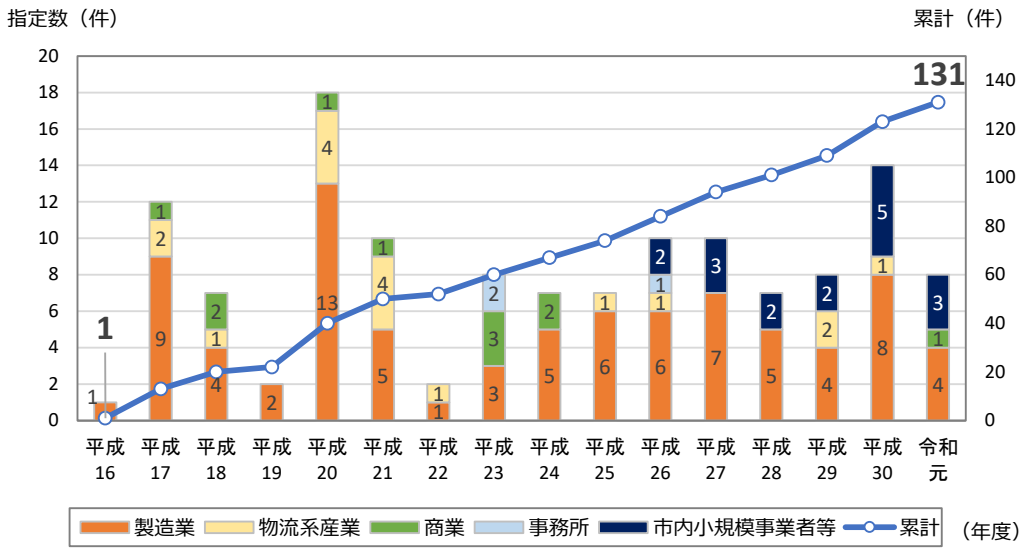



【出典】防災課資料

# （8） 産業

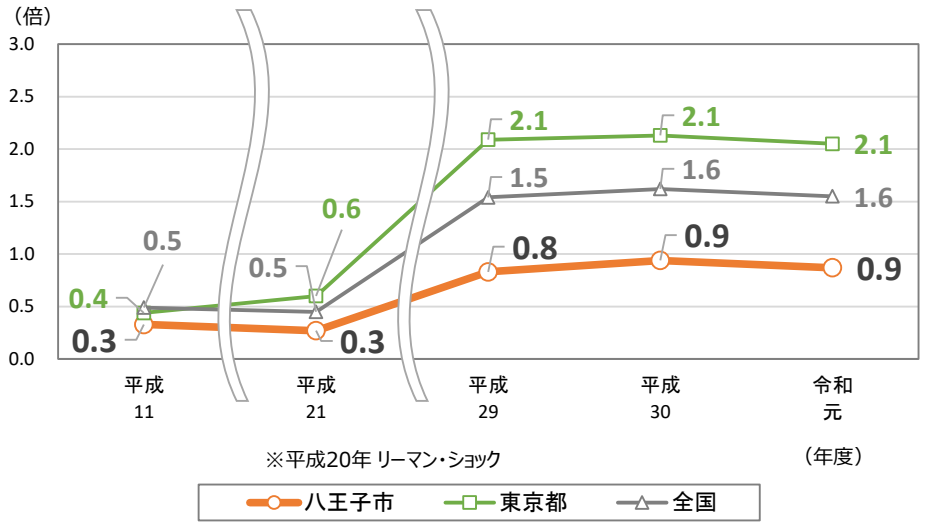
- 「企業立地支援条例による業種別指定数」の累計は、令和元年度に131件になりました。その中でも、製造業と市内小規模事業者等が占める割合が大きくなっています。
- 「有効求人倍率」は、平成20年のリーマン・ショック後に0.3であったものが、令和元年には、0.9になっています。

## ■企業立地支援条例による業種別指定数の推移




【出典】企業支援課資料

## ■有効求人倍率の推移

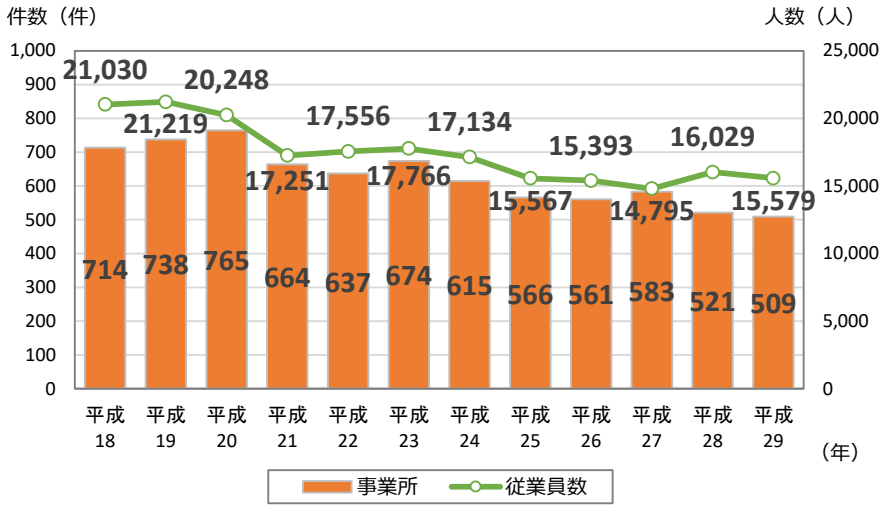



【出典】東京労働局ハローワーク八王子　最近の雇用失業情勢（有効求人倍率等の推移）

## （8） 産業

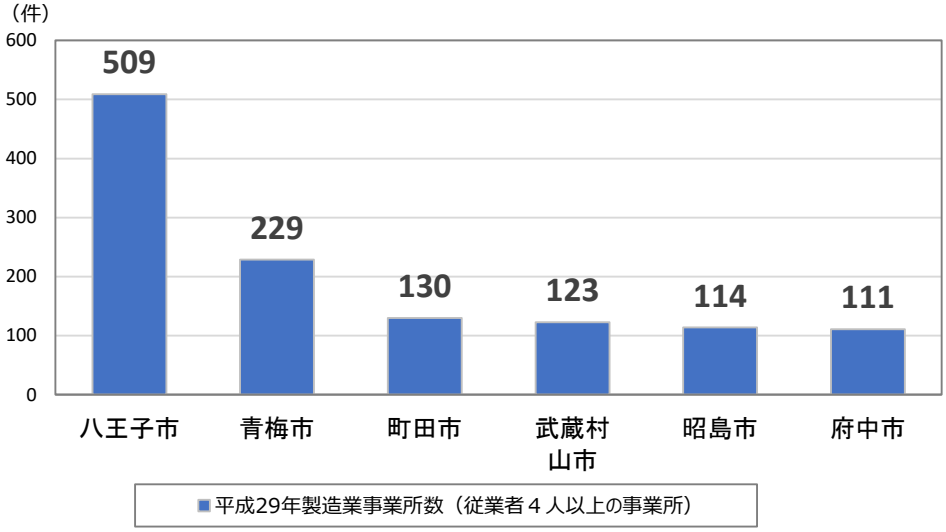
- 「製造業事業所数・従業員数」は、ともに減少傾向にあります。
- 「製造業事業所数（従業者4人以上の事業所）」は509件であり、東京都内26市で1番多くなっています。

### ■製造業事業所数・従業員数の推移




【出典】経済産業省　工業統計調査等

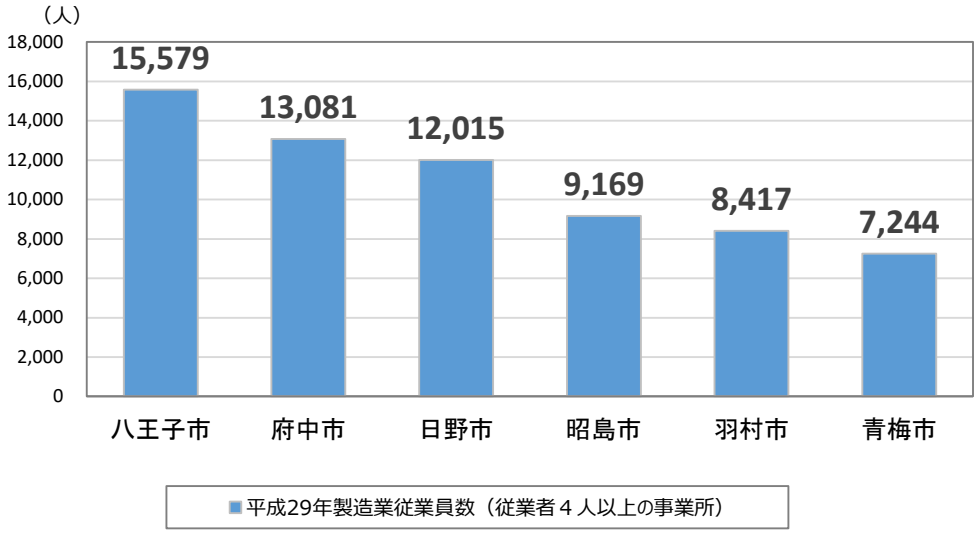
### ■平成29年製造業事業所数（東京都内26市の上位6市）




【出典】経済産業省　工業統計調査（平成30年）

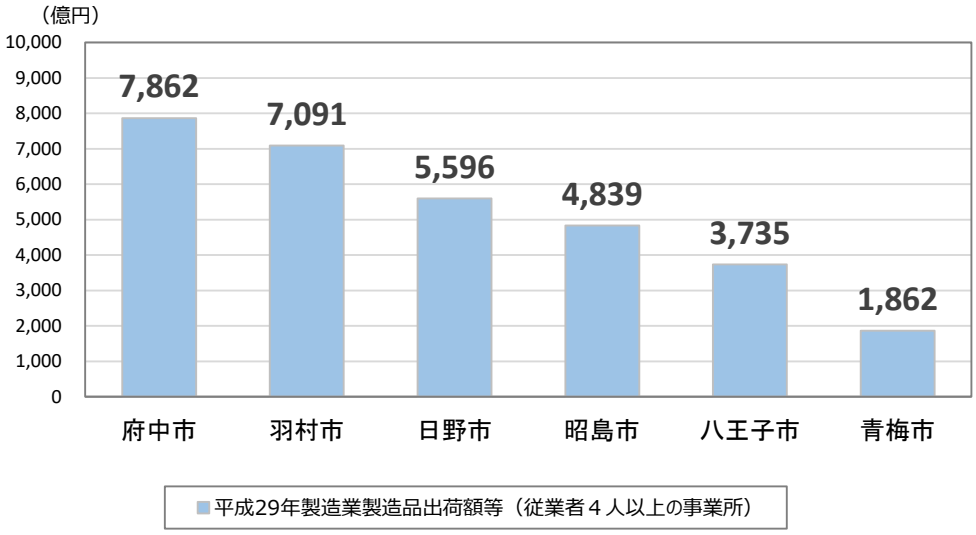
- 「製造業従業員数」は15,579人となっており、東京都内26市で1番多くなっています。
- 「製造業製造品出荷額等」は3,735億円となっており、東京都内26市で5番目に多くなっています。

■平成29年製造業従業員数（東京都内26市の上位6市）




【出典】経済産業省　工業統計調査（平成30年）

■平成29年製造業製造品出荷額等（東京都内26市の上位6市）



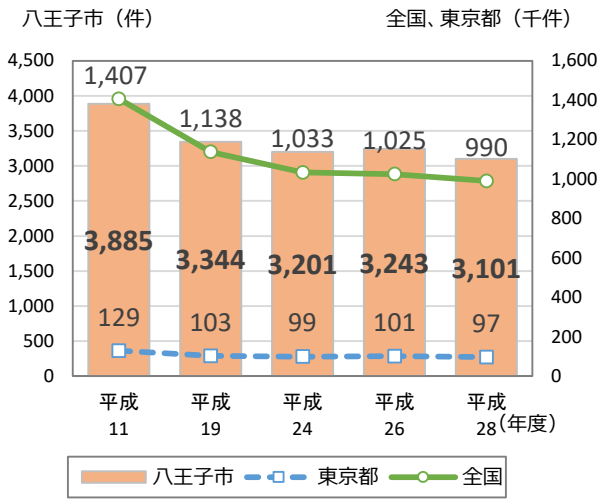

【出典】経済産業省　工業統計調査（平成30年）

## （8） 産業

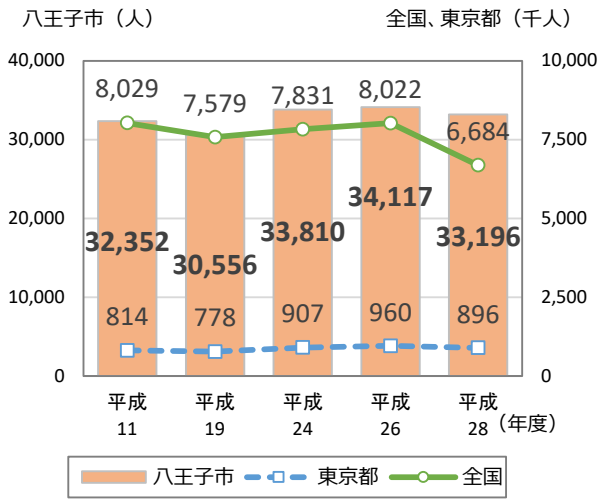
- 「小売店舗事業所数」は、八王子市・東京都・全国ともに減少傾向にあります。一方、「小売店舗従業員数」は、全国が平成28年度に大きく減少したのに対して、八王子市・東京都はほぼ横ばいで推移しています。
- 「小売店舗年間商品販売額」は、八王子市・東京都・全国ともに、平成24年度に増加に転じています。一方、「小売店舗売り場面積」は、八王子市・東京都・全国ともに、横ばいで推移しています。

### ■小売店舗事業所数及び従業員数の推移

＜小売店舗事業所数＞

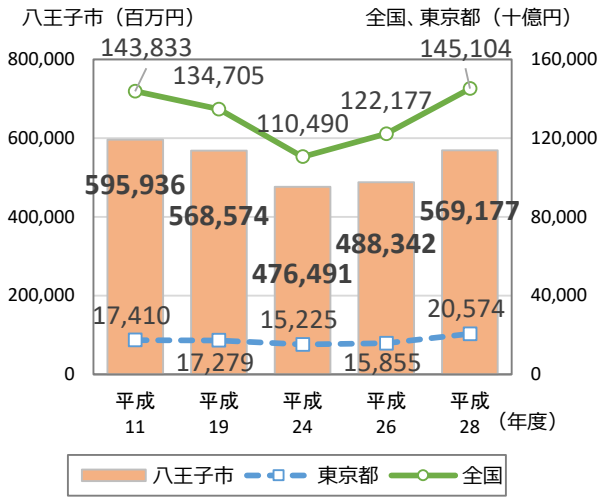



＜小売店舗従業員数＞

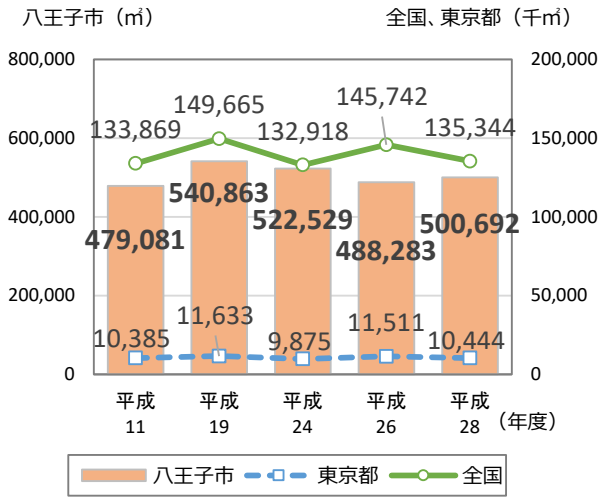



### ■小売店舗年間商品販売額及び売り場面積の推移

＜小売店舗年間商品販売額＞



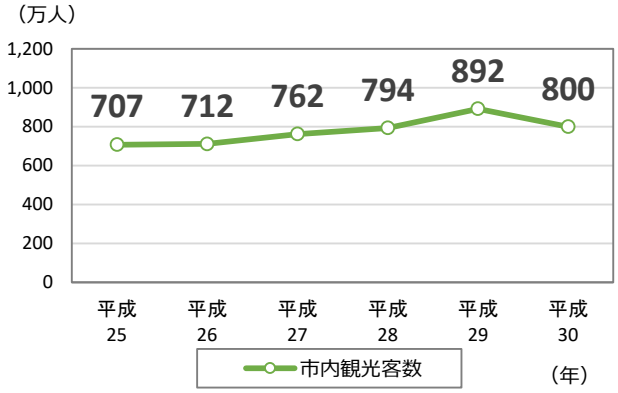

＜小売店舗売り場面積＞




【出典】経済産業省　商業統計調査、経済センサス（活動調査・基礎調査）

- 「観光客数」は、観光施策の充実により増加傾向にあります。
  ※平成29年は市制100周年記念事業による増。
- 観光資源は、高尾山を始めとする豊かな自然だけでなく、古くより継承されてきた歴史や伝統文化、また、買い物やグルメなど多岐にわたっており、魅力にあふれています。

■市内への観光客数の推移




【出典】観光課資料

■主な観光資源

自然

高尾山

陣馬山

高尾梅郷

歴史

高尾山薬王院

八王子城跡

滝山城跡

伝統文化

八王子まつり

車人形

八王子織物（ネクタイ）

グルメ

八王子ラーメン

とろろそば

このほか、本市の観光情報はコチラ

八王子観光コンベンション協会

施設

高尾599ミュージアム

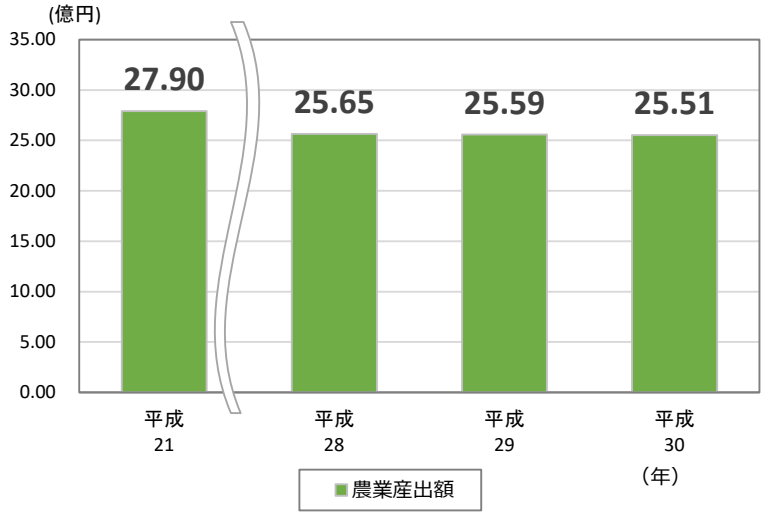
道の駅八王子滝山

【出典】市ホームページ（八王子画像オープンデータ集）等

## （8） 産業

- 「農業産出額」は、減少傾向にあります。
- 「認定数及び認定農業者数」は増加傾向にありましたが、令和元年度は減少しています。

### ■農業産出額の推移

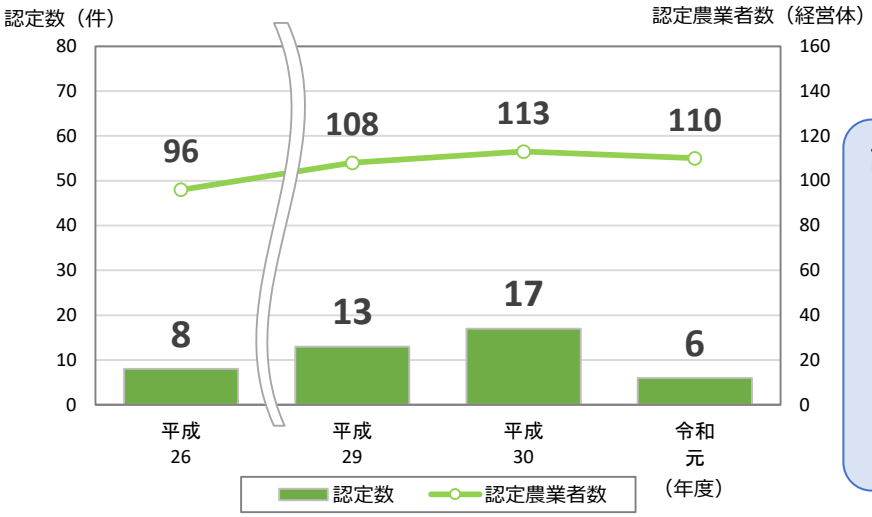



**農業産出額とは**

野菜、果樹、稲等の農業産出額は、「東京都農作物生産状況調査」から集計・算出した収穫量に、「東京都中央卸売市場年報」の「月別・産地別・部類別・品目別取扱高」等に基づく単価を乗じて算出したもの。

【出典】東京都産業労働局　東京都農作物生産状況調査結果報告書

### ■認定農業者数の推移



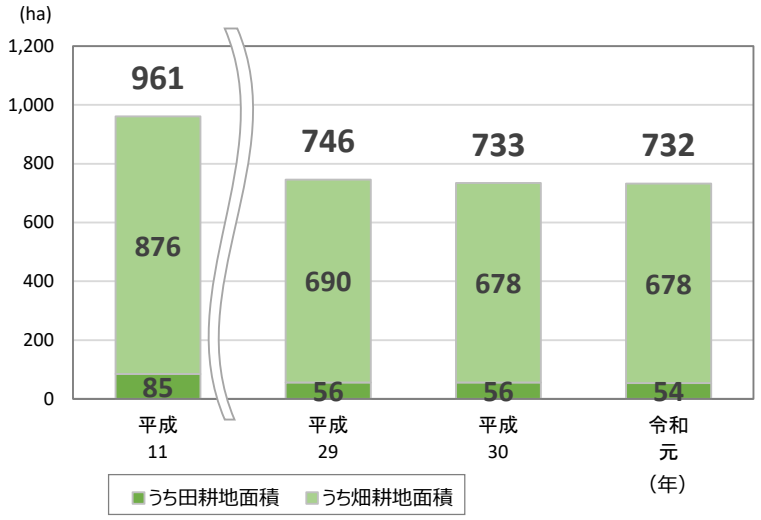

**認定農業者とは**

効率的かつ安定的な農業経営を目指す農業者が作成した農業経営改善計画を市町村が地域農業の将来目標を農業経営基盤強化促進法に基づいて定めた「基本構想」に照らして認定して、支援していこうとする制度。認定される期間は、認定から5年間。

【出典】農林課資料

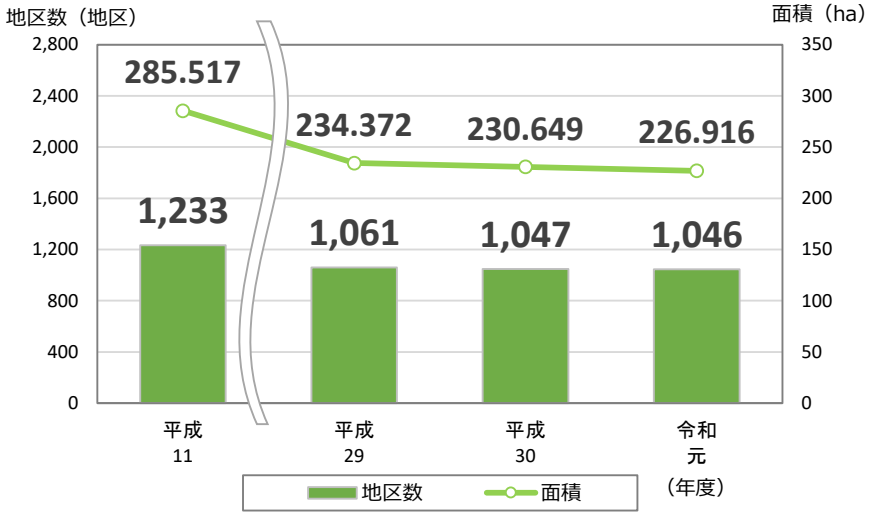
- 近年の「耕地面積」は、平成11年に比べ減少しています。
- 近年の生産緑地地区の「地区数」及び「面積」は、平成11年度に比べ減少しています。

■耕地面積の推移




【出典】農林水産省　作物統計調査

■生産緑地地区の推移




【出典】都市計画課資料

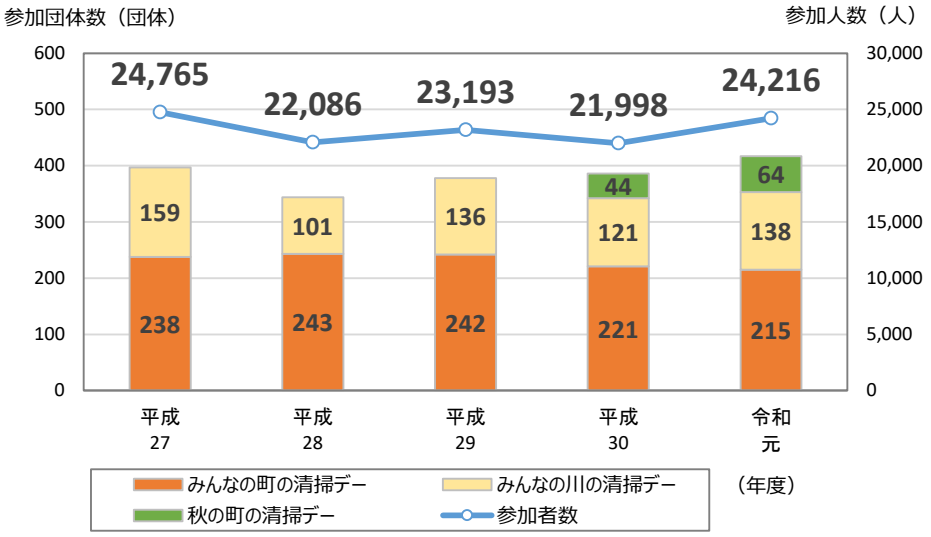
**生産緑地地区とは**

農林業との調整を図りつつ、良好な都市環境の形成を図るため、市街化区域内において適正に管理されている農地等を指定するもの。

# （9） 環境・ごみ

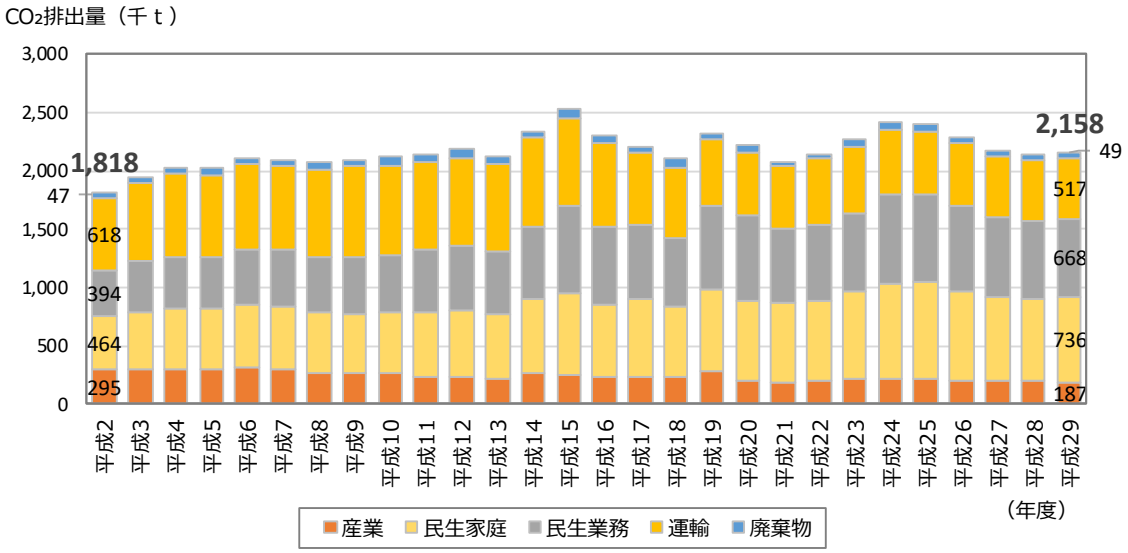
- 「環境啓発活動」に参加する団体数、参加人数ともに、おおむね横ばい傾向にあります。
- 「$CO_2$排出量」は、平成2年度と平成29年度を比べると340千t増加しています。「民生家庭」、「民生業務」、「運輸」部門で全体の約9割を占めており、「民生家庭」、「民生業務」で増加しています。

## ■環境啓発活動の状況




【出典】八王子市環境白書2020データ集

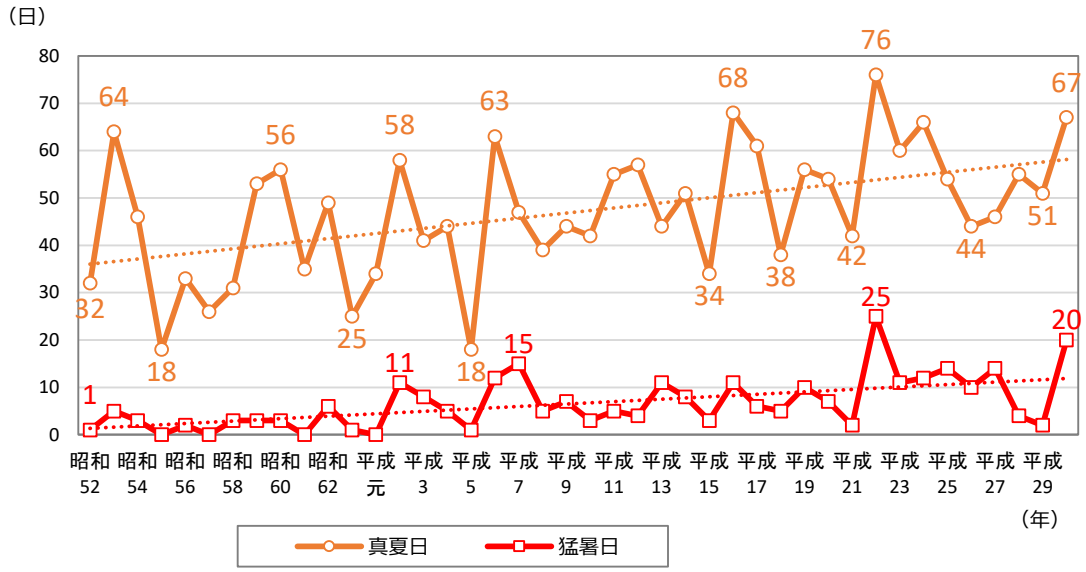
## ■市内の部門別$CO_2$排出量の推移




【出典】オール東京62市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」データより作成

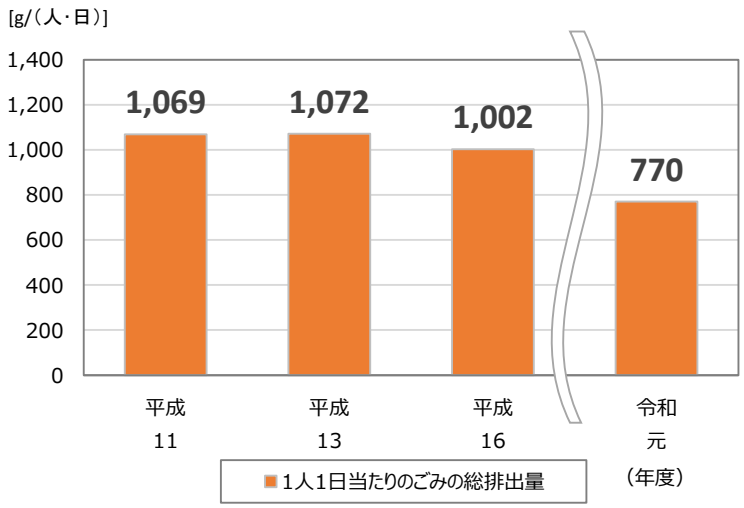
- 「猛暑日・真夏日」の日数は、年により変動が大きいものの、増加傾向があらわれています。
- 「1人1日当たりのごみの総排出量」は、平成16年度からの家庭ごみの資源物収集拡充や戸別収集、有料化などを経て大きく減少し、令和元年度には770gとなっています。

## ■八王子市の猛暑日・真夏日の経年変化




【出典】気象庁データより作成

## ■1人1日当たりのごみの総排出量（推移）




※平成16年10月から家庭系ごみの「資源物収集拡充」、「戸別収集」、「有料化」スタート

**1人1日当たりの総排出量**

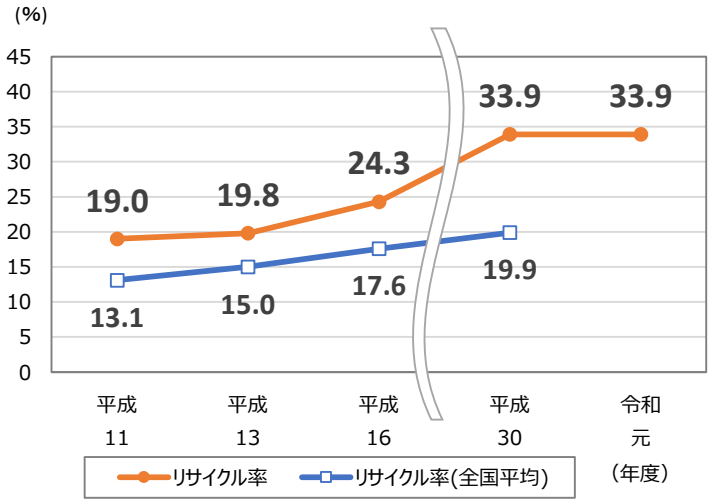
市民1人が1日にどのくらいのごみを発生させているかの指標で（家庭系ごみ＋事業系ごみ＋資源物＋資源集団回収等）÷本市の人口÷365日（うるう年は366日）で算出。

【出典】ごみ減量対策課資料

## （9） 環境・ごみ

- 「リサイクル率」は、全国平均に比べ高水準を保っています。
- 令和元年度の「ごみ排出量」は、平成11年度に比べ大きく減少しています。内訳を見ると、「家庭系ごみ」は、平成16年度からの家庭ごみの資源物収集拡充や戸別収集、有料化などを経て、減少傾向にあります。「事業系ごみ」は、平成27年度の清掃工場へのごみ持ち込み手数料改定などにより、令和元年度には平成16年度比で約6割にまで減少しています。

### ■リサイクル率の推移



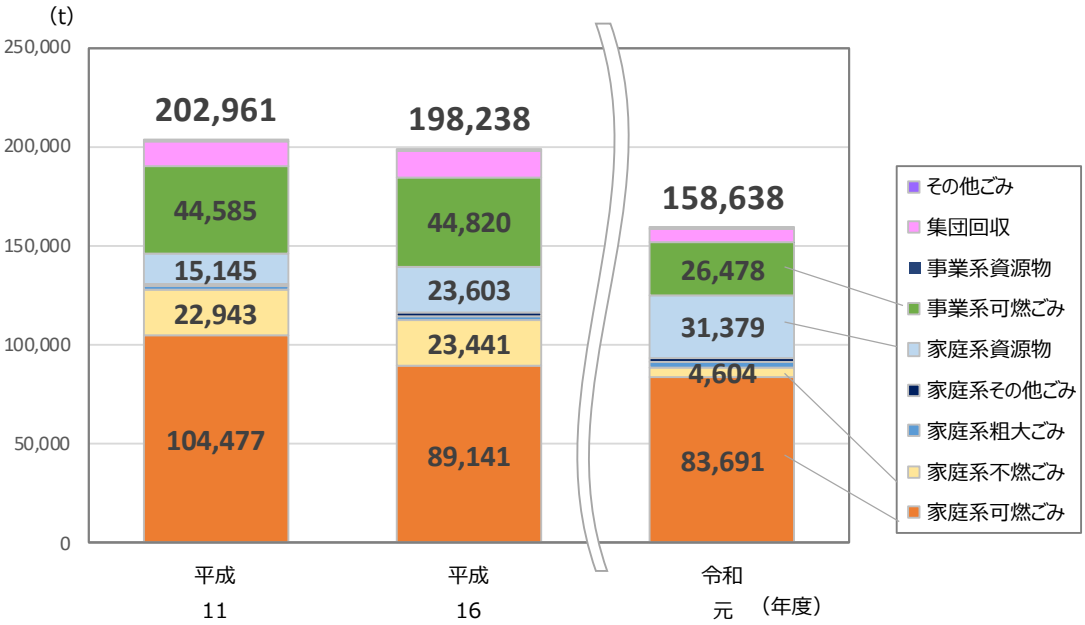

※平成16年10月から家庭系ごみの「資源物収集拡充」、「戸別収集」、「有料化」スタート

**リサイクル率**

総資源化率ともいい、収集や持ち込まれたごみのうちどれだけ資源化されたかの割合で、（資源物＋資源集団回収＋中間処理後資源物）÷（家庭系ごみ＋事業系ごみ＋資源物＋資源集団回収等）×100で算出。

【出典】ごみ減量対策課資料

### ■ごみ排出量の状況（内訳）




※平成16年10月から家庭系ごみの「資源物収集拡充」、「戸別収集」、「有料化」スタート

【出典】ごみ減量対策課資料

- 本市は水資源が豊かで、多くの湧水に恵まれています。なかでも、叶谷榎池公園、子安神社、六本杉公園、片倉城跡公園、小宮公園は、東京都の名湧水に選定されています。

## ■八王子市の湧水と東京都の名湧水に選定されている湧水

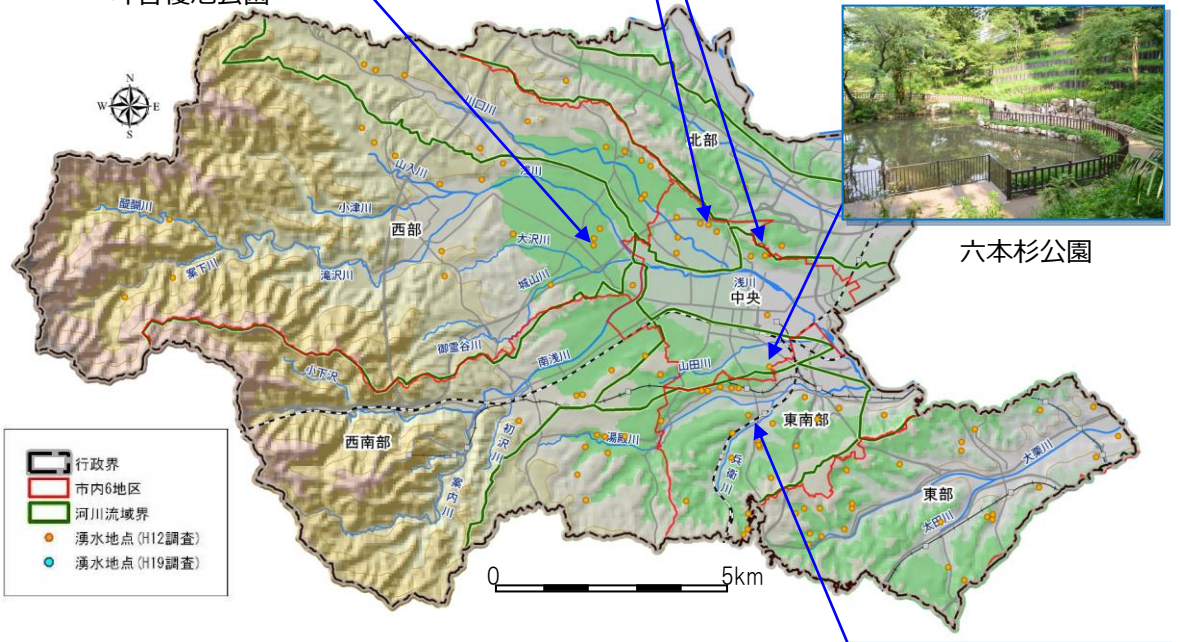
叶谷榎池公園

子安神社（中野山王）

小宮公園



六本杉公園



片倉城跡公園

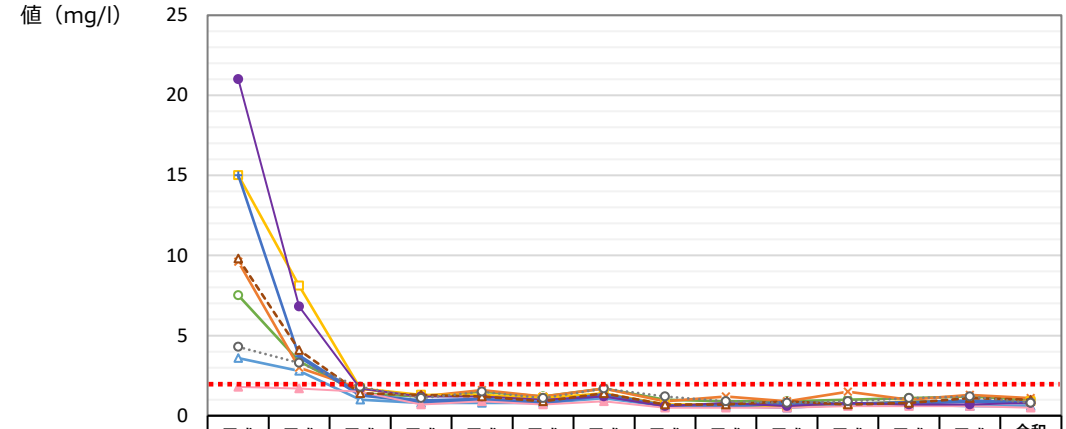
| 八王子市の湧水と東京都の名湧水に選定されている湧水 | | |
|---|---|---|
| 叶谷榎池 | 八王子市<br>叶谷町1079 | 湧水量豊富。地域に親しまれる。湧水点付近にシンボルとなる樹齢数百年の榎があり、景観的に優れている。 |
| 子安神社 | 八王子市<br>中野山王2-23 | 古くから「明神様の泉」として地域に親しまれる。水量豊富。生活用水（野菜等の洗い場）として利用。 |
| 六本杉公園 | 八王子市<br>子安町2-22 | 八王子駅南口周辺の住宅地にあり、斜面下から湧き出た湧水が池と一体となって整備されている。八王子八十八景の一つ。 |
| 片倉城跡公園 | 八王子市<br>片倉町2475 | 城跡の崖下の数ヶ所から湧き出し、大小の池を潤している。雑木林のカタクリを始め、湧水を生かした水車、湿性植物、菖蒲田、カワセミなど見所が多い。 |
| 小宮公園 | 八王子市<br>暁町2－41－6 | 雑木林の崖の中腹から湧き出た水がせせらぎをつくり、弁天池に注いでいる。雑木林の間を木道が走り、四季の草花や生き物を楽しみながら散策できる。 |

【出典】表：東京都環境局ホームページ
図：八王子市水循環計画

## （9） 環境・ごみ

- 河川の水質汚濁の指標である「BOD」を見ると、平成20年度以降、市内の全ての観測地点（9か所）で環境基準を達成しており、良好な水質を維持しています。

### ■河川の観測地点におけるBOD75%値の経年変化




| | 平成10 | 平成15 | 平成20 | 平成21 | 平成22 | 平成23 | 平成24 | 平成25 | 平成26 | 平成27 | 平成28 | 平成29 | 平成30 | 令和元 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 谷地川 | 7.5 | 3.4 | 1.4 | 1.2 | 1.5 | 1.2 | 1.7 | 1 | 0.9 | 0.9 | 1 | 1.1 | 1.2 | 1 |
| 浅川（北浅川） | 3.6 | 2.8 | 1 | 0.8 | 0.8 | 0.8 | 1.1 | 0.6 | 0.6 | 0.5 | 0.7 | 0.7 | 0.6 | 0.6 |
| 浅川 | 9.6 | 3 | 1.7 | 1.2 | 1.6 | 1.2 | 1.7 | 0.9 | 1.2 | 0.9 | 1.5 | 1 | 1.3 | 1.1 |
| 城山川 | 15 | 8.1 | 1.7 | 1.3 | 1.3 | 1.1 | 1.4 | 0.7 | 0.7 | 0.6 | 0.7 | 0.9 | 0.9 | 0.9 |
| 南浅川 | 15 | 3.7 | 1.3 | 0.9 | 1 | 0.8 | 1.3 | 0.6 | 0.6 | 0.8 | 0.7 | 0.8 | 0.9 | 0.8 |
| 案内川 | 1.8 | 1.7 | 1.5 | 0.7 | 0.9 | 0.7 | 0.9 | 0.5 | 0.5 | 0.5 | 0.6 | 0.6 | 0.6 | 0.5 |
| 川口川 | 21 | 6.8 | 1.7 | 1.2 | 1.2 | 1 | 1.2 | 0.6 | 0.8 | 0.6 | 0.8 | 0.7 | 0.7 | 0.8 |
| 湯殿川 | 9.8 | 4.1 | 1.4 | 1.3 | 1.2 | 0.9 | 1.4 | 0.7 | 0.7 | 0.9 | 0.7 | 0.8 | 1.1 | 1 |
| 大栗川 | 4.3 | 3.3 | 1.8 | 1.1 | 1.5 | 1.1 | 1.7 | 1.2 | 0.9 | 0.8 | 0.9 | 1.1 | 1.2 | 0.8 |

（年度）

赤の点線が環境基準（A類型（２mg/l）を示す。水質が改善するとともに、全ての測定地点（９か所）で環境基準（A類型）を下回っていることを示す。

【出典】八王子市水循環計画掲載図資に令和元年度データ（水環境整備課資料）を加え作成

**BOD**

生物化学的酸素要求量（Biochemical Oxygen Demand）の略で、河川の水質汚濁の指標として用いられます。水を汚している有機物を微生物（好気性バクテリア）が酸化分解するときに必要とする酸素量で、有機物の量を表した値。また、微生物の代わりに化学物質の酸化剤を用いて測定するCOD（Chemical Oxygen Demand）も、水質汚濁の指標として使用されることがあります。

**BOD 75%値**

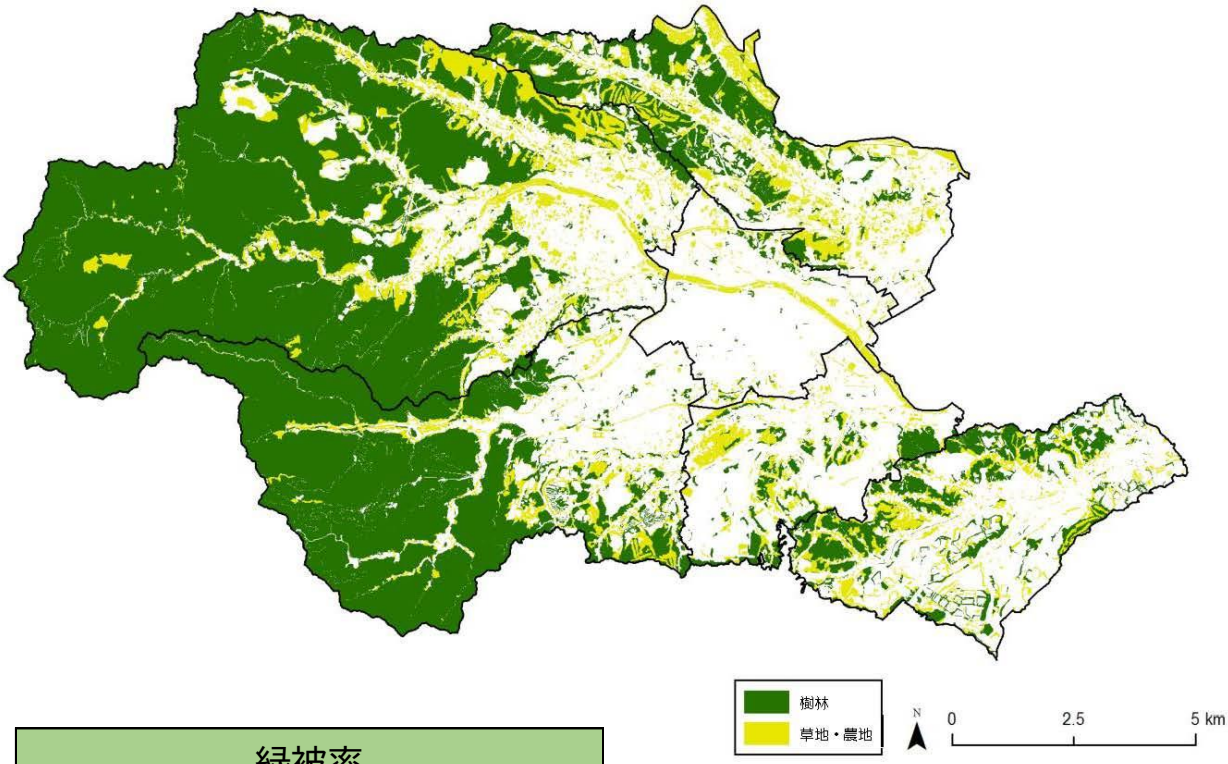
n個のBODの日間平均値を数値の小さいものから並べたとき0.75×n番目にくる数値で、BODの環境基準の達成状況は75%水質値で見ます。

**環境基準**

環境基本法により国が定めているもので、「人の健康を保護し、及び生活環境を保全する上で維持されることが望ましい」とされている基準のこと。

- ある区域における緑に覆われた面積の割合を示す「緑被率」を見ると、平成19年度から平成29年度にかけて、市内6地域全てにおいて減少しています。特に、北部地域と東部地域では4ポイント程度と減少が大きくなっています。

■緑被の状況




| 緑被率 | | | |
|---|---|---|---|
| 地域 | H19年度 | H29年度 | 増減 |
| 中央 | 10.4% | 9.3% | -1.1 |
| 北部 | 51.9% | 47.8% | -4.1 |
| 西部 | 77.4% | 76.3% | -1.1 |
| 西南部 | 73.3% | 72.0% | -1.3 |
| 東南部 | 27.0% | 25.3% | -1.7 |
| 東部 | 36.8% | 33.0% | -3.8 |
| 市全域 | 61.0% | 58.4% | -2.6 |

**緑被率**

ある区域における緑に覆われた面積の割合のことで、緑の量を把握するための指標として用いられます。緑には、樹林、草地・農地、宅地内（屋上緑化を含む）や公園の樹木や芝地、街路樹などが含まれます。

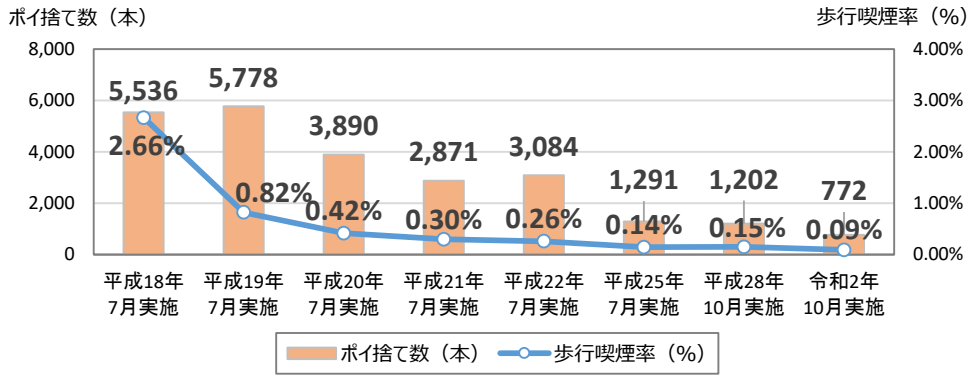
【出典】八王子市みどりの基本計画　令和2年（2020年）3月

## （9） 環境・ごみ

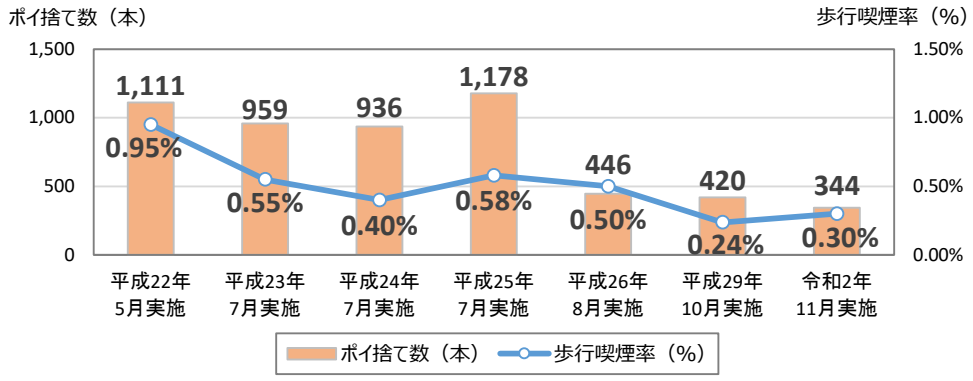
- 市内各駅周辺の「たばこポイ捨て数」、「歩行喫煙率」は、おおむね減少傾向にあります。
- 「歩行喫煙率」は、各駅周辺ともに、最新年の調査では1%を大きく下回っています。

### ■喫煙者等実態調査結果の推移（平成19年1月1日『八王子市路上喫煙の防止に関する条例』施行）

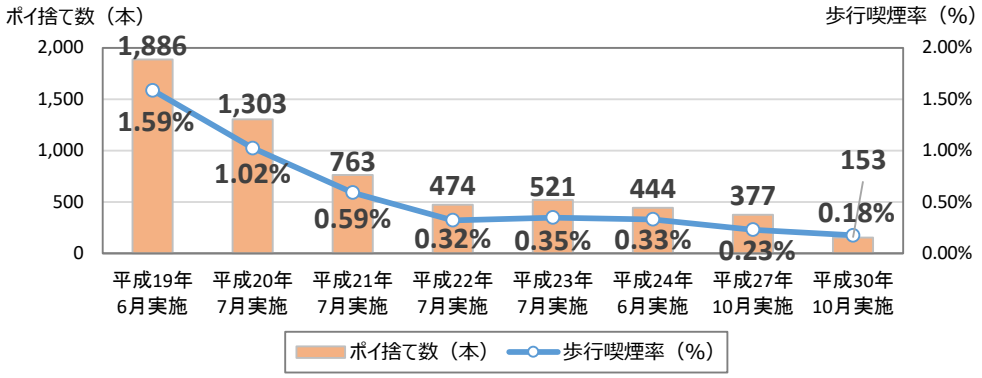
#### ●八王子駅北口周辺（平成19年4月1日から禁止地区に指定）




#### ●八王子駅南口周辺（平成22年11月25日から禁止地区に指定）

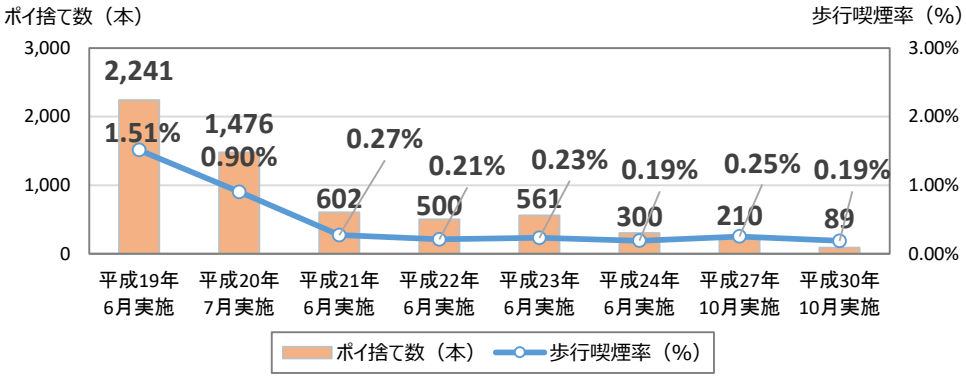



#### ●西八王子駅周辺（平成21年4月1日から禁止地区に指定）

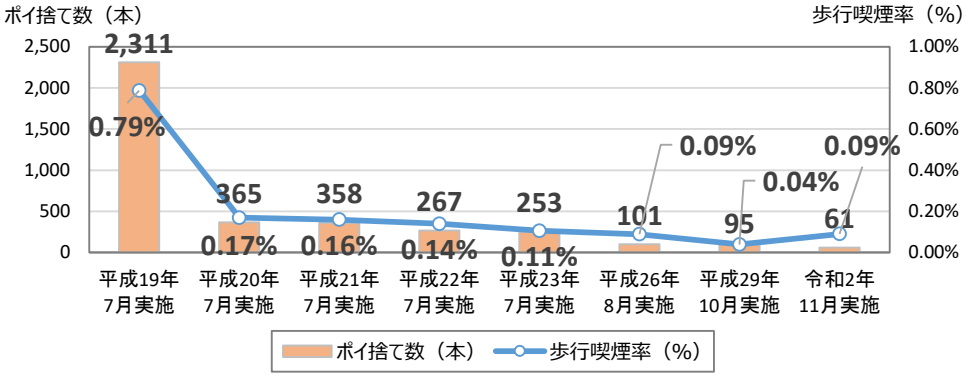



【出典】環境政策課資料

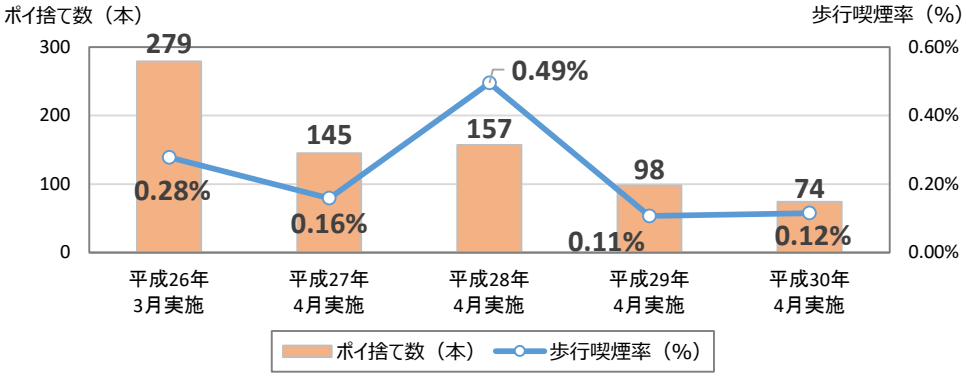
## ●高尾駅周辺（平成21年4月1日から禁止地区に指定）



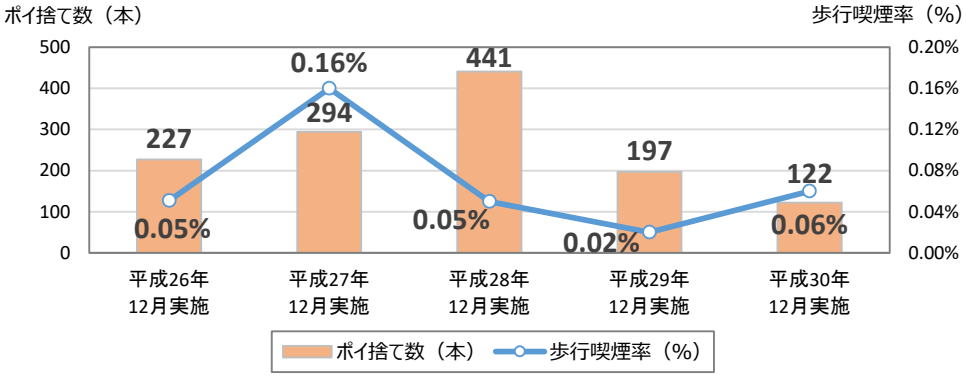

## ●南大沢駅周辺（平成20年4月1日から禁止地区に指定）




## ●八王子みなみ野駅周辺




## ●京王堀之内駅周辺

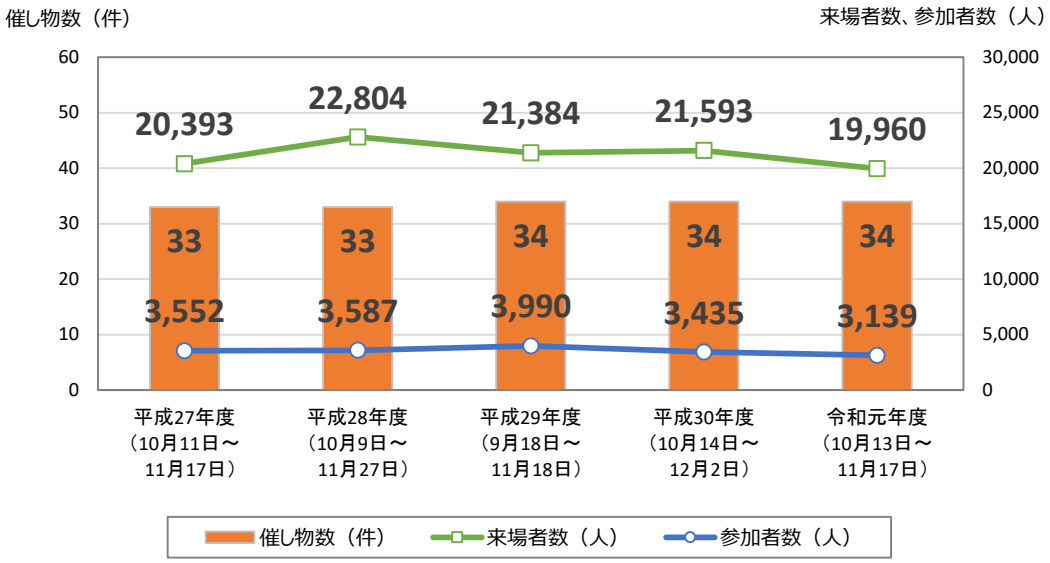



【出典】環境政策課資料

# （10） 文化・芸術

- 毎年秋に開催している「市民文化祭」での催し物数は、ほぼ横ばいで推移しています。一方、来場者数は平成28年度をピークに減少傾向となっています。
- 「伝統芸能」は、「八王子車人形」「説経浄瑠璃」「獅子舞」「木遣」などがあります。

## ■市民文化祭の実績（推移）




【出典】学園都市文化課資料

## ■伝統芸能

◇説経浄瑠璃

◇木遣（きやり）

【出典】八王子ビジョン2022（2018基本計画改定版）

- 「指定文化財」の数は262件です。

## ■文化財の指定状況

令和2年（2020年）3月末現在

| 指定区分（数） | 種別（数） | | 数 | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| 国指定（9） | 史跡 | | 5 | 城跡（2）関所跡（1）集落跡（2） |
| | 重要文化財 | | 4 | 書跡（1）工芸品（3） |
| 都指定（45） | 有形文化財（25） | 建造物 | 7 | 寺院建造物（6）厨子（1） |
| | | 絵画 | 2 | 屏風（2） |
| | | 彫刻 | 10 | 仏像（10） |
| | | 工芸品 | 1 | 軍船模型（2艘，文書とも）（1） |
| | | 古文書 | 3 | 日記稿本（1）名主家文書（1）寺院文書（1） |
| | | 考古資料 | 2 | 経塚出土品（1）方形周溝墓出土品（1） |
| | 有形民俗文化財 | 民俗資料 | 1 | 農家構え（1） |
| | 無形文化財 | 芸能 | 2 | 説経浄瑠璃（1）八王子車人形（1） |
| | 史跡 | | 2 | 寺域（1）城跡（1） |
| | 旧跡 | | 12 | 古墳（1）墓（9）ほか |
| | 天然記念物 | | 3 | 並木（1）樹木（2） |
| 市指定（208） | 有形文化財（153） | 建造物 | 2 | 山門（1）社殿（1） |
| | | 絵画 | 3 | 掛軸（2）図巻（1） |
| | | 彫刻 | 4 | 仏像（2）肖像（2） |
| | | 工芸品 | 34 | 仏像（3）梵鐘（3）山車（12）懸仏（2）ほか |
| | | 刀剣 | 78 | 大小組（4）ほか |
| | | 考古資料 | 3 | 発掘資料（3） |
| | | 古文書 | 22 | 千人同心関係（7）村方文書（2） ほか |
| | | 歴史資料 | 7 | 写真原板（1）肖像画（2）石塀（1） ほか |
| | 無形民俗文化財（11） | 郷土芸能 | 10 | 獅子舞（9）木遣（1） |
| | | 風俗習慣 | 1 | セエノカミ（1） |
| | 有形民俗文化財 | 民俗資料 | 10 | 板碑（5）宝篋印塔（3）木額（1）石仏（1） |
| | 史跡 | | 20 | 古代遺跡（2）城跡（1）ほか |
| | 天然記念物 | | 11 | 並木（1）樹木（10） |
| | 旧跡 | | 3 | 古戦場（1）屋敷跡（1）蛙合戦の旧地（1） |
| | | 計 | 262 | |

【出典】はちおうじの教育統計

## （10） 文化・芸術

- 令和2年6月に、桑都・八王子の歴史文化を高尾山との結びつきで物語るストーリー「霊気満山 高尾山 ～人々の祈りが紡ぐ桑都物語～」が、都内で唯一の「日本遺産」に認定されました。
- 「日本遺産」は、ストーリーを語る上で欠かせない魅力溢れる有形・無形の様々な文化財を、地域が主体となって総合的に整備・活用し、国内だけでなく海外へも戦略的に発信していくことにより、地域の活性化を図ることを目的として、文化庁が認定しています。

**■日本遺産**

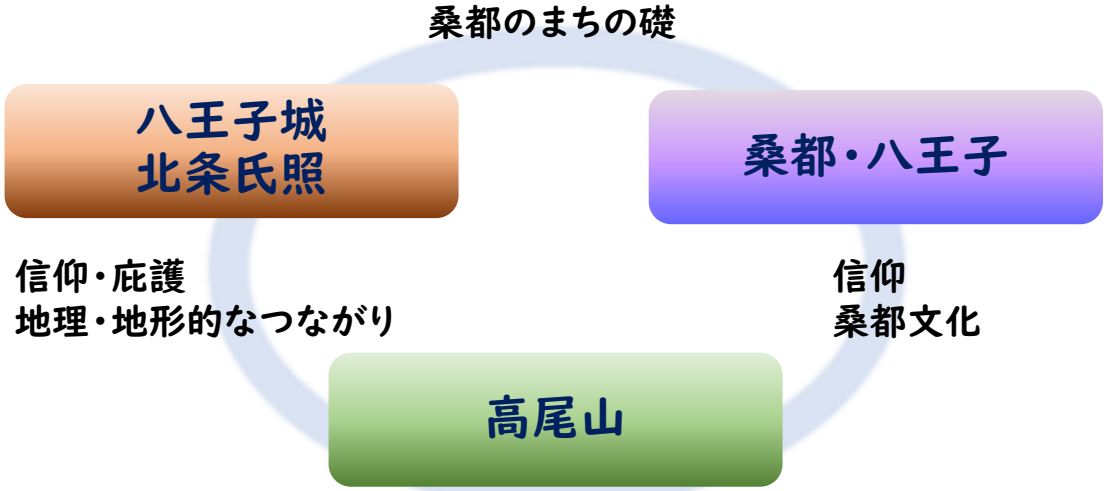
## ◇認定ストーリーの検討過程

### ●テーマの検討と絞り込み

| 検討案 | 絞り込み | 決定 |
|---|---|---|
| 北条氏照と八王子城 | 北条氏照と八王子城 | 霊気満山<br>高尾山<br><br>～人々の祈りが紡ぐ<br>桑都物語～ |
| 千人同心の活躍 | 千人同心と八王子宿 | |
| 八王子宿の発展 | | |
| 絹産業の発展と<br>関連文化の伝承 | 織物のまち・八王子 | |
| 横浜開港後の外国人遊歩 | | |
| 自然と信仰の高尾山 | 高尾山<br>（自然・歴史文化・観光） | |
| 東日本唯一の陵墓<br>（多摩御陵） | | |

（他）

### ●ストーリーの構成の検討




※「テーマ絞り込み」「構成の検討」のポイント＝認定審査基準

| | |
|---|---|
| 興味深さ | ：人々が関心を持ったり惹きつけられたりする内容になっているか。 |
| 斬新さ | ：あまり知られていなかった点や隠れた魅力を打ち出しているか。 |
| 訴求力 | ：専門的な知識がなくても理解しやすい内容となっているか。 |
| 希少性 | ：他の地域ではあまり見られない稀有な特徴があるか。 |
| 地域性 | ：地域特有の文化が現れているか。 |

【出典】文化財課（日本遺産推進担当）資料

●認定に至った評価のポイント（日本遺産審査委員会）

- 東京を代表する国際観光地・高尾山を「桑都」と結びつけてストーリー化した点が興味深い。
- 訪日外国人の誘客につながる構成資産を有し、興味をひく体験の環境が整備されている。
- 歴史文化基本構想と文化財保存活用地域計画（策定中）に基づき、長い時代と広域にまたがる地域の歴史文化資源を計画的に保存・活用しようとするビジョンに優れている。

◇日本遺産の認定を機に目指すもの

**「日本遺産」の認定にふさわしい、地域振興や観光振興のための基盤整備**

・日本遺産認定はゴールではなく、スタート。
・地元住民と来街者双方の立場からの地域づくりを進める。
・民間事業者を巻き込んだ持続可能な事業実施体制の充実を図る。

**歴史文化を活かしたまちづくりの推進**

・八王子城、滝山城、北条氏照の認知度の向上。
・日本遺産認定ストーリー構成文化財の活用による地域の活性化。
・地域住民が主体的に参画することのできる観光まちづくりの推進。
・地場産業の活性化による、地域経済の向上。
・市民のシビックプライドの醸成。
・様々な主体のつながりによる地域活動の活性化。

**「高尾山」だけが認定されたものではなく、「桑都・八王子」の歴史文化を語るストーリーが認定されました。**

↓

**市全域で暮らす（住む、学ぶ、働く、活動する）すべての人の、身近なところにある歴史文化資源を守り、活用し、伝えるために、「日本遺産」を活用していきます。**

【出典】文化財課（日本遺産推進担当）資料

## ◇日本遺産認定ストーリー

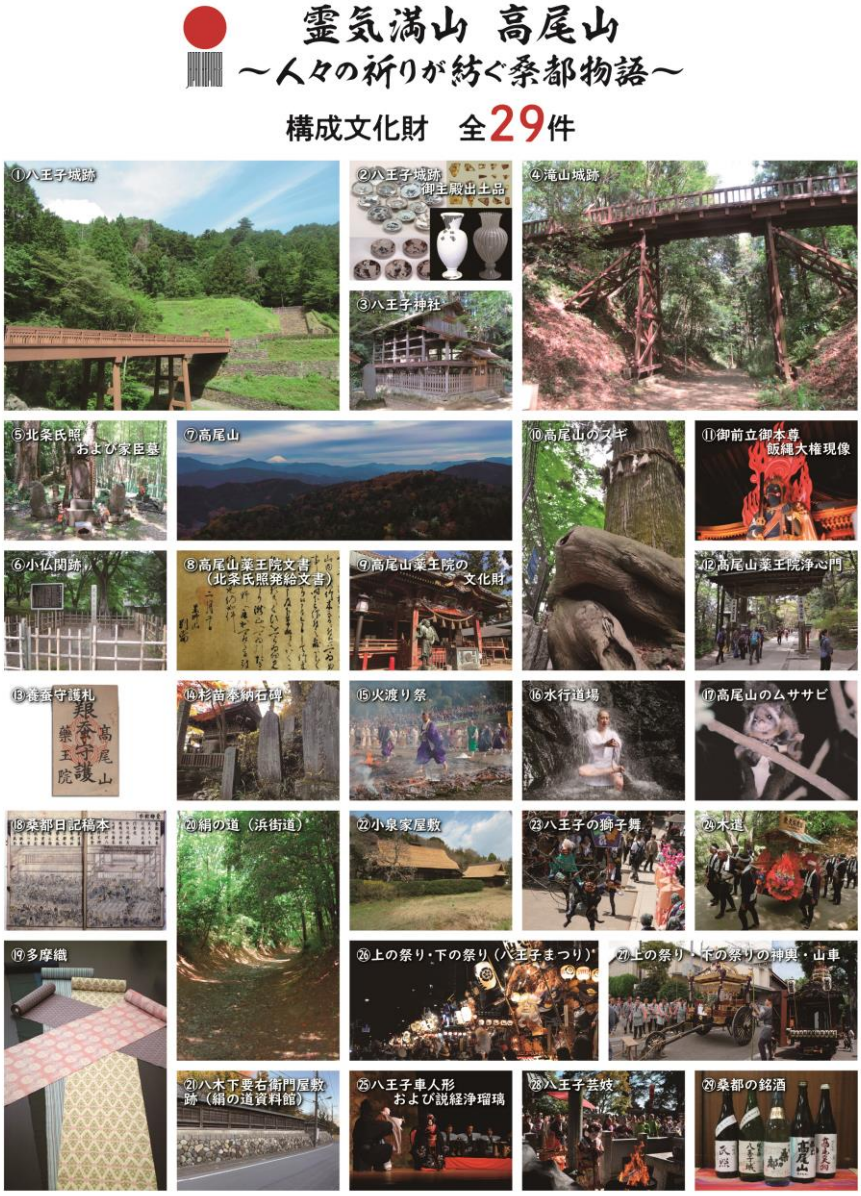
### ●概要

八王子は、養蚕や織物が盛んだったことから「桑都」と称されました。甲州道中最大の宿場町となり、さまざまな文化を育みながら発展してきたまちの礎は、戦国時代末期に関東の覇権を握った北条氏の名将・北条氏照が、城下町を築いたことに遡ります。

桑都の発展を支えた養蚕農家や絹商人は、氏照が武運を祈願し、いにしえより人々が霊山として崇めてきた高尾山を信仰し、大切に護ってきました。

高尾山では、今も人々の祈りとともに、江戸時代に花開いた桑都の伝統文化が連綿と受け継がれています。

### ●構成文化財

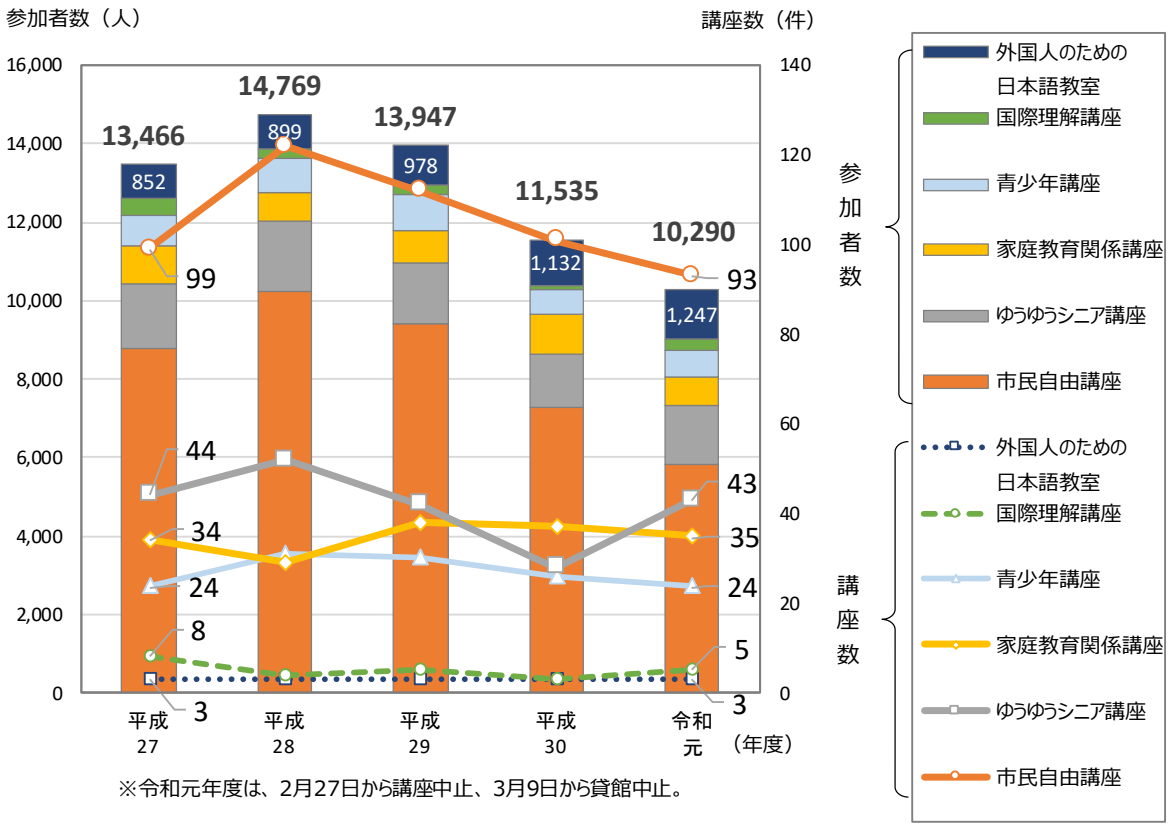



【出典】文化財課（日本遺産推進担当）資料

# （11） 生涯学習・スポーツ

- 「生涯学習センターの講座への参加者数」は、平成28年度をピークに減少傾向にありますが、「外国人のための日本語講座」の参加者数は増加しています。
- 「生涯学習活動をしている市民の割合」は、平成16年度からおおむね横ばいで推移しています。

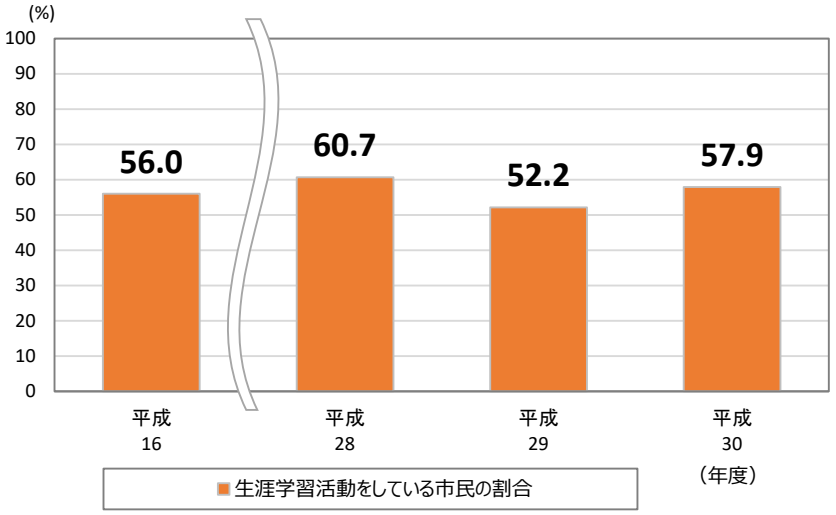
## ■生涯学習センターの講座数・参加者数（推移）




※令和元年度は、2月27日から講座中止、3月9日から貸館中止。

【出典】はちおうじの教育統計

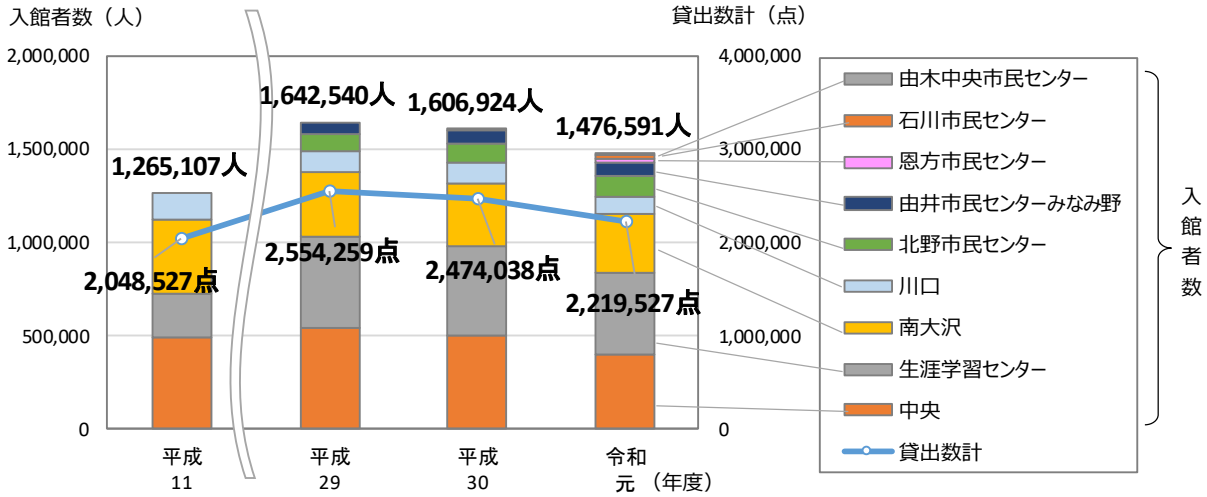
## ■生涯学習活動をしている市民の割合（推移）




【出典】八王子ゆめおりプラン実行編、八王子ビジョン2022アクションプラン

- 「図書館の入館者数」は、減少傾向にある施設が多く、全体としても減少しています。これに伴い、貸出数の合計も減少傾向にあります。
- 令和元年度の「地区図書室の利用者・貸出冊数」は、図書室によって大きな違いが見られます。

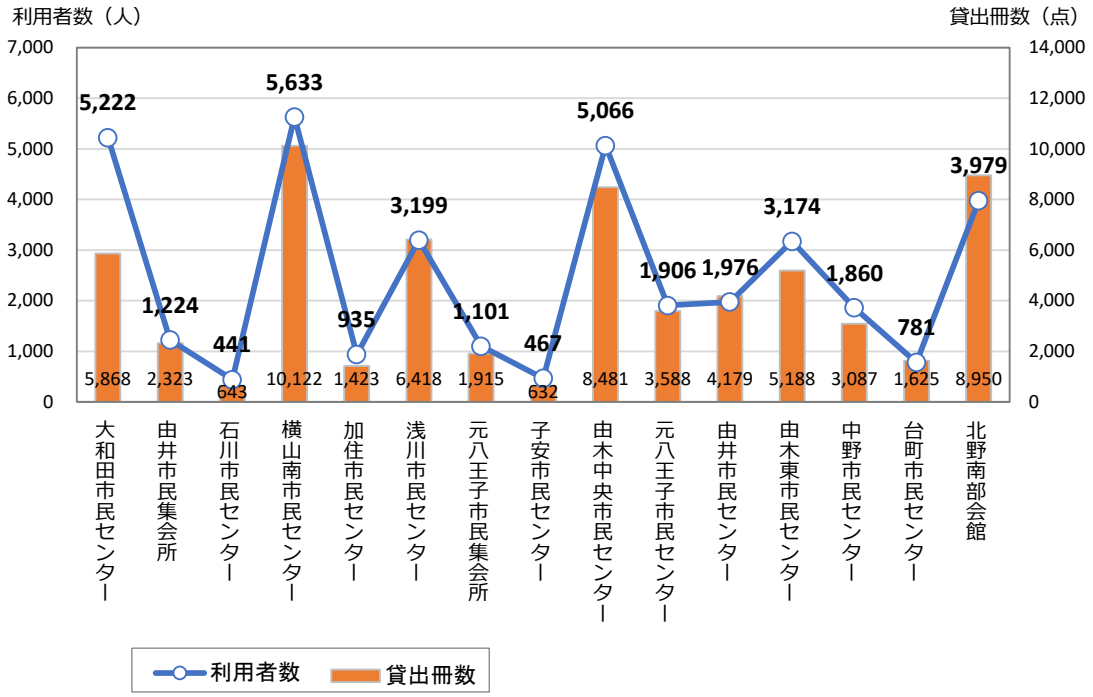
## ■図書館の利用状況




※令和元年度は、3月3日から予約資料の受取のみの対応、3月27日～29日閉館。

【出典】はちおうじの教育統計

## ■地区図書室の運営状況（令和元年度）




【出典】協働推進課資料

## （11） 生涯学習・スポーツ

- 「総合型地域スポーツクラブ」は、計19団体あります。
- 「スポーツ施設利用者数」は、平成28年度が最も多く、以降減少し、直近3年間は横ばいになっています。

### ■総合型地域スポーツクラブ設立状況

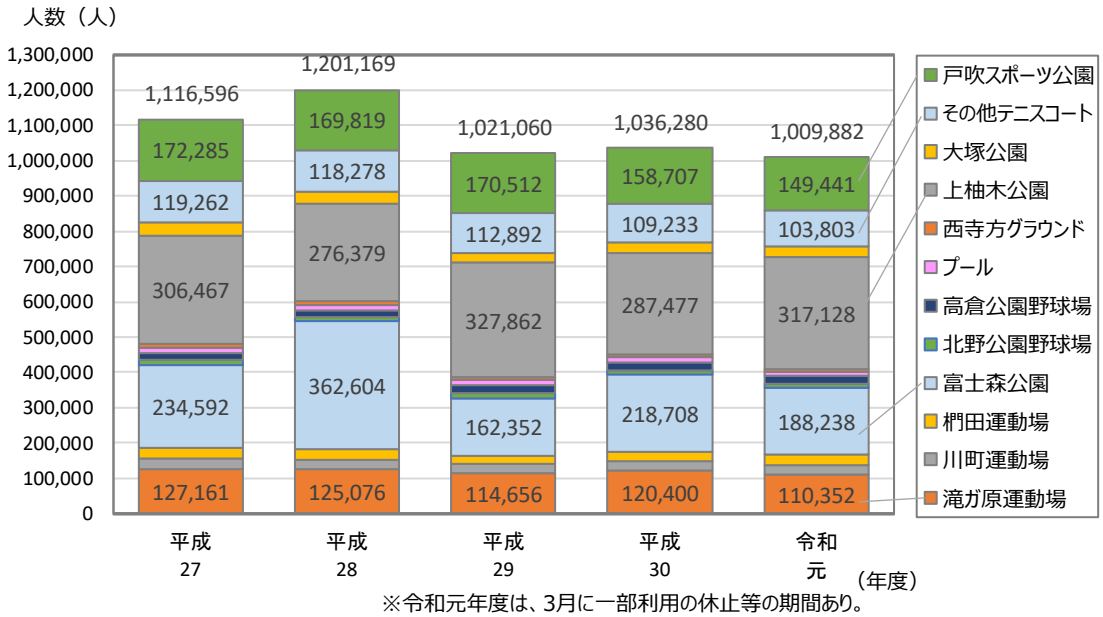
| 総合型地域スポーツクラブ設立状況（19団体） | | |
|---|---|---|
| 浅川地区総合型地域スポーツクラブ | 第八地区スポーツクラブ | 第四地区市民体力つくりの会 |
| 恩方夕やけスポーツクラブ | 横山南スポーツクラブ | 第2地区さわやか健康スポーツ推進連絡会 |
| 中野地区地域総合型スポーツクラブ | 子安地域スポーツクラブ | 元八王子東小地区総合型地域スポーツクラブ |
| NPO法人はちきたSC | 多摩ニュータウンスポーツクラブ | 第一地区スポーツクラブ |
| 横川総合型地域スポーツクラブ | 九小・二中地区スポーツクラブ | 弐分方小地区総合型地域スポーツクラブ |
| 八王子市陶鎔地区スポーツクラブ | 横山中部スポーツクラブ | |
| 第三地区スポーツクラブ | 加住地区総合型スポーツクラブ | |

**総合型地域スポーツクラブ**

文部科学省による総合型地域スポーツクラブの定義は、「種目、世代、技術レベルの多様性を有し、地域の住民が共通の理念のもとで自主財源により運営するスポーツクラブ」とされています。本市にはこの定義に則した団体がある一方で、種目の多様性は認められないものの、技術レベルや活動目的が多様であり、かつ地域住民による自主的な運営組織として活動している団体（多くは町会自治会が事実上の母体となっており、その活動の一つとして運営している）があります。

【出典】八王子市スポーツ推進計画

### ■市スポーツ施設利用者数の推移

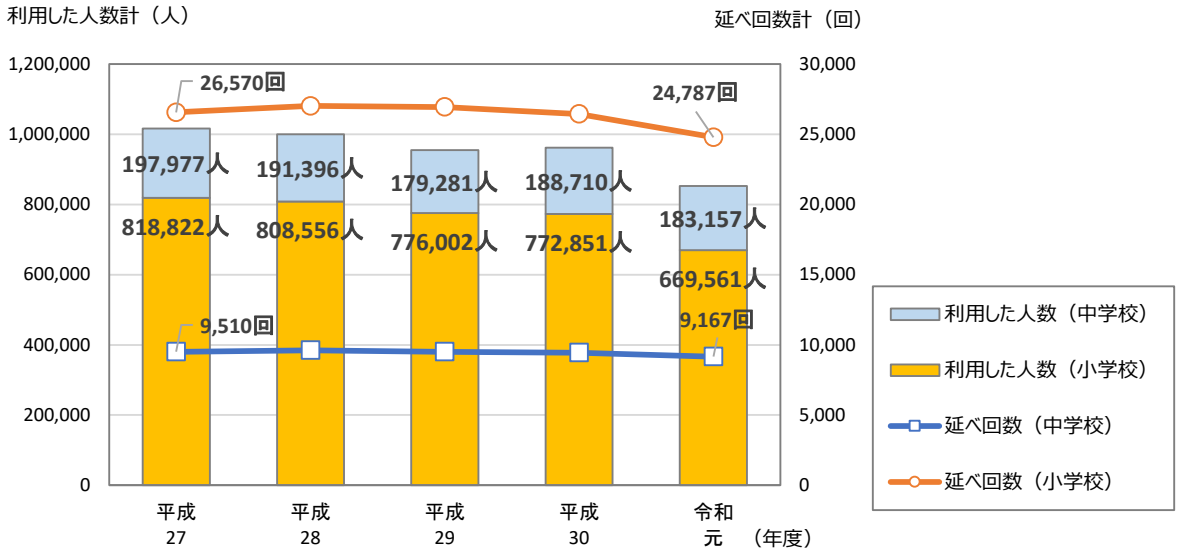



※令和元年度は、3月に一部利用の休止等の期間あり。

【出典】はちおうじの教育統計

● 「学校施設の開放状況」を見ると、利用した人数・利用回数は、横ばいの傾向にあります。

## ■学校施設の開放状況




※令和元年度は、3月5日から学校施設の開放を中止。

【出典】はちおうじの教育統計

# ３章

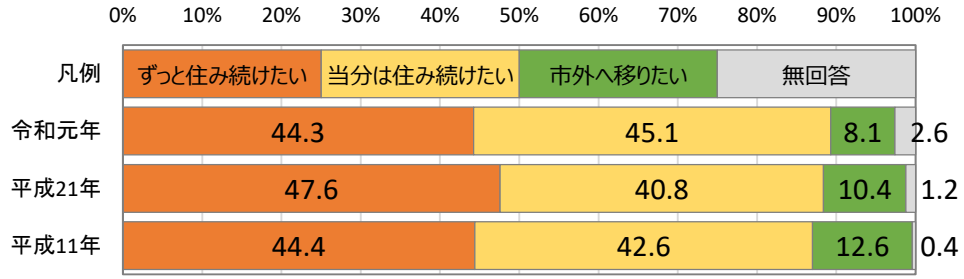
# 市民の意識データ

## （1） 定住意向

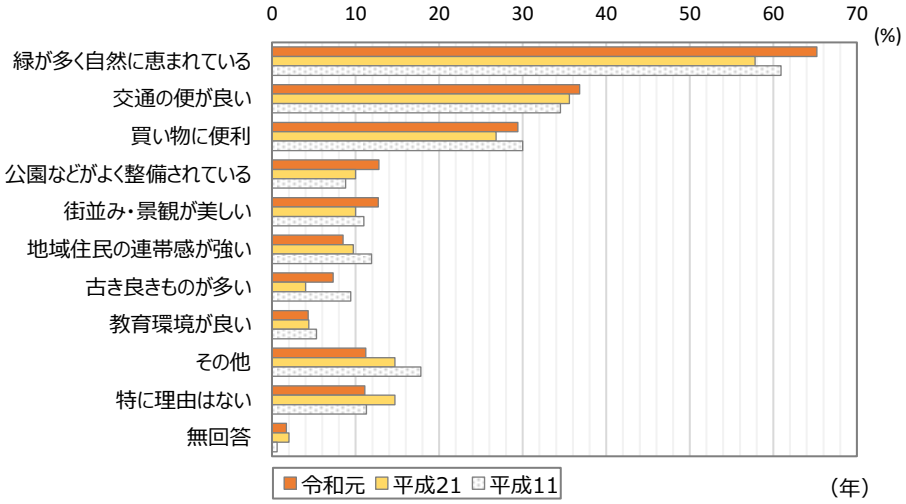
- 令和元年の「ずっと住み続けたい」割合は、平成21年の47.6%に比べて減少しているものの、「当分は住み続けたい」をあわせた八王子市への定住意向は89.4%で、平成21年の88.4%に比べて増加しています。また、「市外へ移りたい」割合は減少しています。
- 住み続けたい理由1位の「緑が多く自然に恵まれている」は、平成11年・平成21年に比べて令和元年が最も高い割合を示しました。また、市外に移りたい理由の1位である「交通の便が悪い」は、平成11年に比べると減少しています。

**■八王子市への定住意向、住み続けたい理由、市外に移りたい理由**

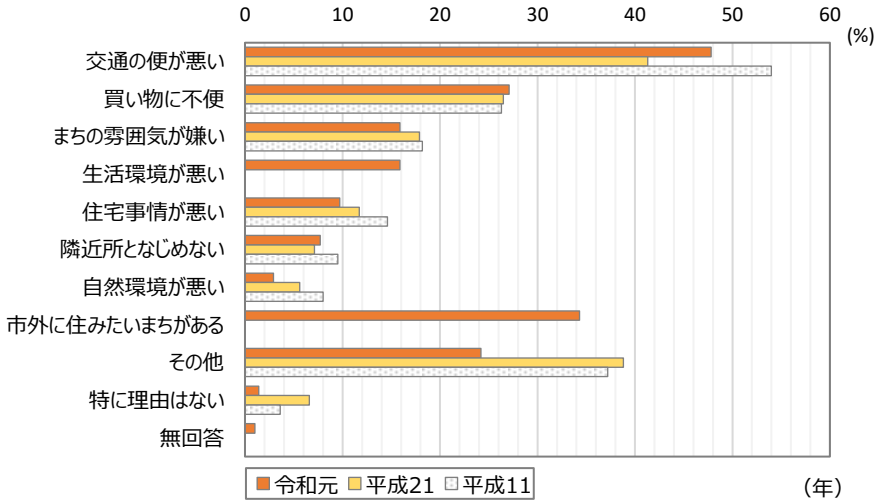
定住意向




住み続けたい理由




市外に移りたい理由

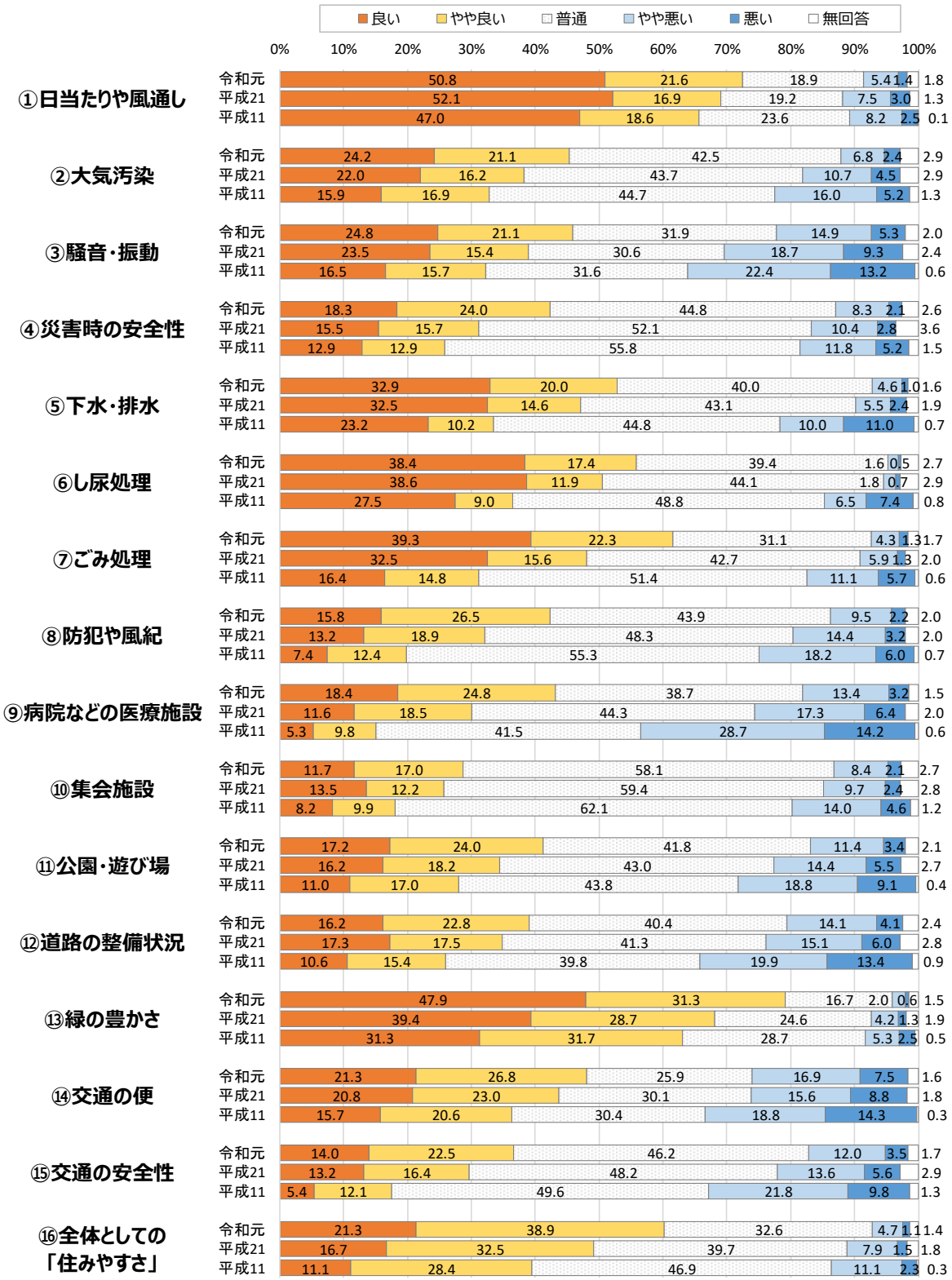



【出典】市政世論調査結果報告書

## （2） 生活環境の評価

- 生活環境の評価は、平成11年・平成21年と比べて、令和元年には、ほとんどの項目で「良い」の割合が増加しています。特に、「緑の豊かさ」、「ごみ処理」、「病院などの医療施設」、「全体としての「住みやすさ」」の項目において、大きく評価が上がっています。

### ■生活環境に関する評価の推移




【出典】市政世論調査結果報告書

## （3） 市政への要望

- 市政への重点施策要望は、近年「高齢者福祉」が最も高い割合になっており、「保健・医療」、「子ども・子育て支援」も高い割合になっています。また、「防災・減災対策」が上位の要望になっており、住民の意識が変化していることがわかります。

■市政への要望

| 市政への要望（重点施策要望） | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 順位 | 令和2年【速報値】 | 令和元年 | 平成21年 | 平成11年 |
| １位 | 高齢者福祉 | 高齢者福祉 | 高齢者福祉 | 保健医療 |
| | （34.7）％ | 36.9（36.3）％ | 32.6% | 33.6% |
| ２位 | 防災・減災対策 | 保健・医療 | 保健医療 | 高齢者福祉 |
| | （29.7）％ | 23.0（22.8）％ | 29.9% | 29.9% |
| ３位 | 保健・医療 | 防災・減災対策 | 財政の健全化 | 清掃事業（ごみ、し尿処理、リサイクル事業等） |
| | （24.1）％ | 21.9（21.8）％ | 24.1% | 17.9% |
| ４位 | 環境の保全 | 子ども・子育て支援 | 防犯対策 | 不法投棄・放置対策（自動車、自転車、バイク、ごみ等） |
| | （19.0）％ | 18.5（18.4）％ | 18.8% | 16.1% |
| ５位 | 子ども・子育て支援 | 環境の保全 | 介護保険 | 介護保険 |
| | （16.9）％ | 17.7（17.7）％ | 18.3% | 16.0% |
| ６位 | 防犯対策 | 防犯対策 | 少子化対策・子育て支援 | 学校教育 |
| | （14.2）％ | 14.7（14.8）％ | 16.9% | 15.9% |
| ７位 | 中心市街地活性化、商業振興 | 交通機関・駐車場の整備 | 社会福祉（ひとり親、低所得者） | 道路整備 |
| | （11.1）％ | 12.1（12.3）％ | 12.5% | 15.7% |
| ８位 | 暮らしの相談・支援 | 道路整備 | 学校教育 | 交通機関・駐車場の整備 |
| | （10.8）％ | 11.5（11.7）％ | 12.3% | 13.9% |
| ９位 | 道路整備 | 暮らしの相談・支援 | 行財政改革 | 防災対策 |
| | （9.9）％ | 10.3（10.2）％ | 10.4% | 13.1% |
| １０位 | 学校教育 | 中心市街地活性化、商業振興 | 緑の保全や公園の整備 | 青少年の健全育成 |
| | （9.7）％ | 10.1（10.2）％ | 9.9% | 12.6% |

※調査対象を20歳以上としていた平成27年（2015年）以前の調査結果と比較するため、令和元年（2019年）は、18歳及び19歳を除いた数値を使用している。
（令和２年及び元年の括弧内の数値は18歳及び19歳を含めた数値。）

【出典】市政世論調査結果報告書

## 索引（データ項目名と掲載ページ）


| | | |
|---|---|---|
| | 八王子市の概要・沿革等 | 1～4 |
| 基礎データ | 人口の推移 | 5 |
| | 将来人口推計 | 6 |
| | 5歳階級別人口構成割合（推計含む） | 7・8 |
| | 出生者数・死亡者数の推移 | 9 |
| | 出生率の推移 | 9 |
| | 未婚率の推移 | 10 |
| | 転入者数・転出者数の推移 | 11 |
| | 年齢別　転入者数・転出者数 | 11 |
| | 通勤流動（八王子市民の従業地） | 12 |
| | 通勤流動（八王子市で従業する就業者の居住地） | 12 |
| | 世帯数の推移 | 13 |
| | 家族類型別の構成割合の推移 | 13 |
| | 地域区分 | 14 |
| | 地域別　人口・世帯数・1世帯当たりの人員の推移 | 15 |
| | 地域別　人口構成 | 16 |
| | 地域別　世帯の家族類型の割合（推移含む） | 17・18 |
| | 地域別　6歳未満・65歳以上のいる世帯の割合（推移含む） | 19・20 |
| | 地域別　将来人口推計 | 21・22 |
| | 町丁別　人口密度 | 23 |
| | 町丁別　老年人口割合 | 23 |
| | 一般会計【歳入】歳入決算額の推移 | 24 |
| | 一般会計【歳入】市税収入額の推移 | 24 |
| | 一般会計【歳入】市債借入額の推移 | 25 |
| | 全会計【歳入】市債現債額と基金現在高の推移 | 25 |
| | 一般会計【歳出】義務的経費の推移（性質別） | 26 |
| | 一般会計【歳出】扶助費の推移（性質別） | 26 |
| | 財政健全化判断指標 | 27 |
| | 八王子市職員数の推移 | 27 |
| | 関東の中核市との職員数比較 | 27 |
| | 八王子の1日（コラム） | 28 |
| 地域・暮らし | 町会・自治会加入世帯数及び加入率の推移 | 29 |
| | 隣近所や地域と交流やつながりがあると感じている市民の割合（推移） | 29 |
| | 市民センターの利用状況 | 30 |
| | 市民活動支援センターに登録している分野別団体数 | 30 |
| | 「市民協働によるまちづくり」に参加している市民の割合（推移） | 31 |
| | 消費生活相談（相談件数の推移、内訳） | 31 |
| | 町丁別空き家数状況 | 32 |
| | 建物を利用しなくなった理由及び建物の状態等（空き家） | 33 |
| | 地域防犯リーダーの数の推移 | 33 |
| | 市内刑法犯認知件数の推移 | 34 |
| | 町丁別　市内刑法犯認知件数状況 | 34 |
| | 女性のための相談件数の推移 | 35 |
| | ワークライフバランスの現状 | 35 |
| | 外国人人口と割合の推移、国籍別状況 | 36 |
| | 留学生数の推移 | 36 |
| | 市政情報の入手方法 | 37 |
| | 電子申請利用状況 | 38 |
| 福祉 | 生活困窮者の新規相談受付件数の推移 | 39 |
| | 生活保護の状況（人員、世帯、保護率） | 39 |
| | 就学援助の認定状況 | 39 |
| | 本市における「包括的な相談・支援体制」のイメージ | 40 |
| | 地域での交流や活動を通して生きがいを感じている高齢者の割合（推移） | 40 |
| | 障害種別ごとの障害者数（手帳所持者数）の推移 | 41 |
| | 要介護（要支援）認定者数の推移 | 42 |
| | 老年人口（65歳以上）の長期的な見通し | 42 |
| | 地域資源の状況 | 43 |
| 健康・医療 | 各被保険者数と国民健康保険保険給付費の推移 | 44 |
| | 主要死因の年次推移 | 44 |
| | 特定健康診査受診率の推移 | 45 |
| | かかりつけ医を決めている市民の割合（推移） | 45 |
| | 病院等施設数の推移 | 46 |
| | 八王子版ネウボラのしくみ | 46 |
| 子ども | 保育所等・学童保育所の在籍児童数と待機児童数の推移 | 47 |
| | 保育所等・学童保育所の待機児童の分布状況 | 48 |
| | 就学前児童数及び保育所等申込率の推移 | 49 |
| | 子どもと家庭に関する総合相談件数の推移 | 50 |
| | 放課後子ども教室実施状況等一覧 | 51 |
| | 子ども家庭支援ネットワーク中学校区分科会の開催校数（推移） | 51 |
| | ファミリー・サポート・センターの提供会員数（推移） | 52 |
| | 子どもたちが地域の人に見守られながら成長していると感じている市民の割合（推移） | 52 |
| | 年齢別就業者比率（平成27年） | 53 |

| | | |
|---|---|---|
| 教育 | 市立小・中学校の児童・生徒数と小・中学校数の推移 | 54 |
| | 各市立小・中学校及び特別支援学級（固定）の児童・生徒数 | 55 |
| | 学校施設　建築年数別校数・割合 | 56 |
| | 学校運営協議会の設置年度 | 56 |
| | 学校安全ボランティア登録者数の推移 | 57 |
| | スクールガード・リーダー巡回指導回数等の推移 | 57 |
| | 学校と地域が連携して行う取組数の推移 | 57 |
| | 学校と地域が協力して子どもを育てていると感じている市民の割合（推移） | 57 |
| | 市内高等学校の生徒数の推移 | 58 |
| | 市内高等学校生徒の卒業後の状況 | 58 |
| | 市内大学等の学生数・教員数の推移 | 59 |
| | 八王子と連携する26大学等 | 59 |
| 都市計画・都市インフラ | 居住誘導区域及び都市機能誘導区域 | 60 |
| | 交通事故件数の状況 | 61 |
| | 主な幹線道路の整備図 | 61 |
| | 公共交通徒歩圏と居住者分布 | 62 |
| | シェアサイクル実証実験 | 63 |
| | 自転車駐車場の利用率（推移） | 63 |
| | 市内各駅の乗車人員（1日平均）の推移 | 64 |
| | 都市間交通網の構想図 | 64 |
| | 定期路線バスの系統数及び乗客数（推移） | 65 |
| | 公共交通の利便性の満足度（推移） | 65 |
| | 市民1人当たりの都市公園面積（推移） | 66 |
| | 公園アドプト活動団体数と登録人数の推移 | 66 |
| 防災 | 市施設耐震化率（学校除く）の推移 | 67 |
| | 特定緊急輸送道路沿道建築物の耐震化率（推移） | 67 |
| | 市内緊急輸送道路図 | 67 |
| | 年最大時間雨量の変化 | 68 |
| | 自主防災組織結成町会・自治会数及び結成率の推移 | 68 |
| | 1年間のうちに防災訓練に参加したことがある市民の数（推移） | 69 |
| | 市内の災害拠点病院、災害拠点連携病院及び市内緊急医療救護所 | 69 |
| | 八王子市消防団分団分布図 | 70 |
| | 八王子市消防団団員数及び火災出動件数の推移 | 70 |
| 産業 | 企業立地支援条例による業種別指定数の推移 | 71 |
| | 有効求人倍率の推移 | 71 |
| | 製造業事業所数・従業員数の推移 | 72 |
| | 製造業事業所数 | 72 |
| | 製造業従業員数 | 73 |
| | 製造業製造品出荷額等 | 73 |
| | 小売店舗事業所数及び従業員数の推移 | 74 |
| | 小売店舗年間商品販売額及び売り場面積の推移 | 74 |
| | 市内への観光客数の推移及び主な観光資源 | 75 |
| | 農業産出額の推移 | 76 |
| | 認定農業者数の推移 | 76 |
| | 耕地面積の推移 | 77 |
| | 生産緑地地区の推移 | 77 |
| 環境・ごみ | 環境啓発活動の状況 | 78 |
| | 市内の部門別$CO_2$排出量の推移 | 78 |
| | 八王子市の猛暑日・真夏日の経年変化 | 79 |
| | 1人1日当たりのごみの総排出量（推移） | 79 |
| | リサイクル率の推移 | 80 |
| | ごみ排出量の状況（内訳） | 80 |
| | 八王子市の湧水と東京都の名湧水に選定されている湧水 | 81 |
| | 河川の観測地点におけるBOD75%値の経年変化 | 82 |
| | 緑被の状況 | 83 |
| | 喫煙者等実態調査結果の推移 | 84・85 |
| 文化・芸術 | 市民文化祭の実績（推移） | 86 |
| | 伝統芸能 | 86 |
| | 文化財の指定状況 | 87 |
| | 日本遺産 | 88～91 |
| 生涯学習・スポーツ | 生涯学習センターの講座数・参加者数（推移） | 92 |
| | 生涯学習活動をしている市民の割合（推移） | 92 |
| | 図書館の利用状況 | 93 |
| | 地区図書室の運営状況 | 93 |
| | 総合型地域スポーツクラブ設立状況 | 94 |
| | 市スポーツ施設利用者数の推移 | 94 |
| | 学校施設の開放状況 | 95 |
| 市民の意識データ | 八王子市への定住意向 | 97 |
| | 八王子市に住み続けたい理由 | 97 |
| | 八王子市外に移りたい理由 | 97 |
| | 生活環境に関する評価の推移 | 98 |
| | 市政への要望 | 99 |

あなたのみちを、
あるけるまち。
八王子

八王子基礎データ集

令和2年(2020年)12月

発　行　八王子市

編　集　八王子市　未来デザイン室

所在地　〒１９２－８５０１
八王子市元本郷町三丁目２４番１号

電　話　０４２－６２６－３１１１（代表）
０４２－６２０－７３０７（直通）

ＦＡＸ　０４２－６２７－５９３９


八王子基礎データ集　検索

本冊子の表紙は、平成28年度に市制100周年記念事業の一環として実施した「ぼく・わたしたちの八王子子ども絵画コンテスト」の受賞作品の一部を使用しています。

本冊子は再生紙を使用しています。

VEGETABLE OIL INK
リサイクル適性Ⓐ
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。